



八戸圏域連携中枢都市圏 エイト
八戸都市圏スクラム8

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

《 圏域の概況・中長期的将来像 編 》

序章 ▶ 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって

第1章 ▶ 八戸圏域の概況

第2章 ▶ 八戸圏域定住自立圏・連携中枢都市圏の取組

第3章 ▶ 圏域の中長期的将来像

第4章 ▶ 連携協約に基づき推進する具体的取組

平成 29 年 3 月 22 日 策定

令和 3 年 3 月 23 日 変更

八 戸 市

目 次

序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって	1
1 策定の趣旨.....	1
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称.....	1
3 具体的な取組期間.....	1
第1章 八戸圏域の概況	2
1 圏域を構成する市町村の概況.....	2
2 圏域の結びつき.....	4
3 土地利用の状況.....	7
4 人口の動向.....	8
5 産業の動向.....	23
6 都市機能の集積状況.....	40
7 地域資源の状況.....	48
8 交通.....	52
第2章 八戸圏域定住自立圏・連携中枢都市圏の取組	54
1 定住自立圏に関する主な経過.....	54
2 連携中枢都市圏に関する主な経過.....	55
3 連携事業の取組状況（令和3年1月31日現在）.....	57
4 その他（普及啓発事業、調査事業等、八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟）.....	107
第3章 圏域の中長期的将来像	119
1 圏域の課題.....	119
2 目指す将来像.....	122
3 人口の将来展望.....	123
 (別冊)	
第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組	1
1 圏域全体の経済成長のけん引.....	5
2 高次都市機能の集積・強化.....	25
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	35
4 推進体制.....	70
付属資料	71
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱.....	72
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿.....	73
八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について.....	74

序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって

1 策定の趣旨

我が国においては、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題となっている。

このような状況の中、国では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、この中で、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」ことを基本目標の一つとして掲げ、定住自立圏や連携中枢都市圏の形成といった自治体間の地域連携を、一層推進していくこととしている。

八戸圏域（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）では、平成 21 年度に八戸圏域定住自立圏を形成し、緊密な連携のもと、ドクターカーの運行や路線バス上限運賃化など、各種連携事業を積極的に展開することで、圏域全体における生活関連機能サービスの向上に成果を上げてきた。

このような中、当圏域では、平成 27 年度から、国の新たな広域連携制度である連携中枢都市圏の活用について、具体的な検討を重ね、平成 29 年 1 月 1 日には、八戸市が中核市に移行し、連携中枢都市圏の連携中枢都市としての要件を満たすこととなったところである。

連携中枢都市圏は、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を目指すものであり、八戸圏域において、連携中枢都市圏へと発展的に移行することは、連携の更なる深化と圏域の活性化につながるものと期待される。

本ビジョンは、圏域の一体的発展を目指し、圏域の目指すべき将来像と、その実現に向けた具体的な取組を示すものとして策定するものである。

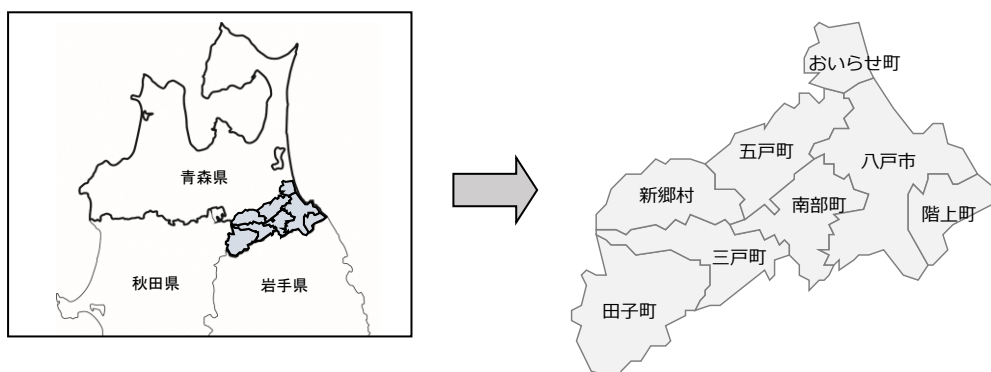
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

(1) 連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏（愛称：八戸都市圏スクラム^{エイト}8）

(2) 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



3 具体的な取組期間

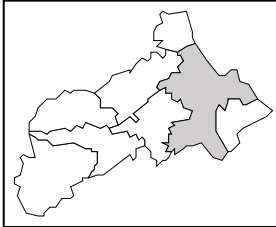
本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の期間は、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間とする。

第1章 八戸圏域の概況

1 圏域を構成する市町村の概況

圏域8市町村の概況については以下のとおり。カッコ書きは、各市町村のキャッチフレーズ。

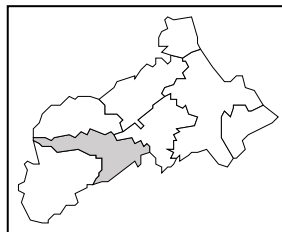
(1) 八戸市（ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市） 【連携中枢都市】



・八戸市は、古く藩政時代から、圏域をはじめ北奥羽地域の経済・社会・文化の中心として栄え、全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として発展しており、平成29年1月1日には中核市に移行している。

・今後は、圏域住民に都市の魅力とにぎわいを提供するとともに、圏域内外との人・物・情報の多様な交流を促進するため、広域的な交流の舞台となる拠点づくり、産・学・官の連携による地域産業の高度化と新たな産業の育成等を進め、「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」として、より一層の中核機能の充実を目指している。

(2) 三戸町（みんなが集う みんなで創る みんなを笑顔に 美しいふるさと さんのへ）

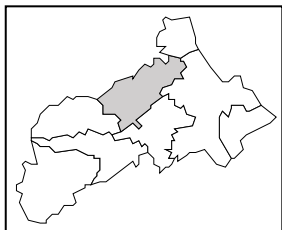


・三戸町は、明治22年に誕生してから、三戸地方の中心地として大きな役割を果たしてきた。

・今後は、「三戸独自の風土」に誇りを持ち、人、自然、文化という優れた資源や、経験から得た知識を活かしながら、町と町民が共に考え、一緒に行動しながら安心して心が落ち着くふるさとづくりのため、町民一人ひとりの人権を尊重し、これからも三戸地方の中心の町として町民自ら

による町づくりの実現を目指している。

(3) 五戸町（人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷 ごのへ）

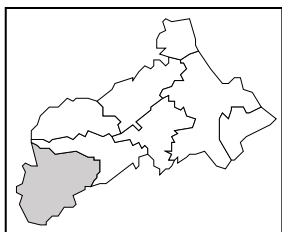


・五戸町は、野菜を中心とした複合経営の農業、商業、内陸型工業のほか、五戸地方における行政、医療や県南地方の農業研究に関する中心的役割を果たしてきた。また、豊かな自然環境の中に運動公園施設や図書館、ごのへ郷土館等の文化施設を整備するなど居住環境の整備も進めてきた。

・今後は、内陸型工業の集積を指向するとともに、みんなで創る活気ある町づくりに努め、さらに、八戸市や近隣町村との連携を強化して、五戸

地方における中核的役割を果たしていくことを目指している。

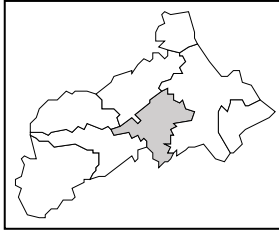
(4) 田子町（ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち）



・田子町は、八戸圏域の最南端に位置し、青森、秋田、岩手の三県の県境に接する町で、広大な牧草地と豊富な森林資源を有している。町の基幹産業は、農業と畜産を組み合わせた耕畜連携の地域農業を振興している。中でも、にんにくは「たっこにんにく」の地域商標でブランド力を高めてきた。また、豊富な有機質を活用した特別栽培米「ゆきこ」、夏秋野菜、田子牛(黒毛和牛)などの産地化とブランド化に努めている。

・今後は、北東北の二大観光地、十和田八幡平国立公園と三陸復興国立公園を結ぶ最短ルートの沿線にあるという地理的特性を生かし、「みろくの滝」等の自然資源を活かした観光交流の拡大を図るとともに、町営ケーブルテレビなどの地域情報網とコミュニティバスなどの地域ネットワークの構築、国際交流を活かした中高一貫教育の充実など、高齢者と子どもにやさしい地域づくりを目指している。

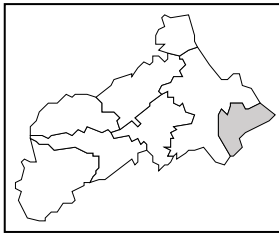
(5) 南部町 (フルーツの香り漂う感動のまち)



- ・南部町は、八戸市に隣接し、国道4号と104号が合流する交通の要衝に位置している。果樹を中心とした安全・安心な農作物の生産拠点であるほか、「農業観光四季のまつり」、「達者村」、農業体験修学旅行生受入れなどの施策を展開し、交流を推進している。
- ・今後は、基幹産業である農業をはじめ各種産業の振興を図っていくため、南部藩発祥の地、国史跡聖寿寺館跡、国指定重要文化財南部利康霊屋、

南部手踊り発祥の地等の歴史的遺産と各種観光資源を複合したグリーン・ツーリズムの推進など、都市・地域間交流を積極的に推進するとともに、全国唯一の町営地方卸売市場が圏域内の一大流通拠点となることを目指している。

(6) 階上町 (ゆめ みらい 心ときめく ふるさとづくり)

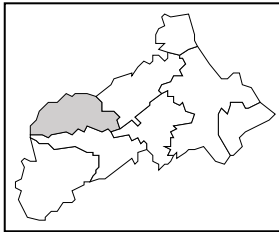


- ・階上町は、八戸市の南部に位置し岩手県境に接する町であり、公共下水道事業等の住環境の整備が進められ、八戸市のベッドタウンとなっている。
- ・現在、「元祖いちご煮」と階上早生で作った「階上早生階上そば」を、地域ブランドとして確立・PRするとともに、三陸復興国立公園の一部である階上岳や階上海岸等の豊かな自然を活かした体験型観光の推進と、都市住民と農村の交流の場や圏域住民の憩いの場として豊かな自然を

提供することにより、産業振興と地域活性化を目指している。

- ・また、町民と行政がパートナーシップを強め、住民の意思を反映し、かつ効率的な行財政運営を進めることができるよう、これまで取り組んできた「協働のまちづくり」をさらに推進していくことに努めている。

(7) 新郷村 (健康で明るく心豊かな長寿のむらを目指して)

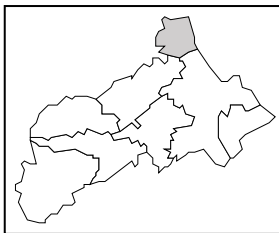


- ・新郷村は、米、野菜、畜産を主体とした農業をはじめ、素材生産はもとより環境保全等の公益機能を有する林業を基幹産業とし、農林畜産物生産の拠点的作用を果たしている。

- ・また、十和田・八幡平国立公園に接する迷ヶ平や間木ノ平地区生活環境保全林は、自然滞在型体験観光エリアであるとともに、その周辺にはキリストの墓や和風ピラミッド、水芭蕉群生地等があり、圏域内外からの観光客の保養の場としての役割を果たしている。

- ・今後は、森づくり、水づくり、土づくりから始まる「安全・安心な食づくり」に力点を置くとともに、有機資源センター新郷を核として、耕畜連携による資源循環型農業の村「有機の里づくり」と高齢者と子どもにやさしい村、定住促進の推進、自然エネルギーの活用、「郷のきみ」、「銀の鴨」を用いた新たな特産品の開発等、健康で明るく心豊かな長寿のむらを目指している。

(8) おいらせ町 (子どものびのび 大人いきいき ともにつくる おいらせ町)



- ・おいらせ町は、八戸市・三沢市・十和田市の中心に位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅、八戸港、三沢空港などの陸・海・空の交通網の結節点として地理的にも恵まれており、近隣市のベッドタウン的役割を果たしている。

- ・産業面では、水稻、畑作、畜産及び施設園芸を主体とした複合型農業や、臨海部の百石工業団地及びショッピングセンターを核とした商業集積等、商工業の振興による雇用の場の創出を促進している。

- ・今後は、未来を担う子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境をつくり、大人たちが仕事、地域活動や趣味などで活躍し、いきいきと元気にくらす町を目指している。

2 圏域の結びつき

圏域の結びつき（通勤・通学圏、医療圏、商圈）については以下のとおり。

- ・圏域の総人口は、下表のとおり約32万人となっており、そのうち八戸市の人口は、圏域全体の約7割を占めている。
- ・人口総数及び昼夜間人口比率の分布からわかるように、通勤・通学、買物、医療等、主要な生活行動における日常生活圏が、八戸市を中心に形成されている。
- ・日常生活圏のそれぞれの機能にかかる近隣町村住民の利用状況等を以降に示す。

図表1-1 人口総数及び昼夜間人口比率

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
人口総数 (人)	231,257 【237,615】	10,135 【11,299】	17,433 【18,712】	5,554 【6,175】	18,312 【19,853】	14,025 【14,699】	2,509 【2,851】	24,222 【24,211】	323,447 【335,415】
昼夜間人口比率 (%)	104.6 【105.1】	98.6 【100.0】	90.3 【90.3】	97.8 【98.3】	84.6 【85.3】	75.5 【73.1】	93.3 【91.7】	84.8 【86.7】	—

注) 【】内は、平成22年国勢調査の数値。

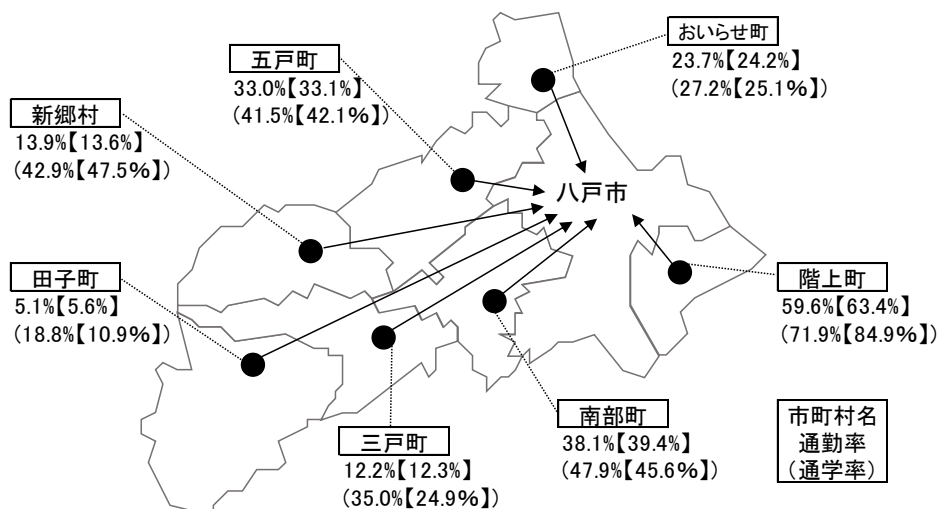
出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

(1) 通勤・通学圏

圏域における八戸市への通勤・通学の状況については以下のとおり。

- ・八戸市への通勤状況は、階上町が59.6%と高い依存度を示しているほか、南部町・五戸町・おいらせ町の順で高くなっており、いずれも20%以上の依存度を示している。
- ・八戸市への通学状況は、階上町が71.9%と高い依存度を示しているほか、南部町・新郷村・五戸町・三戸町・おいらせ町の順で高くなっており、いずれも20%以上の依存度を示している。

図表 1-2 八戸市への通勤・通学者状況 (%)



注) 【】内は、平成22年調査

出典：平成27年国勢調査（総務省統計局）

図表1-3 八戸市内の高等学校・高等教育機関・主要企業

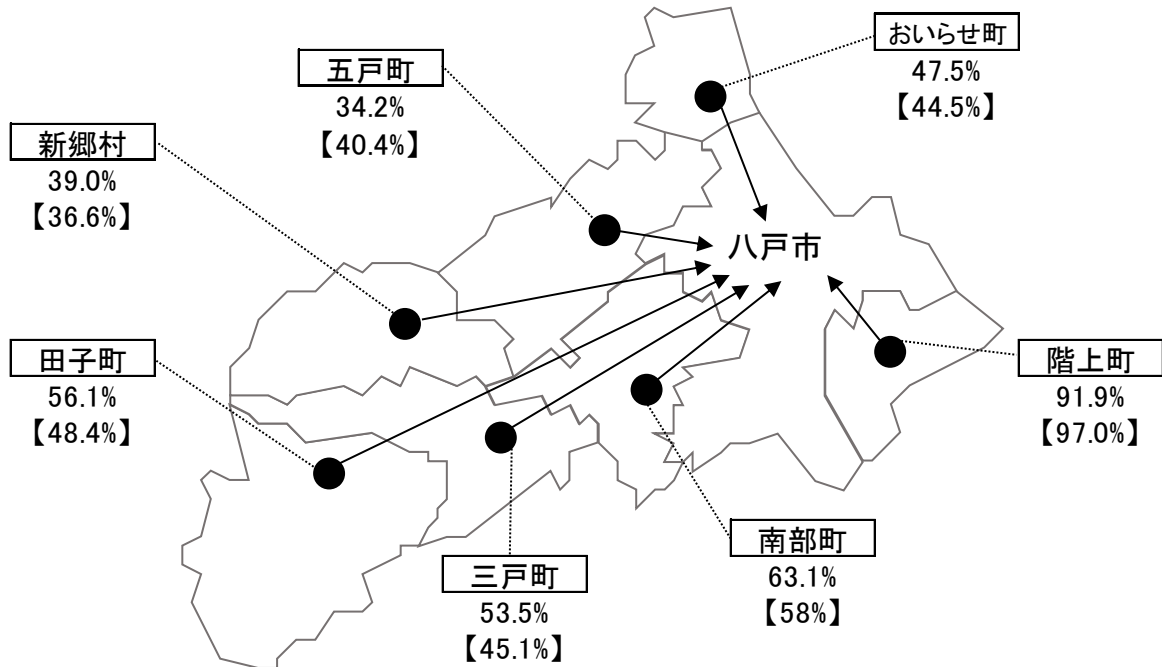
高等学校	県立高校(9校)、私立高校(6校)
高等教育機関	八戸工業大学、八戸学院大学、八戸学院大学 短期大学部、八戸工業高等専門学校
主要企業	大太平洋金属(株)、三菱製紙(株)、高周波 casting(株)、八戸製錬(株)、東京鐵鋼(株)、アルバック東北(株)、多摩川精機(株)、エプソンアトミックス(株)、東北電力(株)八戸火力発電所、東北グレーンターミナル(株)、NTT東日本サービス(株)、ヤフー(株)八戸センター ほか

(2) 医療圏

圏域における八戸市内病院への入院動向については以下のとおり。

- ・近隣町村から八戸市内の病院への入院動向（入院者比率）は、階上町が91.9%、南部町・田子町・三戸町が半数を超える依存度を示し、その他の町村も30%を超えている。

図表1-4 八戸市内病院への入院動向（%）



注) 【】内は、平成23年度調査

出典：青森県受療動向調査（平成28年度）

図表1-5 八戸市内の主要病院と各病院の利用者（患者）数

主要病院		種別	地域別	患者数(人)	構成比(%)
八戸市立市民病院	病床数 608 診療科数 34	入院	八戸市内	126,362	66.2
			八戸市外	64,377	33.8
	外来	八戸市内	167,303	68.5	
		八戸市外	77,072	31.5	
青森労災病院	病床数 468 診療科数 17	入院	八戸市内	50,262	72.0
			八戸市外	19,504	28.0
	外来	八戸市内	110,692	74.5	
		八戸市外	37,955	25.5	
八戸赤十字病院	病床数 434 診療科数 23	入院	八戸市内	67,284	57.7
			八戸市外	49,388	42.3
	外来	八戸市内	94,275	59.2	
		八戸市外	65,044	40.8	

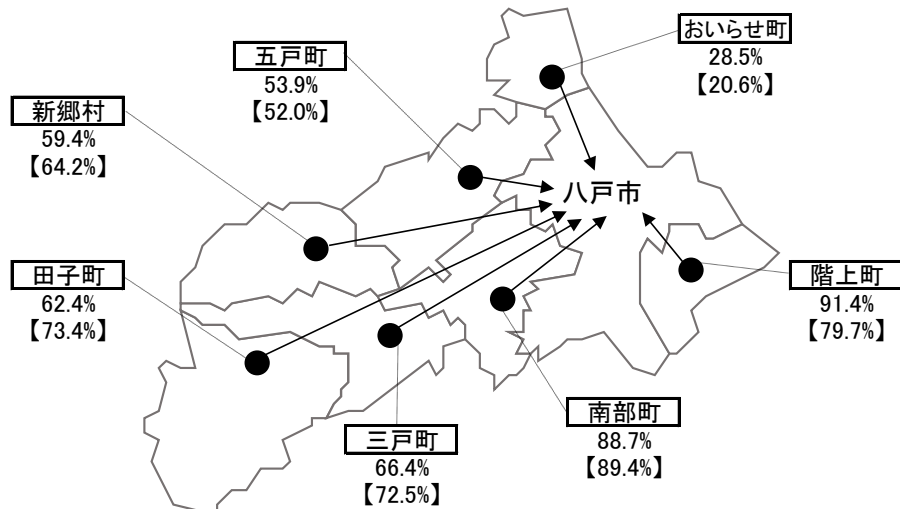
出典：各病院調べ（令和元年度）

(3) 商圈

圏域における八戸市への消費者購買実態については以下のとおり。

- ・圏域における八戸市への消費者購買の動向（八戸市の買回品吸収率）は、おいらせ町を除く6町村からの吸収率が5割を超える水準となっている。
- ・中でも、階上町が91.4%、南部町が88.7%と、8割を超える高い水準を示している。

図表1-6 八戸市への消費者購買実態 買回品吸収率（%）



注) 【】内は、平成17年調査

出典：消費者購買動向による商圈調査報告書（平成23年）

図表1-7 八戸市内の大規模小売店舗（※大規模小売店舗立地法に基づく届出店舗面積が10,000㎡以上の店舗）

大規模小売店舗	・ピアドゥ	(店舗面積: 23,222㎡)	・さくら野百貨店	(店舗面積: 15,227㎡)
	・ラピア	(店舗面積: 22,510㎡)	・Cino(チーノ)	(店舗面積: 14,005㎡)
	・三春屋店	(店舗面積: 15,584㎡)	・シンフォニープラザ沼館	(店舗面積: 12,195㎡)

(令和3年1月現在)

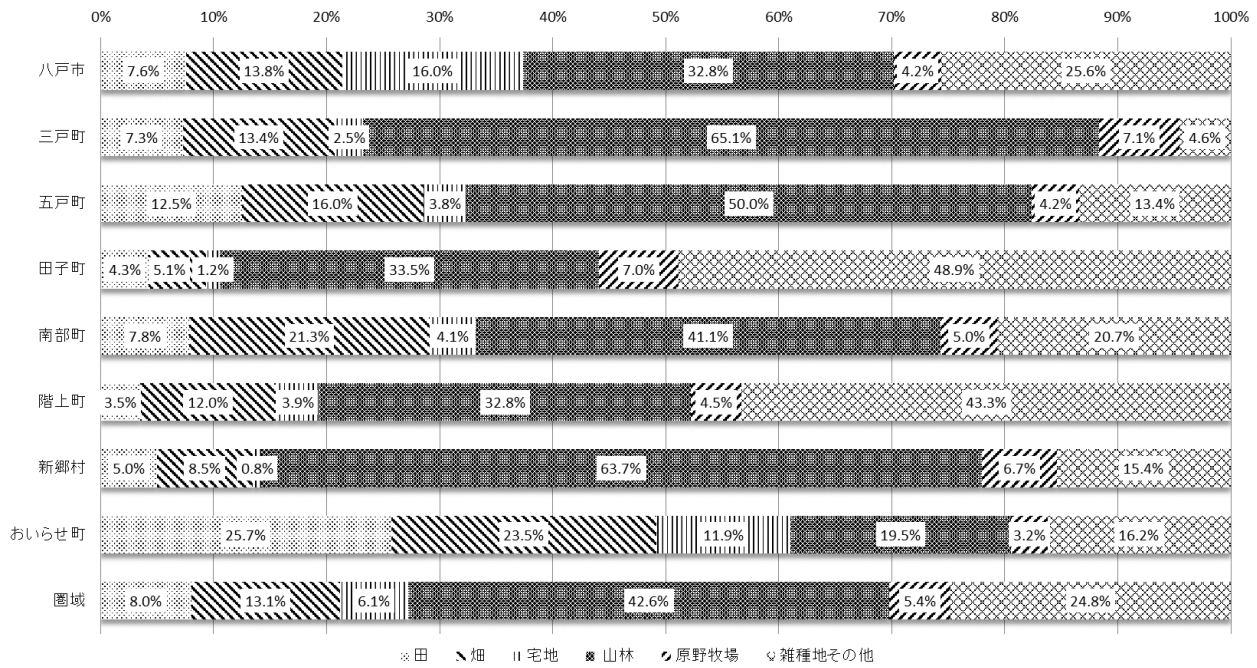
※ 買回品（かいまわりひん）とは、最寄り品が普通生活雑貨のことを指すのに対し、耐久消費財や趣味品などを指す用語。買回品は価格や品質の比較のため、消費者がいくつかの商店を「買い回る」ためこのように呼ばれる。買回品は百貨店や都市部にしかないような専門店、あるいは郊外の大型専門店でないと思えないものが多いため、一般的に日用品の商圈よりも広い。

3 土地利用の状況

圏域における平成31年度の土地利用状況については以下のとおり。

- ・土地利用構成割合を市町村別に見ると、八戸市の宅地割合が16.0%、おいらせ町の宅地割合が11.9%と、それぞれ10%を超えているのに対し、その他の町村では5%未満となっている。

図表1-8 土地利用構成割合



出典：平成31年度固定資産の価格等の概要調書（青森県）より作成

図表1-9 市町村別 土地面積及び土地利用構成割合

区分	田	畑	宅地	山林	原野牧場	雑種地 その他	合計面積 (km ²)
八戸市	23.07	42.31	48.86	100.28	12.69	78.35	305.56
	7.6%	13.8%	16.0%	32.8%	4.2%	25.6%	
三戸町	11.10	20.33	3.84	98.86	10.72	6.94	151.79
	7.3%	13.4%	2.5%	65.1%	7.1%	4.6%	
五戸町	22.24	28.50	6.76	88.88	7.51	23.78	177.67
	12.5%	16.0%	3.8%	50.0%	4.2%	13.4%	
田子町	10.29	12.31	2.99	81.09	17.04	118.26	241.98
	4.3%	5.1%	1.2%	33.5%	7.0%	48.9%	
南部町	11.96	32.61	6.24	63.00	7.69	31.62	153.12
	7.8%	21.3%	4.1%	41.1%	5.0%	20.7%	
階上町	3.32	11.24	3.66	30.87	4.24	40.68	94.01
	3.5%	12.0%	3.9%	32.8%	4.5%	43.3%	
新郷村	7.50	12.78	1.17	96.08	10.04	23.20	150.77
	5.0%	8.5%	0.8%	63.7%	6.7%	15.4%	
おいらせ町	18.50	16.89	8.53	14.04	2.33	11.67	71.96
	25.7%	23.5%	11.9%	19.5%	3.2%	16.2%	
圏域	107.98	176.97	82.05	573.10	72.26	334.50	1,346.86
	8.0%	13.1%	6.1%	42.6%	5.4%	24.8%	

注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：平成31年度固定資産の価格等の概要調書（青森県）より作成

4 人口の動向

圏域における人口の動向（人口推移、人口動態）については以下のとおり。

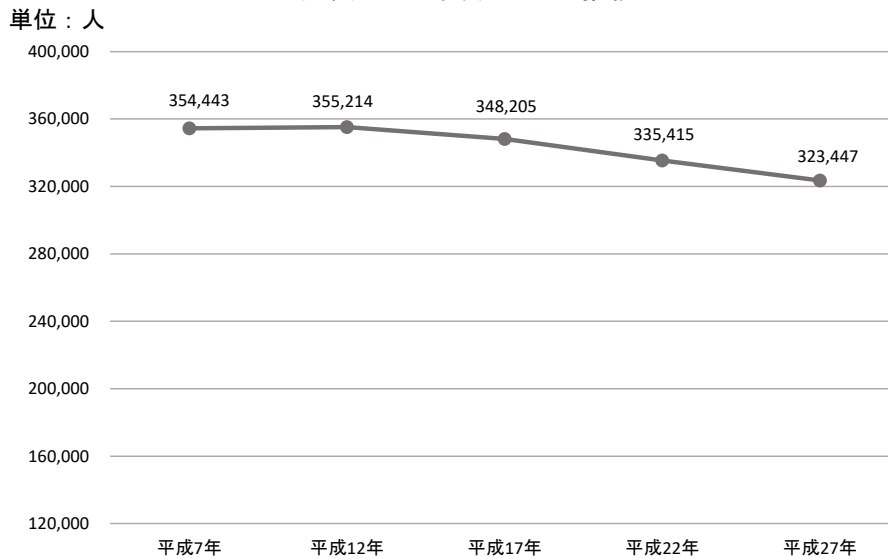
(1) 人口・世帯等の推移

① 人口推移

圏域における平成7年から平成27年の国勢調査人口の推移については以下のとおり。

- ・人口を市町村別に見ると、平成7年から平成12年までの間は、階上町及びおいらせ町が増加し、その後階上町は減少に転じたが、おいらせ町はその後も微増・横ばい傾向となっている。
- ・圏域全体に占める八戸市の人口割合は7割余りとなっている。
- ・圏域全体では、平成22年から平成27年の間で約1.2万人の減少となっている。

図表1-10 圏域人口の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-11 圏域人口の推移

単位：人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		249,358	248,608 -0.3%	244,700 -1.6%	237,615 -2.9%	231,257 -2.7%	71.5%
三戸町		13,740	13,223 -3.8%	12,261 -7.3%	11,299 -7.8%	10,135 -10.3%	3.1%
五戸町		21,666	21,318 -1.6%	20,138 -5.5%	18,712 -7.1%	17,433 -6.8%	5.4%
田子町		7,681	7,288 -5.1%	6,883 -5.6%	6,175 -10.3%	5,554 -10.1%	1.7%
南部町		23,041	22,596 -1.9%	21,552 -4.6%	19,853 -7.9%	18,312 -7.8%	5.7%
階上町		14,428	15,618 8.2%	15,356 -1.7%	14,699 -4.3%	14,025 -4.6%	4.3%
新郷村		3,498	3,343 -4.4%	3,143 -6.0%	2,851 -9.3%	2,509 -12.0%	0.8%
おいらせ町		21,031	23,220 10.4%	24,172 4.1%	24,211 0.2%	24,222 0.0%	7.5%
圏域		354,443	355,214 0.2%	348,205 -2.0%	335,415 -3.7%	323,447 -3.6%	—

注) 下段は対前期増加率

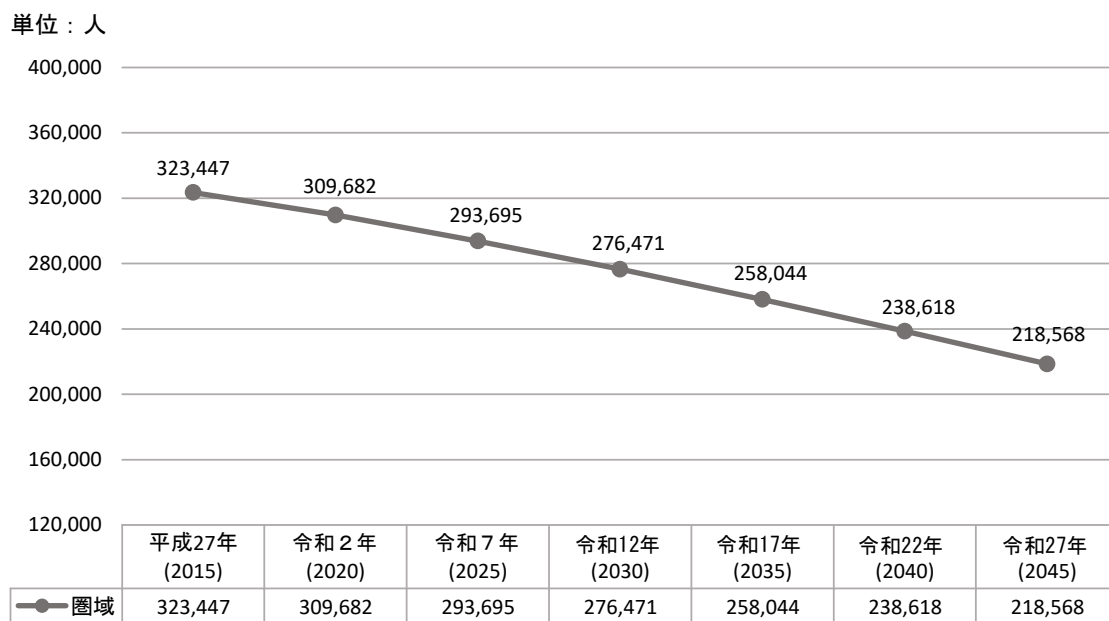
出典：国勢調査（総務省統計局）

② 将来人口

圏域における令和27年までの将来人口の推移については以下のとおり。

- ・国立社会保障・人口問題研究所によると平成27年以降減少傾向が続き、令和27年には218,568人（対平成27年比、32.4%減）になると推計されている。

図表1-12 将来人口の推移



出典：日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）、国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-13 将来人口の推移

単位：人

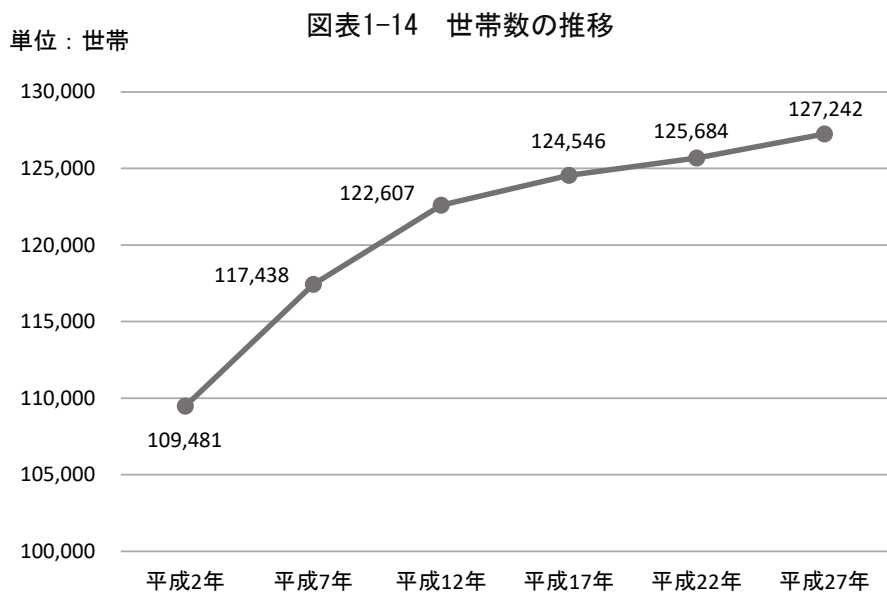
年	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)
八戸市	231,257	223,172	213,146	201,803	189,274	175,916	162,127
三戸町	10,135	9,069	8,042	7,083	6,183	5,347	4,563
五戸町	17,433	16,113	14,764	13,404	12,052	10,681	9,304
田子町	5,554	4,980	4,418	3,893	3,420	2,967	2,529
南部町	18,312	16,806	15,276	13,817	12,422	11,050	9,667
階上町	14,025	13,319	12,502	11,715	10,906	9,987	8,970
新郷村	2,509	2,248	1,996	1,764	1,544	1,336	1,133
おいらせ町	24,222	23,975	23,551	22,992	22,243	21,334	20,275
圏域	323,447	309,682	293,695	276,471	258,044	238,618	218,568

出典：日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）、国勢調査（総務省統計局）

③ 世帯数

圏域における平成7年から平成27年の世帯数の推移については以下のとおり。

- ・世帯数を市町村別に見ると、八戸市とおいらせ町は一貫して増加傾向である一方、他の町村では減少傾向となっている。
- ・圏域全体では微増傾向となっている。



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-15 世帯数の推移

単位：世帯

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		85,285	88,657 4.0%	90,308 1.9%	91,917 1.8%	93,750 2.0%	73.7%
三戸町		4,250	4,312 1.5%	4,145 -3.9%	3,961 -4.4%	3,756 -5.2%	3.0%
五戸町		6,189	6,268 1.3%	6,347 1.3%	6,177 -2.7%	6,123 -0.9%	4.8%
田子町		2,265	2,253 -0.5%	2,223 -1.3%	2,097 -5.7%	2,006 -4.3%	1.6%
南部町		6,683	6,851 2.5%	6,819 -0.5%	6,621 -2.9%	6,419 -3.1%	5.0%
階上町		5,577	5,951 6.7%	5,786 -2.8%	5,707 -1.4%	5,699 -0.1%	4.5%
新郷村		945	927 -1.9%	909 -1.9%	874 -3.9%	831 -4.9%	0.7%
おいらせ町		6,244	7,388 18.3%	8,009 8.4%	8,330 4.0%	8,658 3.9%	6.8%
圏域		117,438	122,607 4.4%	124,546 1.6%	125,684 0.9%	127,242 1.2%	—

注) 下段は対前期増加率

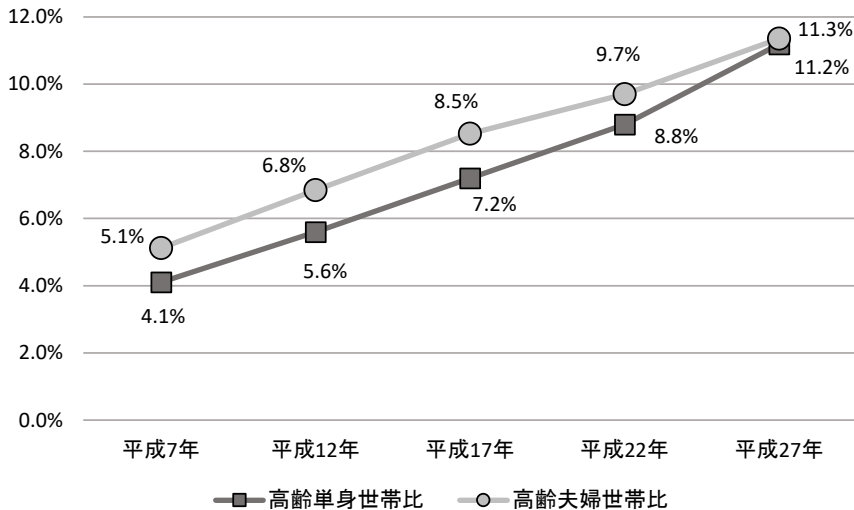
出典：国勢調査（総務省統計局）

④ 高齢単身世帯比・高齢夫婦世帯比

圏域における平成7年から平成27年の高齢単身世帯比と高齢夫婦世帯比の推移については以下のとおり。

- ・全世帯に占める高齢単身世帯の割合及び高齢夫婦世帯の割合は、圏域及び全市町村において上昇傾向となっている。

図表1-16 高齢単身世帯比と高齢夫婦世帯比の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-17 高齢単身世帯比の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
市町村					
八戸市	3.8%	5.4%	7.0%	8.7%	11.1%
三戸町	7.1%	9.2%	11.5%	13.3%	14.7%
五戸町	5.2%	6.2%	7.7%	9.4%	12.0%
田子町	6.7%	9.4%	11.3%	12.3%	14.8%
南部町	5.8%	7.7%	9.3%	10.6%	13.2%
階上町	1.9%	2.7%	4.2%	6.0%	8.5%
新郷村	6.7%	7.4%	9.7%	11.2%	14.9%
おいらせ町	3.7%	4.6%	5.7%	6.9%	8.5%
圏域	4.1%	5.6%	7.2%	8.8%	11.2%

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-18 高齢夫婦世帯比の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
市町村					
八戸市	4.8%	6.7%	8.4%	9.5%	11.1%
三戸町	7.4%	9.1%	10.3%	11.7%	13.4%
五戸町	7.0%	8.7%	10.3%	11.5%	13.6%
田子町	7.7%	9.5%	11.5%	12.1%	13.8%
南部町	6.5%	8.8%	10.3%	11.6%	12.9%
階上町	3.2%	4.0%	5.5%	7.4%	10.7%
新郷村	7.4%	8.3%	10.8%	13.2%	13.7%
おいらせ町	4.5%	5.7%	7.0%	8.2%	9.5%
圏域	5.1%	6.8%	8.5%	9.7%	11.3%

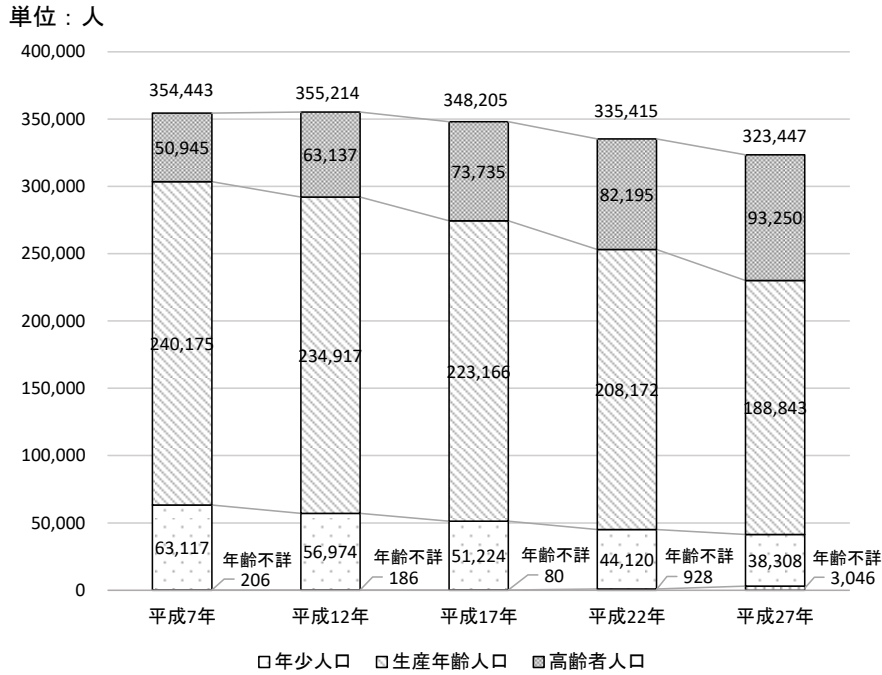
出典：国勢調査（総務省統計局）

⑤ 年齢別人口

圏域における平成7年から平成27年の年齢別人口の推移については以下のとおり。

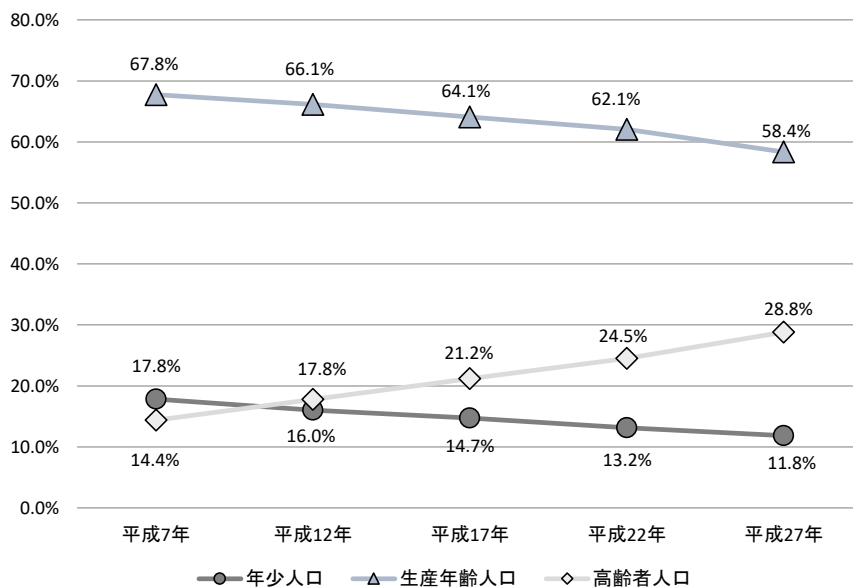
- 年齢別人口については、全市町村で年少人口割合及び生産年齢人口割合が共に低下し、高齢者人口割合が高くなる傾向となっている。
- 平成27年における高齢者人口割合は、圏域全体では28.8%と平成7年から14.4ポイント増加し、八戸市・階上町・おいらせ町以外の5町村については35%を超える水準となっている。

図表1-19 年齢別（3区分）人口の推移（その1）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-20 年齢別（3区分）人口の推移（その2）



注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-21 年少人口（0～14歳）割合の推移

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位:ポイント)
八戸市		18.1%	16.2%	15.0%	13.4%	12.2%	-5.9
三戸町		15.5%	14.0%	12.6%	11.0%	9.8%	-5.7
五戸町		16.3%	14.6%	12.4%	10.7%	9.7%	-6.6
田子町		16.4%	14.7%	12.8%	10.9%	9.3%	-7.1
南部町		17.0%	15.2%	13.4%	11.9%	10.2%	-6.8
階上町		17.9%	16.3%	15.0%	12.5%	10.5%	-7.4
新郷村		15.0%	12.2%	10.7%	9.6%	8.2%	-6.8
おいらせ町		19.1%	18.1%	17.1%	15.7%	14.2%	-4.9
圏域		17.8%	16.0%	14.7%	13.2%	11.8%	-6.0

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-22 生産年齢人口（15～64歳）割合の推移

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位:ポイント)
八戸市		69.2%	67.7%	65.4%	63.1%	59.1%	-10.1
三戸町		62.8%	60.1%	57.5%	55.7%	52.5%	-10.3
五戸町		63.7%	61.4%	60.0%	58.9%	54.7%	-9.0
田子町		61.7%	58.3%	54.6%	54.0%	51.2%	-10.5
南部町		62.6%	60.3%	58.6%	57.1%	53.9%	-8.7
階上町		69.3%	68.7%	67.0%	65.4%	61.4%	-7.9
新郷村		58.8%	55.6%	52.7%	49.7%	46.9%	-11.9
おいらせ町		66.3%	65.7%	64.4%	63.2%	60.9%	-5.4
圏域		67.8%	66.1%	64.1%	62.1%	58.4%	-9.4

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-23 高齢者人口（65歳以上）割合の推移

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位:ポイント)
八戸市		12.7%	16.1%	19.6%	23.2%	27.5%	14.8
三戸町		21.7%	25.8%	29.9%	33.3%	37.3%	15.6
五戸町		19.9%	24.0%	27.6%	30.4%	35.5%	15.6
田子町		21.8%	27.1%	32.6%	35.0%	39.5%	17.7
南部町		20.5%	24.5%	28.0%	30.9%	35.8%	15.3
階上町		12.8%	15.1%	18.0%	21.7%	27.1%	14.3
新郷村		26.2%	32.2%	36.6%	40.7%	44.9%	18.7
おいらせ町		14.5%	16.3%	18.5%	20.9%	24.7%	10.2
圏域		14.4%	17.8%	21.2%	24.5%	28.8%	14.4

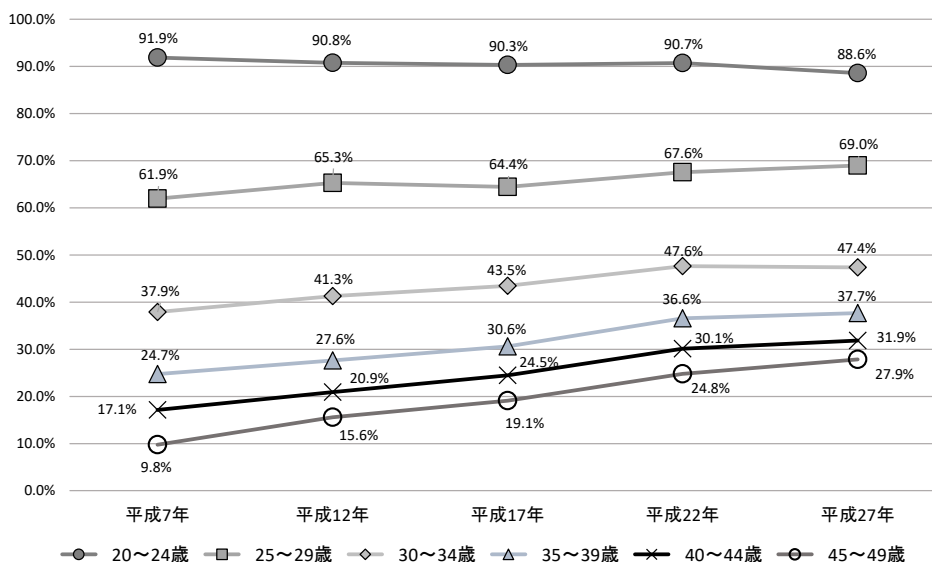
出典：国勢調査（総務省統計局）

⑥ 未婚率

圏域における平成7年から平成27年の年齢階級別未婚率の推移については以下のとおり。

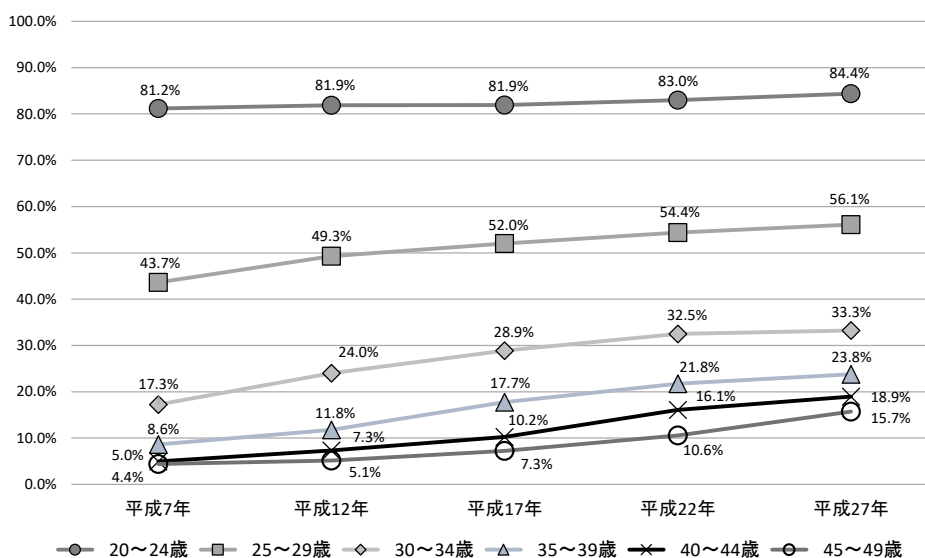
- 平成7年から平成27年までの圏域における未婚率については、男性では25歳以上、女性では20歳以上の各年齢階級で、年を経るごとに増加する傾向にある。
- 平成7年と平成27年の男性の未婚率を比べると、未婚率の増加幅が最も大きいのが「45～49歳」で18.1ポイント、次に「40～44歳」で14.8ポイント、「35～39歳」で13.0ポイントの順となっている。
- 平成7年と平成27年の女性の未婚率を比べると、未婚率の増加幅が最も大きいのは「30～34歳」で16.0ポイント、次に「35～39歳」で15.2ポイント、「40～44歳」で13.9ポイントの順となっている。
- 平成7年と平成27年の未婚率を比べると、10ポイント以上の増加となっているのは、男性の場合は「35～49歳」で、女性の場合は「25～49歳」である。

図表1-24 男性の年齢階級別未婚率の推移（20～49歳）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-25 女性の年齢階級別未婚率の推移（20～49歳）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-26 男性の年齢階級別未婚率の推移

年 年齢	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位:ポイント)
15～19歳	99.6%	99.5%	99.6%	99.6%	99.0%	-0.6
20～24歳	91.9%	90.8%	90.3%	90.7%	88.6%	-3.3
25～29歳	61.9%	65.3%	64.4%	67.6%	69.0%	7.1
30～34歳	37.9%	41.3%	43.5%	47.6%	47.4%	9.5
35～39歳	24.7%	27.6%	30.6%	36.6%	37.7%	13.0
40～44歳	17.1%	20.9%	24.5%	30.1%	31.9%	14.8
45～49歳	9.8%	15.6%	19.1%	24.8%	27.9%	18.1
50歳以上	2.3%	3.9%	6.3%	8.9%	11.2%	8.9

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-27 女性の年齢階級別未婚率の推移

年 年齢	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位:ポイント)
15～19歳	99.1%	98.9%	99.0%	99.3%	98.5%	-0.6
20～24歳	81.2%	81.9%	81.9%	83.0%	84.4%	3.2
25～29歳	43.7%	49.3%	52.0%	54.4%	56.1%	12.4
30～34歳	17.3%	24.0%	28.9%	32.5%	33.3%	16.0
35～39歳	8.6%	11.8%	17.7%	21.8%	23.8%	15.2
40～44歳	5.0%	7.3%	10.2%	16.1%	18.9%	13.9
45～49歳	4.4%	5.1%	7.3%	10.6%	15.7%	11.3
50歳以上	3.0%	3.2%	3.5%	4.2%	5.0%	2.0

出典：国勢調査（総務省統計局）

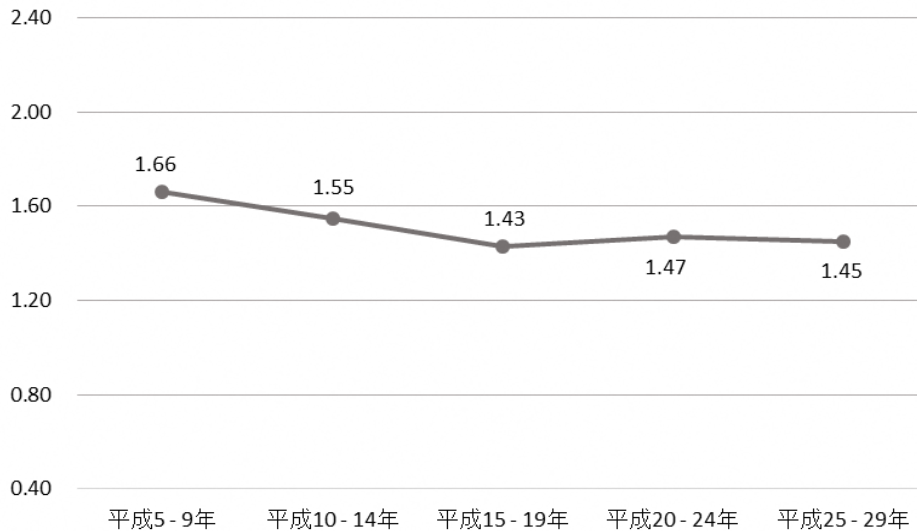
※ 未婚率とは、15歳以上の人口に占める未婚者数（一度も結婚していない人の数）の割合。

⑦ 合計特殊出生率

圏域における合計特殊出生率の推移については以下のとおり。

- 平成25年～平成29年平均で最も合計特殊出生率が高いのは、おいらせ町で1.64ポイント、次いで八戸市で1.54ポイントである。最も低いのは階上町で1.33ポイントである。

図表1-28 合計特殊出生率の推移



出典：人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）より作成

※ 平成28年度に八戸市保健所が設立されたことにより、平成25-29年は八戸市を除く7町村の率となっている。

図表1-29 合計特殊出生率の推移

市町村	年	平成5 ～9年	平成10 ～14年	平成15 ～19年	平成20 ～24年	平成25 ～29年
八戸市		1.65	1.54	1.43	1.47	1.54
三戸町		1.73	1.57	1.49	1.48	1.38
五戸町		1.61	1.48	1.31	1.32	1.38
田子町		1.70	1.63	1.60	1.48	1.48
南部町		1.69	1.55	1.31	1.47	1.42
階上町		1.69	1.50	1.36	1.34	1.33
新郷村		1.72	1.64	1.48	1.39	1.48
おいらせ町		1.70	1.63	1.53	1.61	1.64
圏域		1.66	1.55	1.43	1.47	1.45(※)
青森県		1.58	1.48	1.34	1.37	1.42
全国		1.46	1.38	1.31	1.38	1.43

出典：人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）

※ 合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に生むと見込まれる子どもの数。その年の15歳から49歳までの女性が産んだ子どもの数を元に算出する。人口を維持できる水準は2.07とされ、将来の人口が増えるか減るかを見る指標となる。

※ 平成28年度に八戸市保健所が設立されたことにより、平成25-29年は八戸市を除く7町村の率となっている。

(2) 人口動態

① 人口動態（自然動態・社会動態）

圏域における人口動態の推移については以下のとおり。

- ・自然動態（出生人口と死亡人口の差）は、全市町村で減少となっている。
- ・社会動態（転入人口と転出人口の差）は、おいらせ町が増加傾向であるが、その他の市町村では、総じて減少傾向にある。
- ・人口動態（自然動態＋社会動態）は、おいらせ町が平成30年から令和元年にかけて増加しているが、その他の市町村では、総じて減少傾向にある。

図表1-30 自然動態の推移

単位：人

市町村	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市		-859	-847	-1071	-1,150	-1,370
三戸町		-122	-161	-158	-173	-145
五戸町		-168	-179	-212	-198	-219
田子町		-100	-75	-121	-95	-92
南部町		-179	-218	-237	-258	-297
階上町		-69	-82	-98	-103	-102
新郷村		-34	-23	-34	-63	-31
おいらせ町		-88	-12	-79	-92	-78
圏域		-1,619	-1,597	-2,010	-2,132	-2,334

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

図表1-31 社会動態の推移

単位：人

市町村	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市		-758	-883	-678	-1,165	-755
三戸町		-160	-90	-101	-90	-78
五戸町		-105	-82	-135	-135	-73
田子町		-77	-54	-57	-50	-51
南部町		-48	-138	-125	-76	-110
階上町		-40	-47	-46	-24	-100
新郷村		-48	9	-37	-17	-33
おいらせ町		58	208	-3	19	126
圏域		-1,178	-1,077	-1,182	-1,538	-1,074

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

図表1-32 人口動態（自然動態＋社会動態）の推移

単位：人

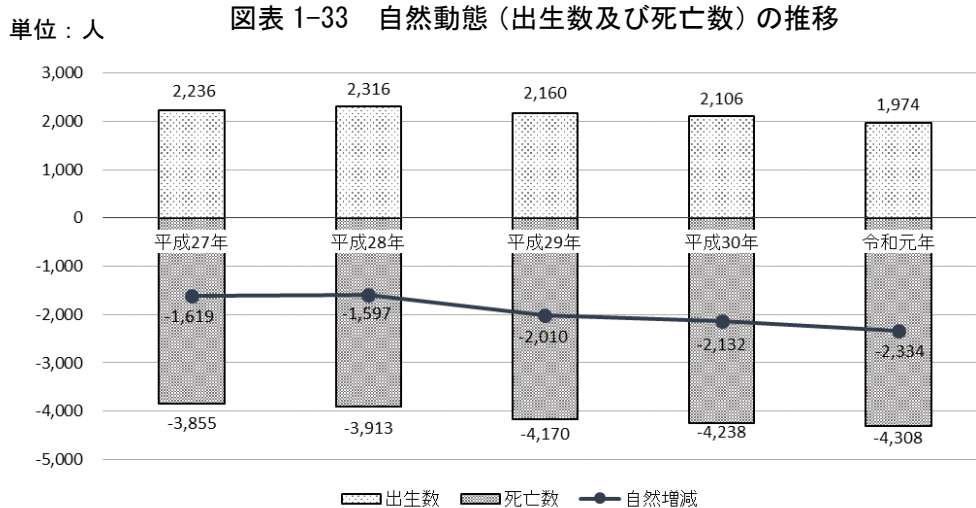
市町村	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市		-1,617	-1,730	-1,749	-2,315	-2,125
三戸町		-282	-251	-259	-263	-223
五戸町		-273	-261	-347	-333	-292
田子町		-177	-129	-178	-145	-143
南部町		-227	-356	-362	-334	-407
階上町		-109	-129	-144	-127	-202
新郷村		-82	-14	-71	-80	-64
おいらせ町		-30	196	-82	-73	48
圏域		-2,797	-2,674	-3,192	-3,670	-3,408

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

② 自然動態の推移

圏域における自然動態（出生数及び死亡数）の推移については以下のとおり。

- ・圏域における自然動態は、減少傾向にあり、令和元年は2,334人減となっている。
- ・圏域における出生数は微減傾向にある。



出典：青森県人口移動統計調査（青森県）より作成

図表1-34 自然動態（出生数及び死亡数）の推移

単位：人

市町村		年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
八戸市	出生数		1,716	1,760	1,660	1,615	1,482
	死亡数		2,575	2,607	2,731	2,765	2,852
	自然増減		-859	-847	-1,071	-1,150	-1,370
三戸町	出生数		46	40	45	38	35
	死亡数		168	201	203	211	180
	自然増減		-122	-161	-158	-173	-145
五戸町	出生数		81	85	81	74	83
	死亡数		249	264	293	272	302
	自然増減		-168	-179	-212	-198	-219
田子町	出生数		23	29	20	21	27
	死亡数		123	104	141	116	119
	自然増減		-100	-75	-121	-95	-92
南部町	出生数		107	86	93	88	66
	死亡数		286	304	330	346	363
	自然増減		-179	-218	-237	-258	-297
階上町	出生数		71	78	65	76	67
	死亡数		140	160	163	179	169
	自然増減		-69	-82	-98	-103	-102
新郷村	出生数		8	11	13	5	8
	死亡数		42	34	47	68	39
	自然増減		-34	-23	-34	-63	-31
おいらせ町	出生数		184	227	183	189	206
	死亡数		272	239	262	281	284
	自然増減		-88	-12	-79	-92	-78
圏域	出生数		2,236	2,316	2,160	2,106	1,974
	死亡数		3,855	3,913	4,170	4,238	4,308
	自然増減		-1,619	-1,597	-2,010	-2,132	-2,334

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

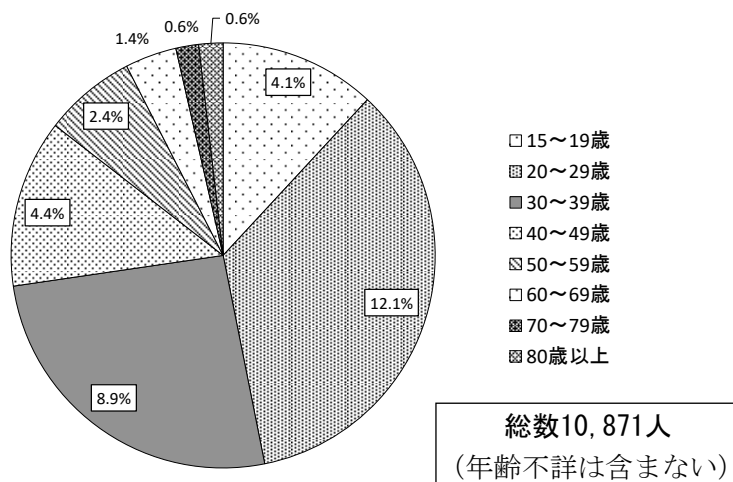
③ 若者の人口移動

【県外からの転入】

圏域における平成22年から平成27年の県外からの転入人口の割合については以下のとおり。

- 平成22年から平成27年にかけての常住人口に占める県外からの転入人口の割合を年齢階級別にみると、圏域においては「20～29歳」が12.1%で最も高く、中でも階上町が最も高く16.4%、次いで八戸市が13.0%、田子町が12.3%となっている。
- 「30～39歳」「40～49歳」の圏域への転入人口割合は、青森県の同年齢階級の転入人口割合（7.3%、4.1%）を上回っている。

図表1-35 県外からの転入人口の割合（平成22年～平成27年）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-36 県外からの転入人口の割合（転入人口÷常住人口）

市町村	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
八戸市	4.4%	13.0%	9.7%	5.1%	2.9%	1.4%	0.6%	0.7%
三戸町	1.3%	7.2%	5.9%	2.2%	1.2%	1.1%	0.7%	0.4%
五戸町	1.9%	6.3%	4.8%	2.3%	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%
田子町	0.5%	12.3%	5.7%	2.2%	1.3%	1.3%	0.1%	0.5%
南部町	0.6%	4.8%	4.9%	1.4%	0.7%	1.2%	0.5%	0.2%
階上町	11.2%	16.4%	8.0%	2.5%	1.6%	1.5%	0.7%	1.1%
新郷村	0.0%	5.7%	1.7%	3.3%	1.1%	1.2%	0.0%	0.2%
おいらせ町	1.5%	9.0%	8.2%	3.4%	1.6%	1.5%	0.7%	0.6%
圏域	4.1%	12.1%	8.9%	4.4%	2.4%	1.4%	0.6%	0.6%
青森県	4.5%	12.7%	7.3%	4.1%	2.4%	1.4%	0.6%	0.5%

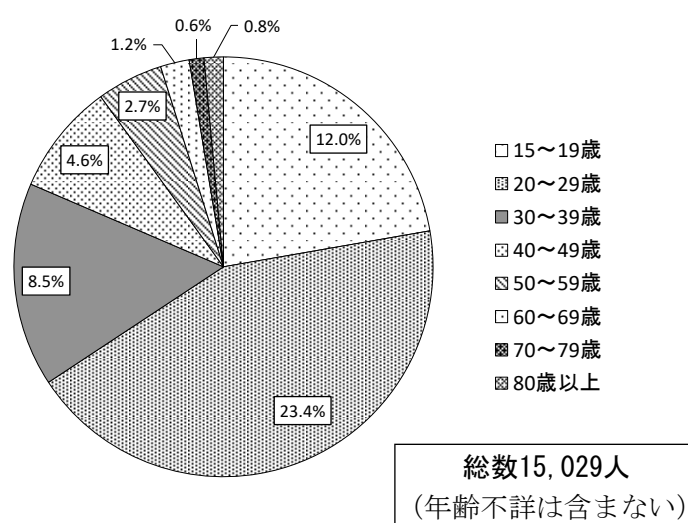
出典：国勢調査（総務省統計局）

【県外への転出】

圏域における平成22年から平成27年の県外への転出人口の割合については以下のとおり。

- ・平成22年から平成27年にかけての常住人口に占める県外への転出人口の割合を年齢階級別にみると、圏域においては「20～29歳」が最も高く23.4%となっている。中でも三戸町が最も高く29.0%、次いで南部町が25.8%となっている。
- ・圏域における若者の転出人口の割合を比較すると、「15～19歳」の転出割合が転入割合の約3倍、「20～29歳」の転出割合が転入割合の約2倍となっている。一方、圏域における30歳以上階級の転出入割合についてはその差が小さい。

図表1-37 県外への転出人口の割合（平成22年～27年）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-38 県外への転出人口の割合（転出人口÷常住人口）

市町村	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
八戸市	12.0%	23.8%	9.6%	5.3%	3.2%	1.4%	0.7%	0.9%
三戸町	14.9%	29.0%	5.2%	3.6%	1.9%	0.9%	0.6%	1.3%
五戸町	11.2%	21.1%	3.7%	1.7%	1.0%	0.3%	0.3%	0.6%
田子町	17.6%	24.9%	5.5%	2.4%	1.5%	0.8%	0.1%	0.5%
南部町	13.3%	25.8%	4.0%	1.5%	1.3%	0.5%	0.3%	0.4%
階上町	9.6%	22.5%	5.8%	2.7%	1.9%	0.8%	0.7%	0.5%
新郷村	13.8%	19.8%	1.7%	0.9%	0.3%	0.6%	0.2%	0.2%
おいらせ町	11.5%	18.2%	6.6%	3.8%	2.1%	0.9%	0.7%	0.5%
圏域	12.0%	23.4%	8.5%	4.6%	2.7%	1.2%	0.6%	0.8%
青森県	11.4%	22.2%	7.9%	5.0%	2.9%	1.2%	0.6%	0.8%

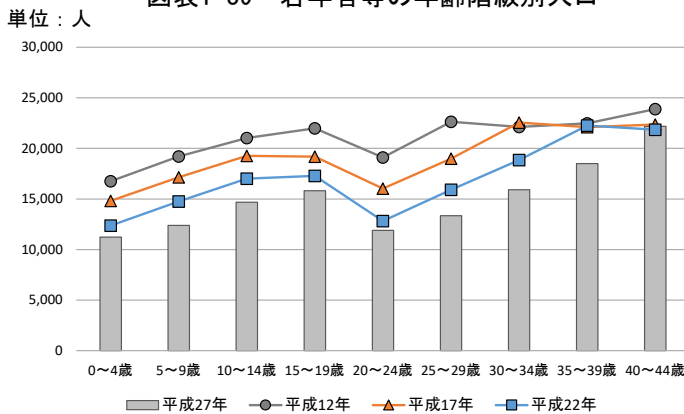
出典：国勢調査（総務省統計局）

④ 若年の人口変化

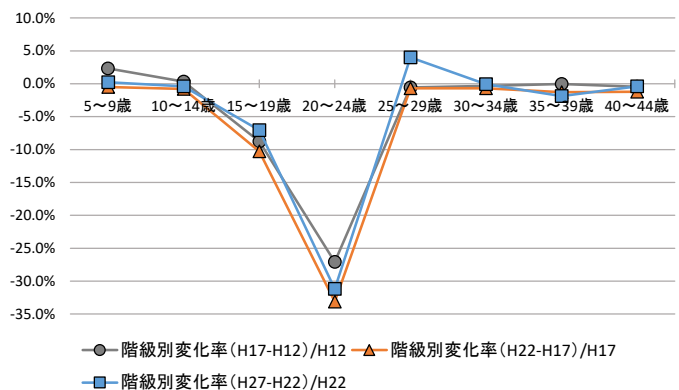
圏域における平成12年から平成27年の若年の人口変化については以下のとおり。

- ・圏域における平成12年から平成27年までの若年者等（15～44歳）の年齢階級別人口を比べてみると、「25～29歳」が9,288人の減少と最も大きく、次いで「20～24歳」（7,202人減）で、「5～9歳」、「10～14歳」、「30～34歳」、「15～19歳」の順（いずれも6,000人台の減）となっている。
- ・平成12～17年、17～22年、22～27年の若年者等の年齢階級別変化率についてみると、いずれの場合も「15～19歳」世代が5年で「20～24歳」に移行する間の変化率が最も大きく、それぞれ-27.1%、-33.1%、-31.2%となっており、青森県の同年齢階級の変化率（-20.7%、-26.1%、-25.0%）より大きくなっている。
- ・平成22年の「20～24歳」世代が平成27年に「25～29歳」に移行する間の変化率がマイナスからプラスの4.0%に転じるとともに、30～44歳までの変化率は0%付近を横ばいの傾向となっておりこの世代の定着傾向がうかがわれる。

図表1-39 若年者等の年齢階級別人口



図表1-40 若年者等の年齢階級別変化率



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-41 年齢階級別人口と変化率

単位：人

年 年齢階級	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12～27年 の年齢階級別 人口の増減	年齢階級別 変化率 (平成12～17年)	年齢階級別 変化率 (平成17～22年)	年齢階級別 変化率 (平成22～27年)
0～4歳	16,759	14,817	12,360	11,233	-5,526	—	—	—
5～9歳	19,195	17,148	14,746	12,389	-6,806	2.3%	-0.5%	0.2%
10～14歳	21,020	19,259	17,014	14,686	-6,334	0.3%	-0.8%	-0.4%
15～19歳	21,979	19,175	17,282	15,813	-6,166	-8.8%	-10.3%	-7.1%
20～24歳	19,096	16,027	12,823	11,894	-7,202	-27.1%	-33.1%	-31.2%
25～29歳	22,626	18,987	15,919	13,338	-9,288	-0.6%	-0.7%	4.0%
30～34歳	22,118	22,550	18,856	15,910	-6,208	-0.3%	-0.7%	-0.1%
35～39歳	22,467	22,112	22,263	18,503	-3,964	0.0%	-1.3%	-1.9%
40～44歳	23,891	22,361	21,846	22,173	-1,718	-0.5%	-1.2%	-0.4%
45～49歳	28,061	23,363	21,800	21,541	-6,520	-2.2%	-2.5%	-1.4%
50～54歳	29,199	27,378	22,861	21,421	-7,778	-2.4%	-2.1%	-1.7%
55～59歳	23,129	28,412	26,711	22,293	-836	-2.7%	-2.4%	-2.5%
60～64歳	22,351	22,801	27,811	25,957	3,606	-1.4%	-2.1%	-2.8%
65～69歳	21,721	21,466	21,867	26,658	4,937	-4.0%	-4.1%	-4.1%
70～74歳	17,334	20,235	19,983	20,554	3,220	-6.8%	-6.9%	-6.0%
75～79歳	11,847	15,305	18,031	17,899	6,052	-11.7%	-10.9%	-10.4%
80～84歳	6,976	9,573	12,358	14,898	7,922	-19.2%	-19.3%	-17.4%
85歳以上	5,445	7,236	10,884	13,241	7,796	3.7%	13.7%	7.1%

注）「年齢階級別変化率（平成12～17年）」＝「（ある年齢階級・平成17年人口）－（5年前の年齢階級・平成12年人口）／（5年前の年齢階級・平成12年人口）」で、「年齢階級別変化率（平成17～22年）」及び「年齢階級別変化率（平成22～27年）」についても同様。

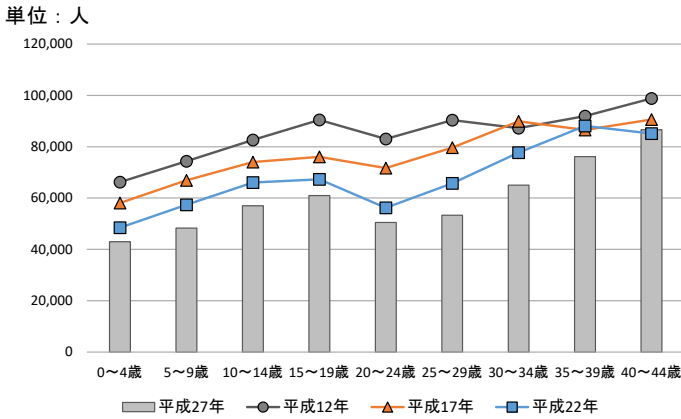
出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

※ 若年者については、「第9次労働青少年福祉対策基本方針（平成23年4月、厚生労働省）」において、対象年齢を15～34歳としている。ただし、JICAの青年海外協力隊の対象年齢は20～39歳としていることや、育児をしながらか働く近年の45歳未満の女性の社会進出ニーズに対応し、厚生労働省では雇用促進支援制度の対象年齢を「若年者等」として15～44歳に拡大しているなど、若年層は幅を持った扱いがされている。

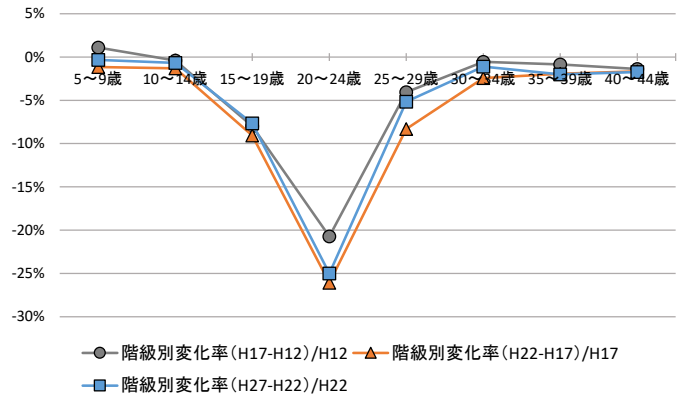
※ 「年齢階級別変化率」とは、例えば、ある年の0～4歳人口は5年後には5～9歳に達するが、転出入等による変化がなければ人口は同数で維持されるものの、実際には増減が生じることから、この5年間の変化率を「(平成17年5～9歳人口) - (平成12年0～4歳人口) / (平成12年0～4歳人口)」のように計算し%表示したもので、人口の変化速度を見ることができる。

※参考【青森県における若年の人口変化】

図表1-42 青森県における若年者等の年齢階級別人口



図表1-43 青森県における若年者等の年齢階級別変化率



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

年 年齢階級	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12～27年 の年齢階級別 人口の増減	年齢階級別 変化率 (平成12～17年)	年齢階級別 変化率 (平成17～22年)	年齢階級別 変化率 (平成22～27年)
0～4歳	66,182	58,032	48,461	42,943	-23,239	—	—	—
5～9歳	74,333	66,901	57,358	48,296	-26,037	1.1%	-1.2%	-0.3%
10～14歳	82,626	74,026	66,023	56,969	-25,657	-0.4%	-1.3%	-0.7%
15～19歳	90,446	76,025	67,308	60,960	-29,486	-8.0%	-9.1%	-7.7%
20～24歳	83,011	71,705	56,205	50,486	-32,525	-20.7%	-26.1%	-25.0%
25～29歳	90,363	79,639	65,738	53,303	-37,060	-4.1%	-8.3%	-5.2%
30～34歳	87,273	89,863	77,699	65,011	-22,262	-0.6%	-2.4%	-1.1%
35～39歳	91,897	86,530	88,118	76,138	-15,759	-0.9%	-1.9%	-2.0%
40～44歳	98,801	90,621	85,099	86,583	-12,218	-1.4%	-1.7%	-1.7%
45～49歳	114,017	96,704	88,299	83,018	-30,999	-2.1%	-2.6%	-2.4%
50～54歳	119,930	110,894	94,027	86,140	-33,790	-2.7%	-2.8%	-2.4%
55～59歳	94,161	116,476	107,612	91,592	-2,569	-2.9%	-3.0%	-2.6%
60～64歳	94,762	92,399	113,482	104,636	9,874	-1.9%	-2.6%	-2.8%
65～69歳	96,613	90,975	88,421	108,925	12,312	-4.0%	-4.3%	-4.0%
70～74歳	78,886	89,676	84,694	82,671	3,785	-7.2%	-6.9%	-6.5%
75～79歳	54,005	69,229	79,301	75,431	21,426	-12.2%	-11.6%	-10.9%
80～84歳	32,547	43,308	55,704	65,066	32,519	-19.8%	-19.5%	-18.0%
85歳以上	25,048	33,374	49,790	58,847	33,799	2.5%	15.0%	5.6%

図表1-44 青森県における年齢階級別人口と変化率

単位：人

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

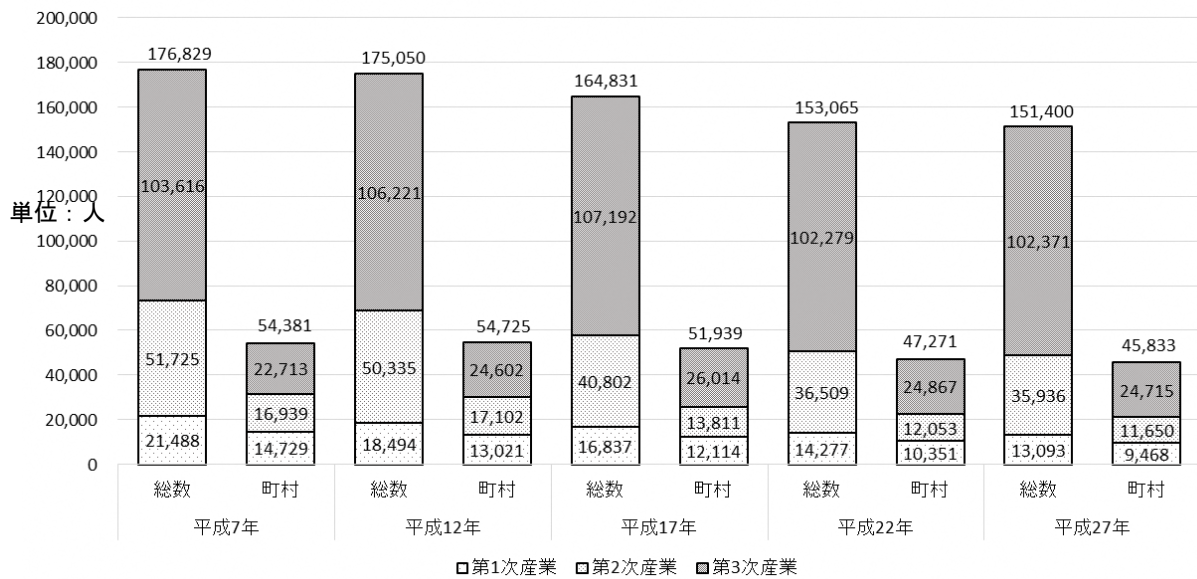
5 産業の動向

(1) 産業別就業者数

圏域における平成7年から平成27年の産業別就業者数の推移については以下のとおり。

- ・八戸市・階上町・おいらせ町を除く町村は、第1次産業の割合が高い水準にあり、基幹産業となっている。
- ・第2次産業比は、いずれの市町村も概ね20～30%の就業割合となっている。
- ・第3次産業比は、全ての市町村で増加傾向であり、特に階上町・おいらせ町の増加率が高い傾向となっている。

図表1-45 産業別就業者数の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-46 第1次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27－平成7 (単位：ポイント)
八戸市	就業者数	6,759	5,473	4,723	3,926	3,625	-3,134
	就業割合	5.5%	4.5%	4.2%	3.6%	3.4%	-2.1%
三戸町	就業者数	2,376	2,163	1,984	1,709	1,582	-794
	就業割合	32.7%	30.8%	32.3%	31.7%	30.9%	-1.8%
五戸町	就業者数	3,066	2,742	2,546	2,117	2,069	-997
	就業割合	26.3%	24.1%	24.4%	22.7%	22.9%	-3.4%
田子町	就業者数	1,765	1,629	1,494	1,254	1,098	-667
	就業割合	40.5%	39.3%	39.5%	38.4%	36.6%	-3.9%
南部町	就業者数	3,783	3,226	3,003	2,605	2,355	-1,428
	就業割合	31.1%	27.7%	27.5%	26.7%	25.1%	-6.0%
階上町	就業者数	1,000	827	793	647	563	-437
	就業割合	16.8%	12.3%	11.6%	9.8%	8.7%	-8.1%
新郷村	就業者数	967	971	893	811	682	-285
	就業割合	47.4%	48.6%	48.4%	49.8%	48.5%	1.1%
おいらせ町	就業者数	1,772	1,463	1,401	1,208	1,119	-635
	就業割合	16.2%	12.4%	11.6%	10.2%	9.3%	-6.9%
圏域	就業者数	21,488	18,494	16,837	14,277	13,093	-8,395
	就業割合	12.2%	10.5%	10.2%	9.1%	8.5%	-3.7%

注) 下段は総就業者に占める第1次産業就業者の割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-47 第2次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位：ポイント)
八戸市		34,786	33,233	26,991	24,456	24,286	-10,500
		28.4%	27.5%	23.8%	22.6%	22.5%	-5.9%
三戸町		1,795	1,769	1,315	1,047	968	-827
		24.7%	25.2%	21.3%	19.4%	18.9%	-5.8%
五戸町		3,833	3,693	2,950	2,506	2,344	-1,489
		32.8%	32.5%	28.2%	26.9%	25.9%	-6.9%
田子町		1,095	1,052	870	711	708	-387
		25.1%	25.4%	23.0%	21.8%	23.6%	-1.5%
南部町		3,469	3,294	2,559	2,099	2,039	-1,430
		28.5%	28.3%	23.5%	21.5%	21.8%	-6.7%
階上町		2,145	2,529	2,132	1,974	1,961	-184
		36.1%	37.6%	31.2%	29.9%	30.3%	-5.8%
新郷村		433	390	319	281	243	-190
		21.2%	19.5%	17.3%	17.2%	17.3%	-3.9%
おいらせ町		4,169	4,375	3,666	3,435	3,387	-782
		38.1%	37.0%	30.3%	29.0%	28.1%	-10.0%
圏域		51,725	50,335	40,802	36,509	35,936	-15,789
		29.2%	28.7%	24.7%	23.4%	23.3%	-5.9%

注) 下段は総就業者に占める第2次産業就業者の割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表1-48 第3次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27-平成7 (単位：ポイント)
八戸市		80,903	81,619	81,178	77,412	77,656	-3,247
		66.1%	68.0%	71.6%	71.4%	71.9%	5.8%
三戸町		3,104	3,082	2,862	2,620	2,517	-587
		42.7%	43.9%	46.4%	48.6%	49.2%	6.5%
五戸町		4,771	4,940	4,953	4,672	4,594	-177
		40.9%	43.4%	47.4%	50.2%	50.8%	9.9%
田子町		1,494	1,460	1,414	1,298	1,186	-308
		34.3%	35.3%	37.4%	39.8%	39.6%	5.3%
南部町		4,914	5,127	5,326	4,979	4,915	1
		40.4%	44.0%	48.8%	51.0%	52.5%	12.1%
階上町		2,803	3,356	3,845	3,755	3,818	1,015
		47.1%	50.1%	56.3%	56.8%	58.9%	11.8%
新郷村		640	636	630	535	481	-159
		31.4%	31.9%	34.1%	32.8%	34.2%	2.8%
おいらせ町		4,987	6,001	6,984	7,008	7,204	2,217
		45.6%	50.7%	57.8%	59.2%	59.7%	14.1%
圏域		103,616	106,221	107,192	102,279	102,371	-1,245
		58.6%	60.8%	64.8%	65.5%	66.3%	7.7%

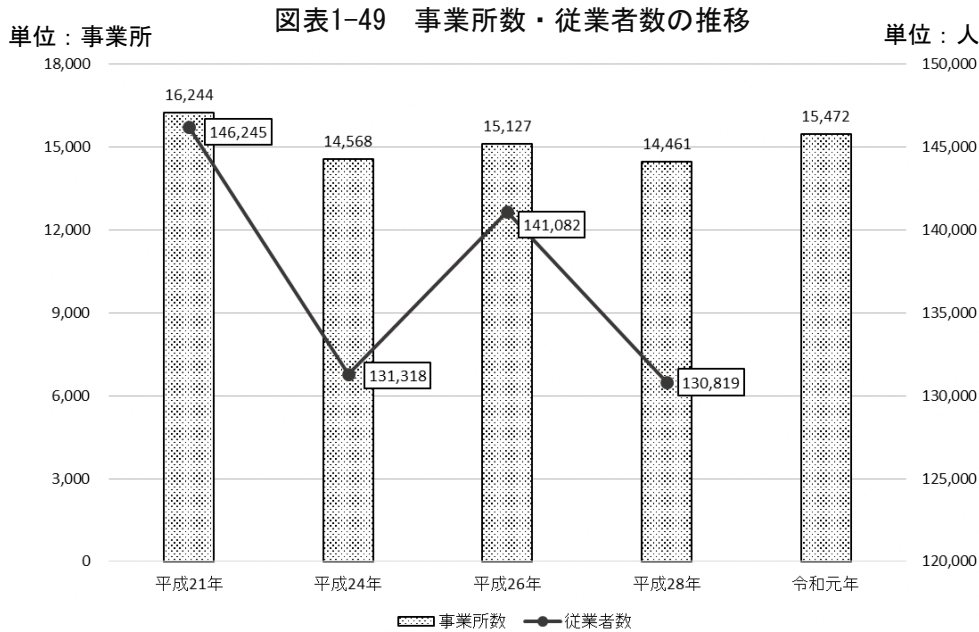
注) 下段は総就業者に占める第3次産業就業者割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

(2) 事業所数・従業者数

圏域における平成21年から令和元年の事業所数・従業者数の推移については以下のとおり。

- ・事業所数・従業者数とも、年によって増減はあるものの、圏域全体としては緩やかな減少傾向にある。
- ・平成28年から令和元年にかけては、いずれの市町村においても、事業所数が増加している。圏域全体では6.9%、圏域内構成比で約8割を占める八戸市においても6.5%の増加がみられる。



出典：経済センサス(平成21年～令和元年) (総務省統計局) より作成

(注) 令和元年の従業者数については、経済センサスの集計方法の変更により算出不能。

図表1-50 事業所数の推移

単位：事業所

市町村	年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市	事業所数	12,326	11,290	11,641	11,225	11,958	77.3%
	増減率	4.1%	-8.4%	3.1%	-3.6%	6.5%	
三戸町	事業所数	525	417	442	403	441	2.9%
	増減率	-0.4%	-20.6%	6.0%	-8.8%	9.4%	
五戸町	事業所数	731	608	633	604	622	4.0%
	増減率	1.5%	-16.8%	4.1%	-4.6%	2.9%	
田子町	事業所数	306	266	279	254	261	1.7%
	増減率	-3.2%	-13.1%	4.9%	-9.0%	2.7%	
南部町	事業所数	799	624	689	613	663	4.3%
	増減率	-7.8%	-21.9%	10.4%	-11.0%	8.1%	
階上町	事業所数	452	386	405	388	459	3.0%
	増減率	6.6%	-14.6%	4.9%	-4.2%	18.3%	
新郷村	事業所数	135	103	113	99	101	0.7%
	増減率	3.1%	-23.7%	9.7%	-12.4%	2.0%	
おいらせ町	事業所数	970	874	925	875	967	6.3%
	増減率	1.6%	-9.9%	5.8%	-5.4%	10.5%	
圏域	事業所数	16,244	14,568	15,127	14,461	15,472	—
	増減率	3.0%	-10.3%	3.8%	-4.4%	6.9%	

注) 下段は対前期増加率

注) 公務を除く

出典：事業所・企業統計調査(平成18年)、経済センサス(平成21年～平成28年) (総務省統計局)

図表1-51 従業者数の推移

単位：人

市町村	年	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		104,729	115,453 10.2%	104,520 -9.5%	112,283 7.4%	104,728 -6.7%	80.0%
三戸町		4,159	4,125 -0.8%	3,259 -21.0%	3,555 9.1%	3,164 -11.0%	2.4%
五戸町		6,101	6,116 0.2%	5,199 -15.0%	5,603 7.8%	5,186 -7.4%	4.0%
田子町		2,273	2,262 -0.5%	1,967 -13.0%	2,063 4.9%	1,821 -11.7%	1.4%
南部町		5,392	4,918 -8.8%	4,254 -13.5%	4,781 12.4%	4,044 -15.4%	3.1%
階上町		3,286	3,676 11.9%	3,261 -11.3%	3,476 6.6%	3,101 -10.8%	2.4%
新郷村		769	702 -8.7%	655 -6.7%	771 17.7%	604 -21.7%	0.5%
おいらせ町		8,811	8,993 2.1%	8,203 -8.8%	8,550 4.2%	8,171 -4.4%	6.2%
圏域		135,520	146,245 7.9%	131,318 -10.2%	141,082 7.4%	130,819 -7.3%	—

注) 下段は対前期増加率
注) 公務を除く
注) 男女別の不詳を含む

出典：事業所・企業統計調査(平成18年)、経済センサス(平成21年～平成28年)(総務省統計局)

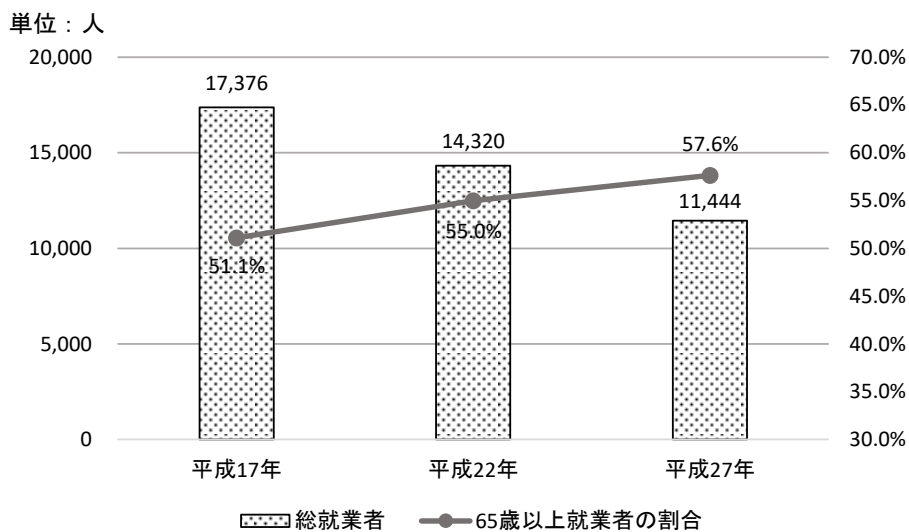
(3) 農業

① 農業就業者の高齢化の状況

圏域における平成17年から平成27年の農業就業者の高齢化の状況については以下のとおり。

- 平成17年から平成27年にかけて総就業者数は減少しており、65歳以上の就業者の割合は全市町村において増加傾向にある。平成27年において、三戸町以外の市町村では65歳以上就業者の割合が55%以上となっている。

図表1-52 農業総就業者数と65歳以上の農業就業者割合



出典：農林業センサス農林業経営体調査結果(青森県)より作成

図表1-53 販売農家における65歳以上の農業就業者数とその割合（平成17年～平成27年）

単位：人

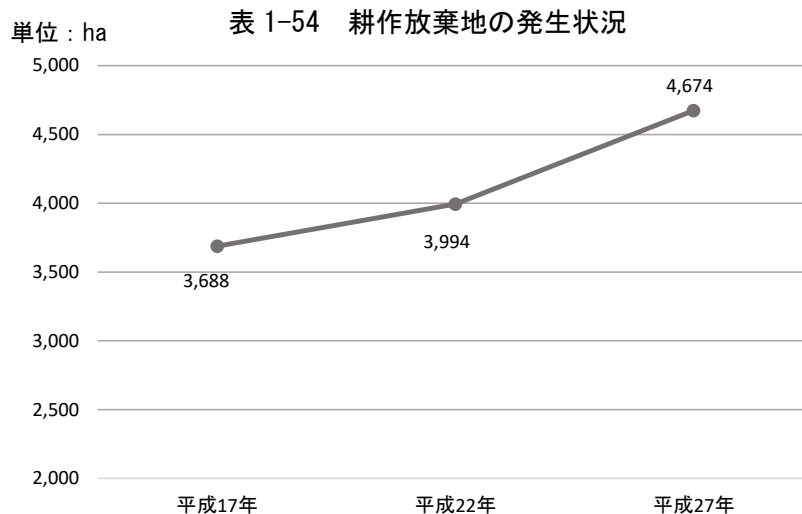
区分	総就業者			65歳以上就業者			65歳以上就業者の割合		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
八戸市	4,205	3,308	2,557	2,221	1,925	1,623	52.8%	58.2%	63.5%
三戸町	2,017	1,779	1,436	879	796	646	43.6%	44.7%	45.0%
五戸町	3,123	2,562	2,105	1,680	1,524	1,309	53.8%	59.5%	62.2%
田子町	1,497	1,263	1,020	781	651	563	52.2%	51.5%	55.2%
南部町	3,313	2,804	2,297	1,627	1,472	1,272	49.1%	52.5%	55.4%
階上町	494	405	319	310	271	209	62.8%	66.9%	65.5%
新郷村	1,102	938	735	569	535	426	51.6%	57.0%	58.0%
おいらせ町	1,625	1,261	975	811	698	548	49.9%	55.4%	56.2%
圏域	17,376	14,320	11,444	8,878	7,872	6,596	51.1%	55.0%	57.6%

出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（青森県）

② 耕作放棄地の状況

圏域における平成17年から平成27年の耕作放棄地の推移については以下のとおり。

- ・耕作放棄地の発生状況について、平成17年から平成27年の状況を見ると、圏域全体における耕作放棄地は26.7%の増加となっている。
- ・市町村別には、田子町が92.1%と最も増加率が高く、次いで五戸町で47.0%、新郷村が42.7%、南部町が34.6%の順となっている。



出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（確定値）（青森県）より作成

図表1-55 耕作放棄地の発生状況

単位：ha

市町村	年	平成17年	平成22年	平成27年	増減率 (平成27年/17年)
八戸市		1,199	1,305	1,465	22.2%
三戸町		176	248	211	19.9%
五戸町		562	637	826	47.0%
田子町		165	183	317	92.1%
南部町		486	567	654	34.6%
階上町		461	413	432	-6.3%
新郷村		157	151	224	42.7%
おいらせ町		482	490	545	13.1%
圏域		3,688	3,994	4,674	26.7%

出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（確定値）（青森県）

③ 農業産出額

【農業産出額－耕種】

圏域における農業産出額（耕種）については以下のとおり。

・圏域において、平成27年から平成30年にかけての農業産出額（耕種）は、年によって増減があるが、平成30年は対前年比5.3パーセント増となっている。

図表1-56 農業産出額（耕種）の推移

単位：百万円

市町村	年	平成16年	平成17年	平成18年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
八戸市		7,400	6,280 -15.1%	6,440 2.5%	6,060 4.8%	5,850 -3.5%	5,030 -14.0%	4,660 -7.4%	4,970 6.7%	4,810 -3.2%	5,020 4.4%
三戸町		5,700	4,730 -17.0%	4,840 2.3%	—	—	—	4,360	4,340 -0.5%	4,200 -3.2%	4,320 2.9%
五戸町		7,310	5,950 -18.6%	5,950 0.0%	—	—	—	6,230	7,070 13.5%	6,900 -2.4%	7,020 1.7%
田子町		3,320	2,970 -10.5%	3,050 2.7%	—	—	—	2,570	2,650 3.1%	2,580 -2.6%	2,610 1.2%
南部町		9,460	7,640 -19.2%	7,880 3.1%	—	—	—	6,780	7,420 9.4%	7,140 -3.8%	7,440 4.2%
階上町		1,120	860 -23.2%	860 0.0%	—	—	—	450	490 8.9%	460 -6.1%	490 6.5%
新郷村		3,090	2,530 -18.1%	2,430 -4.0%	—	—	—	1,910	2,090 9.4%	1,940 -7.2%	2,000 3.1%
おいらせ町		5,630	4,430 -21.3%	5,390 21.7%	4,670 -7.5%	5,220 11.8%	4,490 -14.0%	5,930 32.1%	6,980 17.7%	5,440 -22.1%	6,340 16.5%
圏域		43,030	35,390 -17.8%	36,840 4.1%	—	—	—	32,890	36,010 9.5%	33,470 -7.1%	35,240 5.3%
青森県		226,410	208,550 -7.9%	217,970 4.5%	199,800 -1.5%	201,900 1.1%	199,800 -1.0%	215,740 8.0%	230,280 6.7%	218,770 -5.0%	231,680 5.9%

注) 下段は対前年増加率

注) 八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成24～26年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。

出典：生産農業所得統計（平成16～18年）・被災市町村別農業産出額（平成24～26年）（農林水産省）、
あおりポテンシャルビュー（青森県）、市町村別農業産出額（推計）（平成27年～平成30年）

【農業産出額－畜産】

圏域における農業産出額（畜産）については以下のとおり。

・圏域において、平成27年から平成29年にかけての農業産出額（畜産）は、全体で微増となっており、平成29年時点で320億円となっている。

図表1-57 農業産出額（畜産）の推移

単位：百万円

市町村	年	平成16年	平成17年	平成18年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
八戸市		8,080	9,200	8,450	9,180	9,470	9,310	9,780	9,730	10,100
		3.7%	13.9%	-8.2%	10.2%	3.2%	-1.7%		-0.5%	3.8%
三戸町		3,210	3,260	3,300	—	—	—	1,870	1,920	1,890
		6.3%	1.6%	1.2%					2.7%	-1.6%
五戸町		3,290	3,630	3,630	—	—	—	2,960	2,930	2,800
		3.1%	10.3%	0.0%					-1.0%	-4.4%
田子町		3,230	3,320	3,430	—	—	—	4,070	4,180	4,180
		13.7%	2.8%	3.3%					2.7%	0.0%
南部町		2,080	2,140	2,190	—	—	—	7,490	7,410	7,440
		-6.7%	2.9%	2.3%					-1.1%	0.4%
階上町		3,320	2,910	2,800	—	—	—	3,060	3,000	3,030
		21.2%	-12.3%	-3.8%					-2.0%	1.0%
新郷村		690	710	710	—	—	—	450	510	500
		7.8%	2.9%	0.0%					13.3%	-2.0%
おいらせ町		2,910	2,710	3,090	2,730	3,160	3,460	2,250	2,140	2,080
		11.1%	-6.9%	14.0%	0.4%	15.8%	9.5%		-4.9%	-2.8%
圏域		26,810	27,880	27,600	—	—	—	31,930	31,820	32,020
		6.9%	4.0%	-1.0%					-0.3%	0.6%
青森県		68,630	70,890	70,380	76,000	81,500	88,000	91,000	91,800	91,500
		10.0%	3.3%	-0.7%	-2.1%	7.2%	8.0%	3.4%	0.9%	-0.3%

注) 下段は対前年増加率

注) 八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成24～26年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。

平成19年から市町村データ提供は中止されたが、平成27年から再提供されている。平成27年の対前年増加率の空白は、統計方法の変更による（属地から属人）

出典：生産農業所得統計（平成16～18年、平成27～29年）・被災市町村別農業産出額（平成24～26年）（農林水産省）、あおもりポテンシャルビュー（青森県）

【農業産出額－加工農産物】

圏域における農業産出額（加工農産物）については以下のとおり。

- ・農業産出額（加工農産物）があるのは、八戸市、三戸町及び南部町であり、圏域全体では平成14年から微減ないし横ばい傾向となっている。

図表1-58 農業産出額（加工農産物）の推移

単位：百万円

市町村	年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
八戸市		10	10 0.0%	10 0.0%	10 0.0%	10 0.0%	10	10 0.0%	0 -100%	0
三戸町		10	10 0.0%	0 -100.0%	0	10	—	—	—	—
五戸町		0	0	0	0	0	—	—	—	—
田子町		0	0	0	0	0	—	—	—	—
南部町		80	50 -37.5%	70 40.0%	70 0.0%	70 0.0%	—	—	—	—
階上町		0	0	0	0	0	—	—	—	—
新郷村		0	0	0	0	0	—	—	—	—
おいらせ町		0	0	0	0	0	0	0	0	0
圏域		100	70 -30.0%	80 14.3%	80 0.0%	90 12.5%	—	—	—	—
青森県		100	200 100.0%	90 -55.0%	90 0.0%	110 22.2%	100	100 0.0%	100 0.0%	100 0.0%

注) 下段は対前年増加率

注) 八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成23～26年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。
また、加工農産物については、平成27年以降のデータがない。

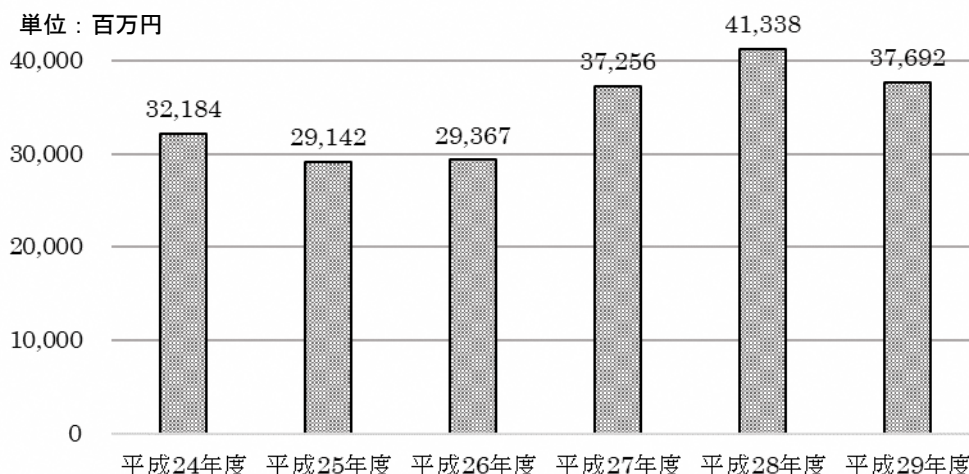
出典：生産農業所得統計（平成14～18年）・被災市町村別農業産出額（平成23～26年）（農林水産省）、
あおりポテンシャルビュー（青森県）

※参考【市町村内総生産（農業）】

圏域における平成24年度から平成29年度の農業総生産の推移については以下のとおり。

- ・圏域において、平成29年度時点で農業生産額の全体に占める割合が最も高いのは八戸市で23.5%、次いで南部町の20.9%、五戸町の15.1%の順となっている。
- ・圏域全体で見ると、平成29年度は平成24年度と比較して増加している。

図表1-59 圏域総生産（農業）の推移



出典：市町村民経済計算（青森県）より作成

図表1-60 市町村内総生産（農業）の推移

単位：百万円

市町村	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	圏域内構成比 (平成29年度)
八戸市		7,557	6,836 -9.5%	6,889 0.8%	8,585 24.6%	9,275 8.0%	8,860 -4.5%	23.5%
三戸町		3,339	2,868 -14.1%	2,719 -5.2%	3,362 23.6%	3,591 6.8%	3,280 -8.7%	8.7%
五戸町		4,991	4,481 -10.2%	4,417 -1.4%	5,540 25.4%	6,284 13.4%	5,704 -9.2%	15.1%
田子町		3,244	2,916 -10.1%	2,938 0.8%	3,706 26.1%	4,047 9.2%	3,744 -7.5%	9.9%
南部町		6,051	5,684 -6.1%	5,951 4.7%	7,764 30.5%	8,553 10.2%	7,885 -7.8%	20.9%
階上町		1,684	1,514 -10.1%	1,545 2.0%	1,922 24.4%	2,038 6.0%	1,912 -6.2%	5.1%
新郷村		1,371	1,224 -10.7%	1,201 -1.9%	1,505 25.3%	1,746 16.0%	1,579 -9.6%	4.2%
おいらせ町		3,947	3,619 -8.3%	3,707 2.4%	4,872 31.4%	5,804 19.1%	4,728 -18.5%	12.6%
圏域		32,184	29,142 -9.5%	29,367 0.8%	37,256 26.9%	41,338 11.0%	37,692 -8.8%	—

注) 下段は対前期増加率

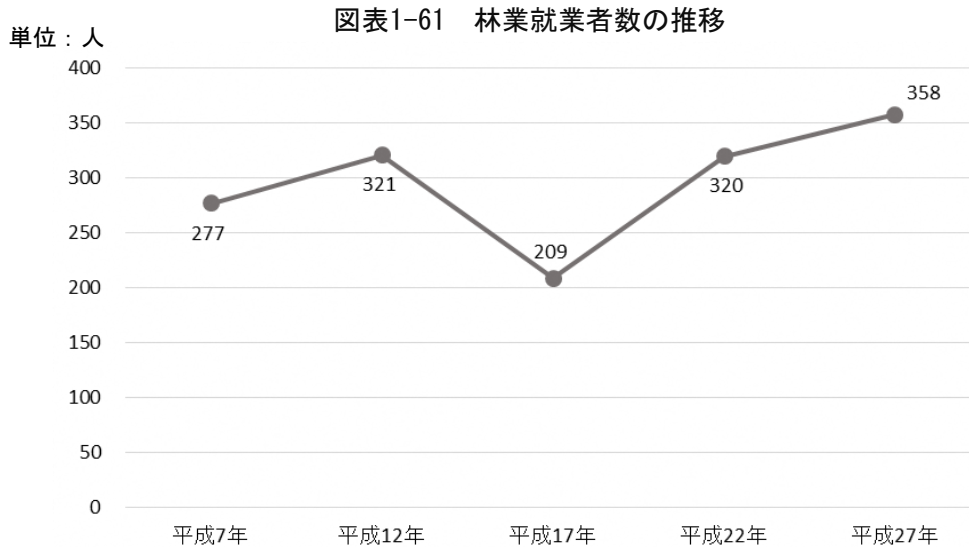
出典：市町村民経済計算（青森県）

- ※ 市町村内総生産（農業）は、1年間の農業産出額から投資額（加工品を含む農産物の生産に必要な農業や資機材、加工添加材料などの必要経費）を差し引いた付加価値の総額（GDP）。
- ※ 一部推計方法の変更等があり、平成18年度まで遡って改訂されており、令和2年度のビジョン変更の際、統計数値を遡って訂正。

(4) 林業

圏域における平成7年から平成27年の林業就業者数の推移については以下のとおり。

- 平成27年の林業就業者数は、平成22年と比べ、八戸市、三戸町、五戸町、田子町、おいらせ町で増加している。
- 圏域における総就業者数は、平成27年時点で358人であり、平成7年比で29.2%増となっている。



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表1-62 林業就業者数の推移

単位：人

市町村	年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市		30	36 20.0%	22 -38.9%	53 140.9%	91 71.7%	25.4%
三戸町		27	37 37.0%	22 -40.5%	36 63.6%	42 16.7%	11.7%
五戸町		23	28 21.7%	30 7.1%	32 6.7%	38 18.8%	10.6%
田子町		133	129 -3.0%	77 -40.3%	94 22.1%	88 -6.4%	24.6%
南部町		24	37 54.2%	30 -18.9%	34 13.3%	29 -14.7%	8.1%
階上町		9	8 -11.1%	7 -12.5%	34 385.7%	25 -26.5%	7.0%
新郷村		27	45 66.7%	20 -55.6%	34 70.0%	30 -11.8%	8.4%
おいらせ町		4	1 -75.0%	1 0.0%	3 200.0%	15 400.0%	4.2%
圏域		277	321 15.9%	209 -34.9%	320 53.1%	358 11.9%	—

注) 下段は対前年増加率

出典：国勢調査（総務省統計局）

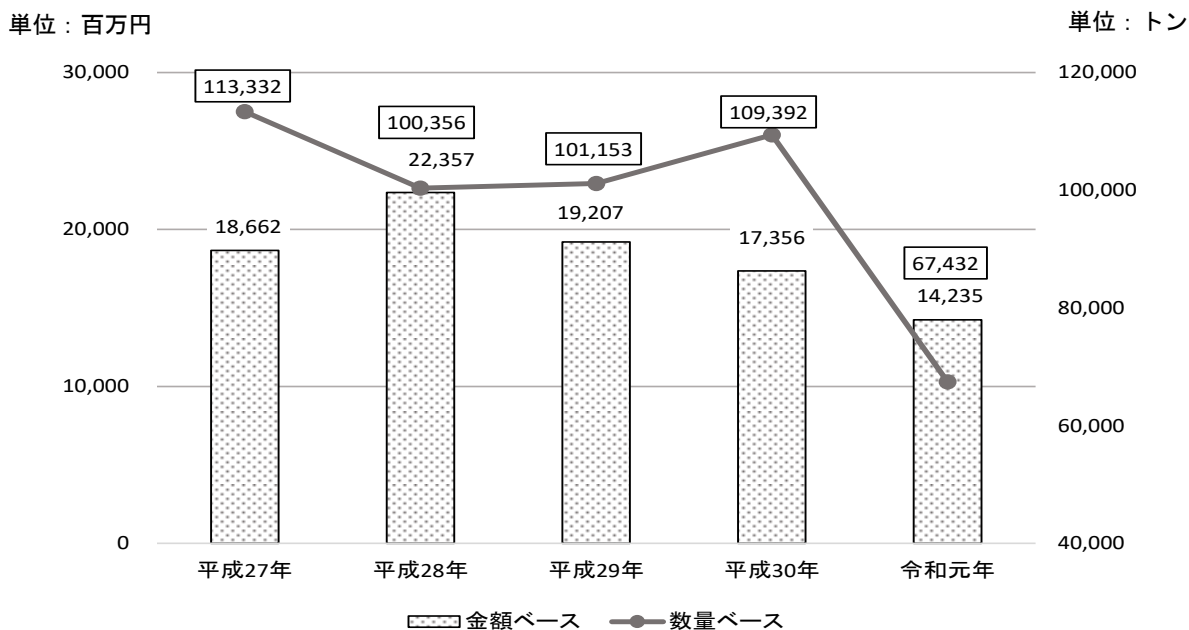
(5) 水産業

① 水揚げ高

圏域における平成27年から令和元年の水揚げ高の推移については以下のとおり。

- 令和元年の水揚げ高（数量ベース）は、八戸市が66,011トン、階上町が799トン、おいらせ町が621トンとなっており、八戸市のシェアが八戸圏域全体の97.9%を占めている。
- 平成27年から令和元年までの5年間で見ると、いずれの市町においても、年によって増減の変動が大きい。
- 令和元年の水揚げ高（金額ベース）は、八戸市が135億8千8百万円、階上町が3億8千5百万円、おいらせ町が2億6千2百万円となっており、八戸市のシェアが八戸圏域全体の95.5%を占めている。
- 平成27年から令和元年までの5年間で見ると、いずれの市町においても、年によって増減の変動が大きい。

図表1-63 水揚げ高の推移



出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）より作成

図表1-64 水揚げ高（数量ベース）の推移

市町村	年					圏域内構成比 (令和元年)
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
八戸市	111,419	98,785 -11.3%	99,519 0.7%	108,017 8.5%	66,011 -38.9%	97.9%
階上町	1,123	914 -18.6%	934 2.2%	707 -24.3%	799 13.0%	1.2%
おいらせ町	789	657 -16.7%	700 6.5%	668 -4.6%	621 -7.0%	0.9%
圏域	113,331	100,356 -11.4%	101,153 0.8%	109,392 8.1%	67,431 -38.4%	—

注) 下段は対前年増加率。小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）

図表 1-65 水揚げ高（金額ベース）の推移

単位：百万円

市町村	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	圏域内構成比 (令和元年)
八戸市		17,804	21,518 20.9%	18,249 -15.2%	16,658 -8.7%	13,588 -18.4%	95.5%
階上町		518	504 -2.7%	545 8.1%	405 -25.7%	385 -4.9%	2.7%
おいらせ町		340	335 -1.5%	413 23.3%	293 -29.1%	262 -10.6%	1.8%
圏域		18,662	22,357 19.8%	19,207 -14.1%	17,356 -9.6%	14,235 -18.0%	—

注) 下段は対前年増加率

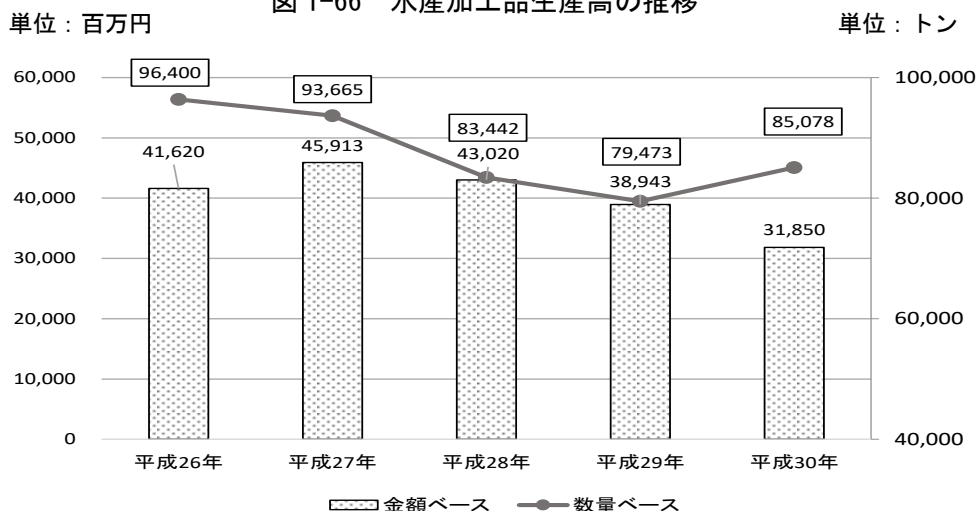
出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）

② 水産加工品生産高

圏域における平成26年から平成30年の水産加工品生産高の推移については以下のとおり。

- ・八戸市における水産加工品生産高（数量ベース）は減少傾向であったが、平成30年に増加し8万5千トンとなっている。
- ・八戸市における水産加工品生産高（金額ベース）は、減少傾向となっている。

図 1-66 水産加工品生産高の推移



出典：八戸市水産事務所資料より作成

図表 1-67 水産加工品生産高（数量ベース）の推移

単位：トン

市町村	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
八戸市		96,400	93,665 -2.8%	83,442 -10.9%	79,473 -4.8%	85,078 7.1%

出典：八戸市水産事務所資料

図表 1-68 水産加工品生産高（金額ベース）の推移

単位：百万円

市町村	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
八戸市		41,620	45,913 10.3%	43,020 -6.3%	38,943 -9.5%	31,850 -18.2%

出典：八戸市水産事務所資料

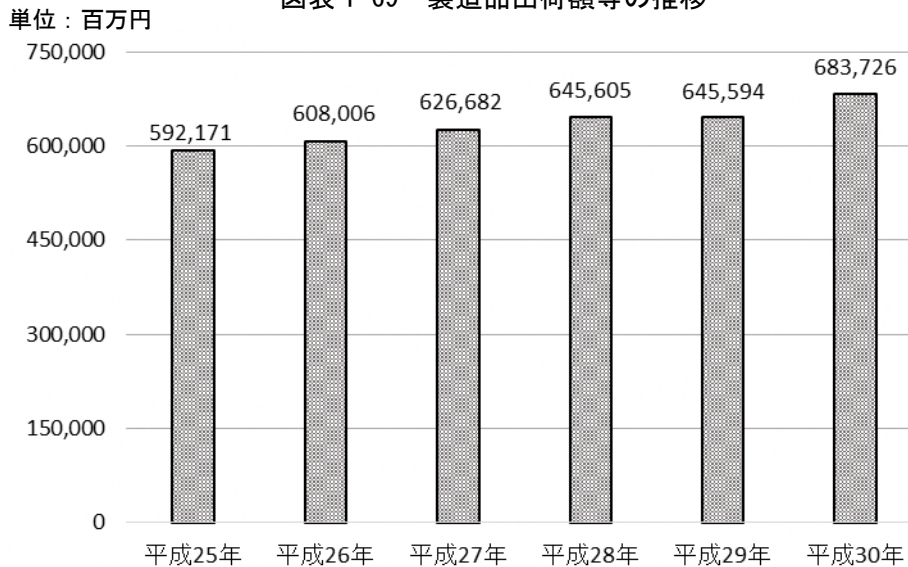
(6) 製造業

① 製造品出荷額等

圏域における平成25年から平成30年の製造品出荷額等の推移については以下のとおり。

- ・圏域全体における製造品出荷額等は平成30年時点で6,837億円余りとなっており、そのうち八戸市が5,690億円余りと八戸圏域全体の83.2%を占めている。

図表 1-69 製造品出荷額等の推移



出典：工業統計調査（経済産業省経済産業政策局）、平成28年経済センサス活動調査-産業別集計（製造業）（総務省統計局）より作成

図表1-70 製造品出荷額等の推移

単位：百万円

市町村	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	圏域内構成比 (平成30年)
八戸市		511,984	490,685 -4.2%	501,558 2.2%	512,701 2.2%	538,099 5.0%	534,135 -0.7%	569,086 6.5%	83.2%
三戸町		5,347	16,856 215.2%	13,589 -19.4%	13,035 -4.1%	14,328 9.9%	14,612 2.0%	14,079 -3.6%	2.1%
五戸町		18,396	18,073 -1.8%	18,966 4.9%	23,554 24.2%	23,215 -1.4%	23,782 2.4%	21,944 -7.7%	3.2%
田子町		8,907	8,988 0.9%	9,922 10.4%	11,691 17.8%	11,644 -0.4%	12,229 5.0%	11,258 -7.9%	1.6%
南部町		10,559	12,508 18.5%	16,654 33.1%	15,359 -7.8%	12,670 -17.5%	13,404 5.8%	13,825 3.1%	2.0%
階上町		10,307	10,572 2.6%	11,217 6.1%	12,244 9.2%	7,997 -34.7%	8,617 7.8%	7,861 -8.8%	1.1%
新郷村		X	X	X	X	X	X	X	-
おいらせ町		33,497	34,489 3.0%	36,100 4.7%	38,098 5.5%	37,652 -1.2%	38,815 3.1%	45,673 17.7%	6.7%
圏域		598,997	592,171 -1.1%	608,006 2.7%	626,682 3.1%	645,605 3.0%	645,594 0.0%	683,726 5.9%	-

注) 下段は対前年増加率

注) 新郷村においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載されていない(Xで表示)。

出典：工業統計調査（経済産業省経済産業政策局）、平成28年経済センサス活動調査-産業別集計（製造業）（総務省統計局）より作成

※ 製造品出荷額等とは、1年間（1～12月）における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等の内国消費税額を含んだ額である。

② 工業団地数・企業数

圏域における令和2年4月1日現在の工業団地数・企業数については以下のとおり。

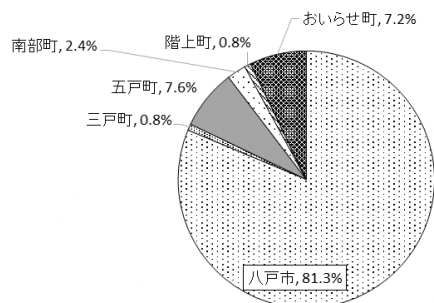
- ・工業団地数は、八戸市に8か所、五戸町に3か所、三戸町・南部町・階上町の各町に2か所、おいらせ町に1か所となっており、面積及び企業数は八戸市が圏域の大半を占めている。

図表1-71 工業団地数・企業数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
工業団地数	8	2	3	0	2	2	0	1	18
面積(ha)	389.5	9.0	44.6	0	18.1	7.2	0	23.2	491.6
企業数	204	2	19	0	6	2	0	18	251

出典：青森県工業団地一覧表（令和2年4月1日現在）

図表1-72 工業団地内企業数の内訳



出典：青森県工業団地一覧表（令和2年4月1日現在）より作成

(7) 商業

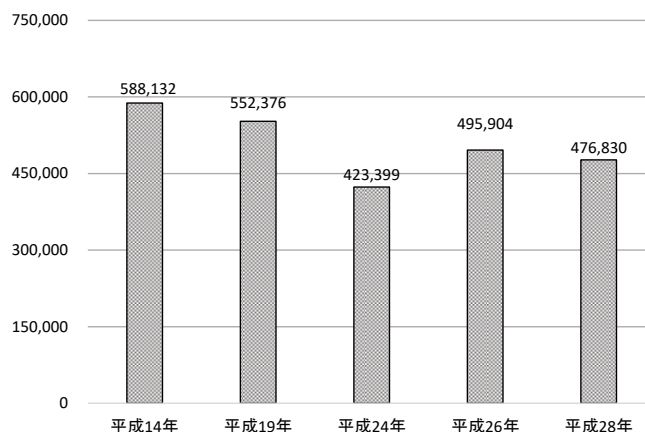
① 卸売販売額

圏域における平成14年から平成28年の卸売販売額の推移については以下のとおり。

- ・卸売販売額は、圏域内シェアで八戸市が94.8%と高いシェアを占めている。
- ・三戸町、南部町は、平成14年以降減少傾向が続いていたが、三戸町は平成26年に、南部町は平成28年に増加に転じた。
- ・また、五戸町、おいらせ町は、平成24年度以降増加傾向にある。

図表1-73 卸売販売額の推移

単位：百万円



出典：商業統計調査(平成14～19年、平成26年)（経済産業省経済産業政策局）、経済センサス(平成24年、28年)（総務省統計局）より作成

(注) 令和元年の卸売・小売販売数については、経済センサスの集計方法の変更により算出不能。

図表1-74 卸売販売額の推移

単位：百万円

市町村	年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		557,071	524,095 -5.9%	403,847 -22.9%	475,276 17.7%	451,875 -4.9%	94.8%
三戸町		9,097	6,955 -23.5%	3,073 -55.8%	3,108 1.1%	3,529 13.5%	0.7%
五戸町		1,877	2,318 23.5%	1,971 -15.0%	2,409 22.0%	2,465 2.3%	0.5%
田子町		739	1,046 41.5%	X —	X —	234 —	0.0%
南部町		6,795	5,551 -18.3%	5,111 -7.9%	4,464 -12.7%	5,741 28.6%	1.2%
階上町		4,178	5,394 29.1%	2,311 -57.2%	2,644 14.4%	795 -69.9%	0.2%
新郷村		179	192 7.3%	— —	— —	— —	—
おいらせ町		8,196	6,825 -16.7%	7,086 3.8%	8,003 12.9%	12,191 52.3%	2.6%
圏域		588,132	552,376 -6.1%	423,399 -23.3%	495,904 17.1%	476,830 -3.8%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 田子町(平成24年)においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない(Xで表示)。
注) 新郷村(平成24年)においては、該当数字がないため、掲載していない。

出典：商業統計調査(平成14～19年、平成26年)(経済産業省経済産業政策局)、経済センサス(平成24年、28年)(総務省統計局)

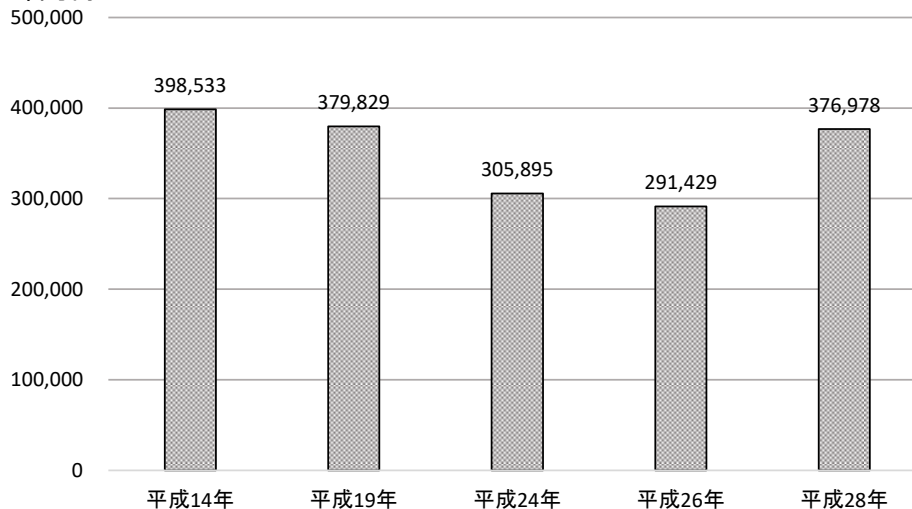
② 小売販売額

圏域における平成14年から平成28年の小売販売額の推移については以下のとおり。

- ・圏域全体での小売販売額は、平成14年以降減少傾向が続いていたが、平成28年に増加に転じた。
- ・八戸市が圏域内で79.3%と高いシェアを占めている。
- ・三戸町・五戸町・新郷村・おいらせ町は、平成26年に増加に転じている。

図表1-75 小売販売額の推移

単位：百万円



出典：商業統計調査(平成14年～19年、平成26年)(経済産業省経済産業政策局)、経済センサス(平成24年、28年)(総務省統計局)より作成

図表1-76 小売販売額の推移

単位：百万円

市町村	年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
八戸市		316,265	301,325 -4.7%	246,633 -18.2%	230,709 -6.5%	299,093 29.6%	79.3%
三戸町		13,032	11,650 -10.6%	9,481 -18.6%	9,728 2.6%	10,146 4.3%	2.7%
五戸町		9,853	10,743 9.0%	8,573 -20.2%	12,178 42.0%	14,605 19.9%	3.9%
田子町		5,710	4,540 -20.5%	X —	X —	3,580 —	0.9%
南部町		14,052	10,245 -27.1%	10,072 -1.7%	8,883 -11.8%	9,322 4.9%	2.5%
階上町		5,533	7,320 32.3%	6,373 -12.9%	4,796 -24.7%	7,040 46.8%	1.9%
新郷村		1,125	1,492 32.6%	1,257 -15.8%	1,315 4.6%	1,886 43.4%	0.5%
おいらせ町		32,963	32,514 -1.4%	23,506 -27.7%	23,820 1.3%	31,306 31.4%	8.3%
圏域		398,533	379,829 -4.7%	305,895 -19.5%	291,429 -4.7%	376,978 29.4%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 田子町(平成24~26年)においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない(Xで表示)。

出典：商業統計調査(平成14年~19年、平成26年)(経済産業省経済産業政策局)、経済センサス(平成24年、28年)(総務省統計局)より作成

③ 大規模小売店舗数

圏域における令和3年1月13日現在の大規模小売店舗数については以下のとおり。

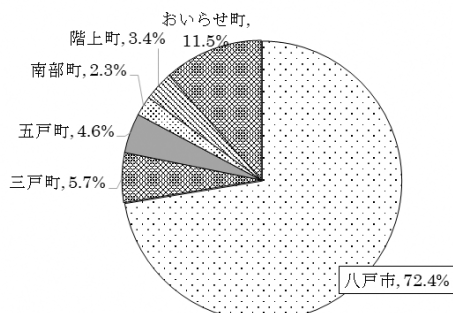
- ・大規模小売店舗数(大規模小売店立地法に基づく届出店舗面積が1,000㎡以上の店舗)は、八戸市が63店舗となっており、町村部では、おいらせ町が10店舗と、他の町村と比較して多く立地している。
- ・圏域における大規模小売店舗数は87店舗となっている。

図表1-77 大規模小売店舗数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
大規模小売店舗数	63	5	4	0	2	3	0	10	87

出典：青森県内の大規模小売店舗一覧(青森県)より作成(令和3年1月13日現在)

図表 1-78 大規模小売店舗数内訳



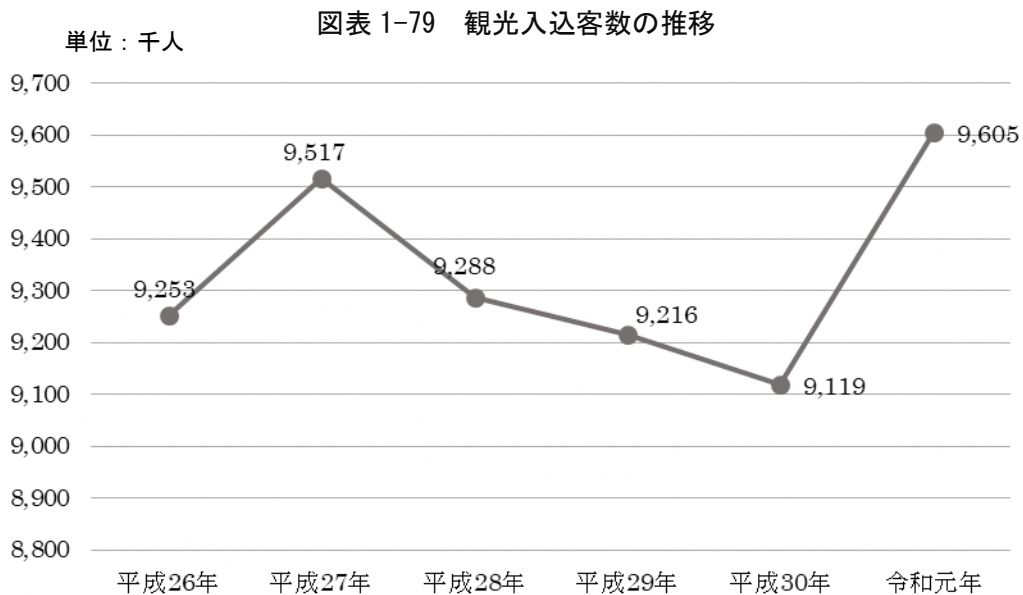
注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：青森県内の大規模小売店舗一覧(青森県)より作成(令和3年1月13日現在)

(8) 観光（観光入込客数）

圏域における平成26年から令和元年の観光入込客数の推移については以下のとおり。

- ・圏域における観光入込客数は平成 27 年から減少傾向にあったが、令和元年に増加に転じ 960 万 5 千人となっている。
- ・令和元年の圏域の入込客数については対前年比 5.3%の増加となり、市町村別では八戸市・三戸町・五戸町・階上町・新郷村で対前年増加率がプラスとなっている。



出典：青森県観光入込客統計（青森県）より作成

図表1-80 観光入込客数の推移

単位：千人

市町村	年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
八戸市		6,876 1.7%	6,986 1.6%	6,681 -4.4%	6,648 -0.5%	6,394 -3.8%	6,632 3.7%
三戸町		300 -7.8%	346 15.6%	364 5.1%	369 1.5%	303 -18.0%	547 80.8%
五戸町		148 -5.8%	131 -10.9%	121 -7.9%	142 17.4%	138 -2.7%	149 7.5%
田子町		34 5.5%	48 41.3%	48 -1.5%	48 0.8%	45 -7.1%	44 -0.9%
南部町		682 -1.1%	735 7.8%	738 0.3%	742 0.5%	725 -2.3%	696 -3.9%
階上町		385 0.1%	445 15.4%	524 17.7%	493 -5.9%	713 44.8%	748 4.9%
新郷村		152 -5.5%	153 0.4%	145 -4.8%	139 -4.4%	139 -0.2%	159 14.9%
おいらせ町		676 -0.3%	671 -0.7%	667 -0.6%	635 -4.8%	663 4.3%	629 -5.0%
圏域		9,253 0.7%	9,517 2.9%	9,288 -2.4%	9,216 -0.8%	9,119 -1.0%	9,605 5.3%

注) 下段は対前年増加率

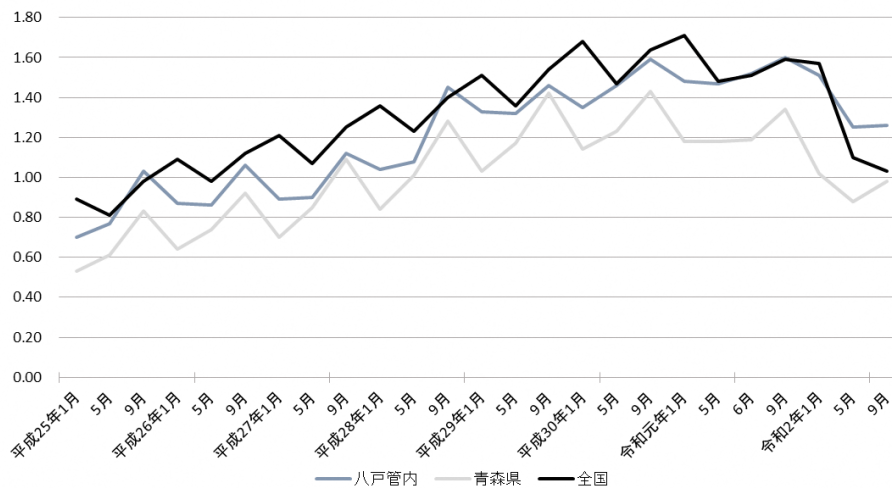
出典：青森県観光入込客統計（青森県）

(9) 雇用（有効求人倍率）

圏域における有効求人倍率の推移については以下のとおり。

- ・八戸公共職業安定所管内の有効求人倍率は、令和2年5月以降はほぼ横ばいで推移しており、令和2年10月は1.26となっている。
- ・八戸公共職業安定所管内の令和2年10月有効求人倍率は全国（1.04）及び青森県（0.95）を上回る水準となっている。

図表 1-81 有効求人倍率の推移



注) 有効求人倍率は、季節変動の影響が含まれた原数値

出典：八戸公共職業安定所資料、青森労働局職業安定部、厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」より作成

6 都市機能の集積状況

(1) 医療（自治体病院等）

① 病院・診療所数

圏域における平成30年の病院・診療所数については以下のとおり。

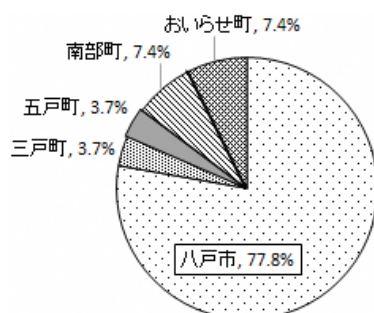
- ・病院は、八戸市に圏域の大半となる21施設があるほか、南部町・おいらせ町には各町2施設、三戸町・五戸町には各町1施設となっており、診療所は八戸市に集中立地している。

図表 1-82 病院・診療所数

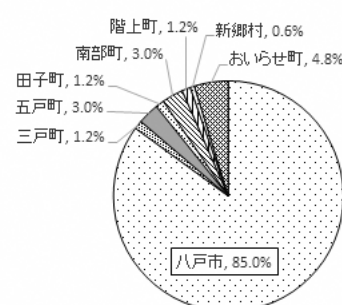
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
病院数	21	1	1	0	2	0	0	2	27
診療所数	142	2	5	2	5	2	1	8	167

出典：地域医療情報システム（JMAP）（令和2年11月現在、日本医師会）

図表1-83 病院数内訳



図表1-84 診療所数内訳



出典：地域医療情報システム（JMAP）（令和2年11月現在、日本医師会）より作成

② 自治体病院・診療所の概要

圏域における自治体病院・診療所の概要については以下のとおり。

- 自治体病院は、圏域の中核医療機関となる八戸市立市民病院があるほか、八戸市以外には、三戸町・五戸町・南部町・おいらせ町に立地している。
- 自治体診療所は、八戸市・五戸町・田子町・新郷村に立地している。

図表1-85 自治体病院・診療所の概要

分類	名称	診療科名
病院	八戸市立市民病院	消化器科、消化器内視鏡科、化学療法科、呼吸器科、循環器科、腎臓内科、内分泌糖尿病科、神経内科、小児科、外科、小児外科、形成外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、婦人科内視鏡外科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和医療科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科(救命救急センター)、総合診療科
	三戸中央病院	内科、婦人科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、脳神経外科、脊椎・脊髄神経外科、神経内科、メンタルヘルス科、禁煙外来
	五戸総合病院	内科、外科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻いんこう科、整形外科、脳神経外科、皮膚科
	南部町医療センター	内科、外科、循環器内科、小児科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、アレルギー科、肛門外科、眼科
	おいらせ病院	内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、脳神経外科
診療所	八戸市休日夜間急病診療所	内科、外科系、小児科
	南郷診療所	内科、歯科
	川内診療所	内科、外科
	倉石診療所	内科、小児科、胃腸内科、皮膚科
	田子診療所	内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科
	新郷診療所	内科

出典：各市町村等ホームページをもとに作成（令和2年11月現在）

③ 指定病院の状況

圏域の自治体病院における指定病院の状況については以下のとおり。

- ・青森県南地域の中核病院である八戸市立市民病院は、救命救急センターを併設し、急性期や重篤な患者への医療サービスを24時間体制で提供しているほか、地域周産期母子医療センターでは、危険な状態の出産前の母親と胎児、出生直後の新生児の一貫した総合治療を24時間体制で行っている。また、災害拠点病院の指定も受けている。
- ・町村では三戸中央病院・五戸総合病院・南部町医療センター・おいらせ病院が救急告示病院の指定を受けており、三戸中央病院はへき地医療拠点病院の指定も受けている。

図表1-86 指定病院の状況

区分	八戸市立市民病院	三戸中央病院	五戸総合病院	南部町医療センター	おいらせ病院
救命救急センター	●				
地域周産期母子医療センター	●				
病院機能評価認定病院	●				
地域医療支援病院	●				
地域がん診療連携拠点病院	●				
医師臨床研修指定病院	●				
第二種感染症指定医療機関	●				
救急告示病院	●	●	●	●	●
へき地医療拠点病院		●			
第二次救急医療機関	●				
第三次救急医療機関	●				
災害拠点病院	●				

出典：青森県ホームページ等をもとに作成

④ 医師充足率（自治体病院）

圏域の自治体病院における医師充足率については以下のとおり。

- ・圏域の自治体病院について、施設運営上必要な医師充足率を見ると、八戸市立市民病院で60.0%、最も高いおいらせ病院では71.4%、最も低い南部町医療センターでは57.1%となっている。

図表1-87 医師充足率の状況

病院名	許可病床数	標榜診療科目数	医師数	医師充足率	
				医療法上	施設運営上
八戸市立市民病院	608	26	122.0	239.0	60.0
三戸中央病院	142	10	8.9	84.0	60.0
五戸総合病院	165	9	12.2	107.7	58.8
南部町医療センター	66	10	8.9	100.9	57.1
おいらせ病院	78	6	6.4	97.2	71.4

注）医師充足率については令和元年5月1日現在の数値。

出典：平成30年度市町村立病院経営便覧（青森県）（令和2年1月21日現在）

※ 医師充足率について

- ・医療法上の医師充足率： 医療法の規定に基づく算定方法により必要とされる医師数に対する充足割合
- ・施設運営上の医師充足率： 各病院の施設運営上必要とする医師数に対する充足割合

(2) 福祉

圏域における福祉施設の立地状況については以下のとおり。

・福祉施設は、八戸市に集中立地している。

図表1-88 福祉施設立地状況

単位：施設

区分		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
児童 福祉関係	保育所等	81	3	5	2	3	4	1	13	112
	児童館	15	2	0	0	1	0	0	2	20
障害者 福祉関係	障害者支援施設	7	0	2	0	1	0	0	1	11
	地域活動支援センター	3	1	0	0	0	0	0	0	4
高齢者 福祉関係	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特別養護老人ホーム	13	1	4	1	3	1	0	3	26
	軽費老人ホーム (ケアハウス)	5	0	0	0	0	0	0	1	6
	地域包括支援センター	13	1	1	1	1	1	1	1	20
	生活支援ハウス (高齢者生活福祉センター)	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	老人福祉センター	2	1	0	1	3	1	3	1	12
	老人憩の家	5	0	0	0	0	0	0	0	5

出典：青森県健康福祉関係施設名簿（令和2年4月1日現在）

※「老人憩の家」の立地状況は、八戸市資料より

(3) 高等教育機関、研究機関・産業支援機関等

① 高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）と学生数

圏域における高等教育機関については以下のとおり。

・大学・短大・高等専門学校は、町村部への立地がなく、全て八戸市への立地となっている。

図表1-89 大学、短期大学、高等専門学校と学生数

分類	名称	学部・学科名	学生数(人)計			
大学	私立	八戸工業大学	工学部	機械工学科	191	1,198
				電気電子工学科	114	
				システム情報工学科	314	
				生命環境科学科	107	
				土木建築工学科	293	
		感性デザイン学部	創生デザイン学科	157		
		大学院	工学研究科 (博士前期課程)	機械・生物化学工学専攻	4	
				電子電気・情報工学専攻	5	
				社会基盤工学専攻	9	
			工学研究科 (博士後期課程)	機械・生物化学工学専攻	1	
				電子電気・情報工学専攻	0	
社会基盤工学専攻	3					
私立	八戸学院大学	ビジネス学部	ビジネス学科	79	917	
		地域経営学部	地域経営学科	228		
		健康医療学部	人間健康学科	354		
			看護学科	256		
短期大学	私立	八戸学院大学 短期大学部	—	幼児保育学科	172	203
				介護福祉学科	31	
高等専門学校	国立	八戸工業高等専門学校	—	産業システム工学科	834	891
				機械工学科	1	
				専攻科	産業システム工学専攻科	
合計						3,209

出典：令和2年度学校一覧（令和2年5月現在、青森県教育委員会）

② 専修学校

圏域における専修学校については以下のとおり。

・八戸圏域における専修学校は9校で、そのうち8校が八戸市に、1校が五戸町に立地している。

図表1-90 専修学校数と生徒数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
専修学校(校)	8	0	1	0	0	0	0	0	9
生徒数(人)	552	0	212	0	0	0	0	0	764

注) 八戸市に立地する専修学校8校中、2校は休校中

出典：令和2年度学校一覧（令和2年5月現在、青森県教育委員会）

③ 研究機関・産業支援機関等

圏域における研究機関・産業支援機関については以下のとおり。

図表1-91 研究機関・産業支援機関

分類	機関・施設名称・設置場所
八戸市	八戸市農業経営振興センター(八戸市)
民間・その他	株式会社 八戸インテリジェントプラザ(八戸市)
	公益財団法人 八戸地域高度技術振興センター(八戸市)
	一般財団法人 VISITはちのへ(八戸市)
	地方独立行政法人 青森県産業技術センター八戸工業研究所(八戸市)
	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 食品総合研究所(八戸市)
地方独立行政法人 青森県産業技術センター りんご研究所(五戸町)	

出典：青森県産業立地ガイド及び八戸市資料（いずれも令和2年4月現在）

(4) 文化・スポーツ施設

① 文化・スポーツ施設の立地状況

圏域における令和2年の文化・スポーツ施設の状況については以下のとおり。

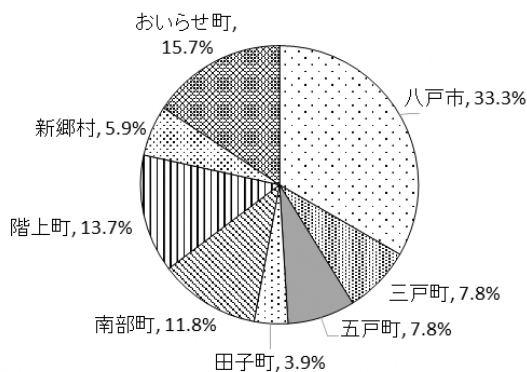
- ・文化施設は八戸市に17施設が立地しており、おいらせ町に8施設、階上町に7施設、南部町に6施設、三戸町に4施設、五戸町に4施設、田子町・新郷村に各町村2施設の順となっている。
- ・スポーツ施設は八戸市に39施設が立地しており、南部町に17施設、五戸町に12施設、おいらせ町に10施設、三戸町に9施設、田子町に9施設、新郷村に6施設、階上町に5施設の順となっている。

図表1-92 文化・スポーツ施設の立地状況

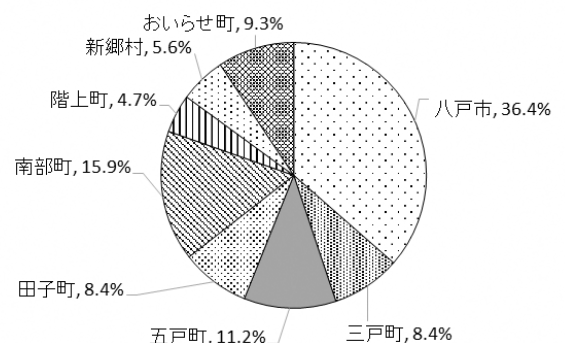
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
文化施設	17	4	4	2	6	7	2	8	50
スポーツ施設	39	9	12	9	17	5	6	10	107

出典：各市町村ホームページをもとに作成（令和2年11月30日現在）

図表 1-93 文化施設数内訳



図表 1-94 スポーツ施設数内訳



注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：各市町村ホームページをもとに作成（令和2年11月30日現在）

② 公立図書館・主な図書室の利用状況

圏域における平成30年度の公立図書館・主な図書室の利用状況については以下のとおり。

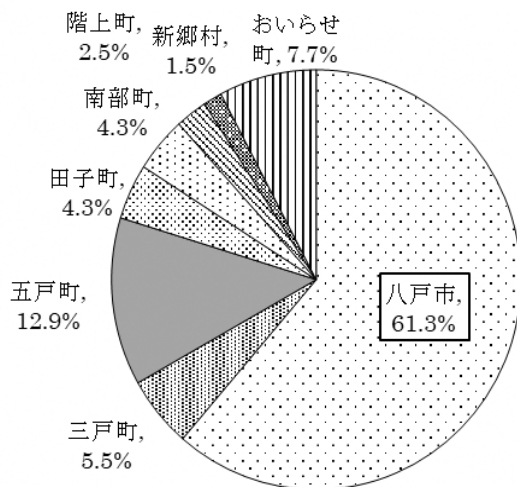
- ・公立図書館は八戸市に3か所、三戸町・五戸町・田子町・おいらせ町に各1か所ずつある。
- ・八戸市が蔵書数（61.3%）、貸出数（82.9%）ともに最も多く、蔵書数は、五戸町、おいらせ町、三戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村の順、貸出数は、おいらせ町、五戸町、三戸町、南部町、田子町、階上町、新郷村の順となっている。

図表1-95 公立図書館・主な図書室の利用状況

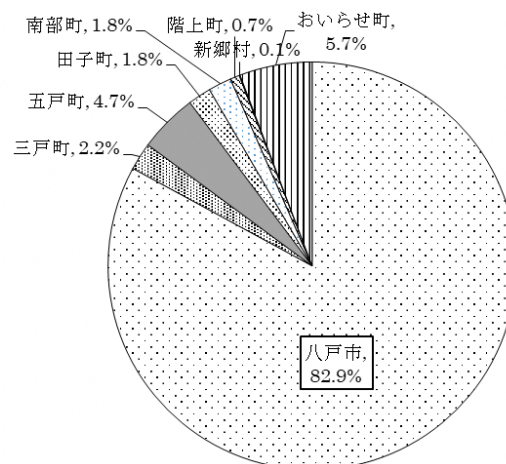
区分		蔵書数	貸出数
市町村名・施設名称			
八戸市	八戸市立図書館	460,807	678,222
	八戸市図書情報センター	5,779	48,907
	八戸市立南郷図書館	65,307	68,194
	合計	531,893	795,323
三戸町	三戸町立図書館	47,816	20,947
五戸町	五戸町図書館	112,213	44,781
田子町	田子町立図書館	37,104	17,567
南部町	南部町立福地公民館	7,591	507
	南部町立名川中学校図書室	29,337	17,101
	合計	36,928	17,608
階上町	階上町道仏公民館	5,579	1,071
	ハートフルプラザ・はしかみ	10,620	1,856
	石鉢ふれあい交流館	5,638	4,183
	合計	21,837	7,110
新郷村	新郷村役場山村開発センター	12,793	618
おいらせ町	おいらせ町立図書館	66,924	55,101
圏域		867,508	959,055

出典：令和元年度版 青森県の図書館、八戸市調べ

図表 1-96 公立図書館・主な図書室蔵書数内訳



図表 1-97 公立図書館・主な図書室貸出数内訳



注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典: 令和元年度版 青森県の図書館、八戸市調べより作成

(5) 市民活動等

圏域における令和2年の市民活動等の状況については以下のとおり。

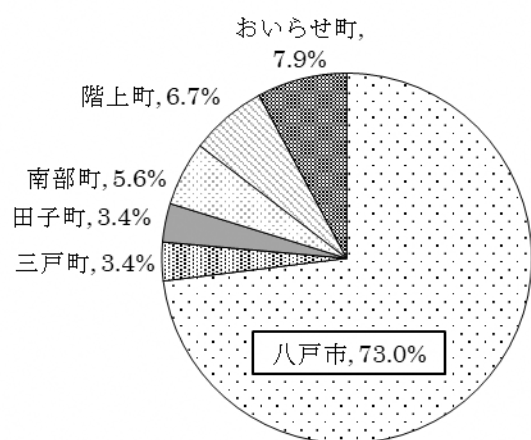
- ・NPO法人は、八戸市に65法人があるほか、おいらせ町に7法人、階上町に6法人、南部町に5法人、三戸町と田子町に3法人となっている。

図表1-98 NPO法人の設立状況

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
NPO法人数	65	3	0	3	5	6	0	7	89

出典：内閣府全国NPO法人情報検索システムをもとに作成（令和2年9月30日現在）

図表 1-99 NPO法人数の内訳



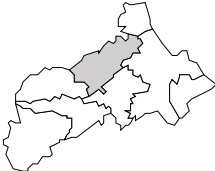

注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。



出典：内閣府全国NPO法人情報検索システムをもとに作成（令和2年9月30日現在）

7 地域資源の状況

圏域における地域資源の状況については以下のとおり。

分野	市町村名	八戸市	三戸町
			
自然景勝地		<ul style="list-style-type: none"> ・名勝種差海岸 ・天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地 ・三陸復興国立公園（種差海岸） 	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園（県立自然公園） ・名久井岳（県立自然公園）
歴史・民俗		<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引八幡宮（国宝 赤糸威鎧兜大袖付、白糸威褰取鎧兜大袖付） ・清水寺観音堂 ・八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館（国宝 合掌土偶） ・史跡根城跡 ・史跡是川石器時代遺跡 ・旧島守発電所保存公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・一里塚ポケットパーク ・旧河内屋橋本合名会社 ・更上閣（主屋等） ・新むつ旅館（本館） ・八戸酒造（店舗兼主屋等） ・八戸えんぶり ・八戸三社大祭 ・加賀美流騎馬打毬 ・鮫の神楽 ・法霊神楽
スポーツ施設		<ul style="list-style-type: none"> ・長根公園（八戸市長根屋内スケート場、八戸市体育館等） ・新井田公園（八戸市新井田インドアリンク） ・東運動公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・三戸町スポーツ文化福祉複合施設（アップルドーム） ・三戸町民体育館 ・サン・スポーツランド三戸 ・三戸町勤労者体育センター ・松原公園 ・さんのへパークゴルフ場 ・三戸町民プール
芸術文化施設		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市公会堂 ・八戸市美術館（建替中） ・八戸市博物館 ・安藤昌益資料館 ・南部会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館 ・アップルドーム「馬場のぼるの部屋」
レクリエーション施設		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸公園（こどもの国、植物公園） ・白浜海水浴場 ・蕪島海水浴場 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム ・金洗沢公園 ・城山公園
産直施設		<ul style="list-style-type: none"> ・八菜館 ・道の駅なんごう 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅さんのへ ・SAN・SUN産直ひろば ・新鮮組
会所場		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸ポータルミュージアム 	<ul style="list-style-type: none"> ・南部会館 ・更上閣 ・まちの楽校
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・グレットタワーみなと ・世増ダム（青葉湖） ・八戸石灰鉱山（八戸キャニオン） ・八食センター ・ユートリー ・中央卸売市場 ・市営魚菜小売市場 ・みなと体験学習館「みなっ知」 ・蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」 ・朝市文化（館鼻岸壁朝市等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・横丁文化（みろく横丁等） ・青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、南部姫毬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆、南部花形組子） ・八戸せんべい汁 ・八戸前沖さば ・八戸ブイヤベース ・南郷そば ・「11ぴきのねこ」のふるさと ・地域商社「(株)SANNOWA」 ・三戸望郷大橋 ・太子食品工業(株) ・ひつつみ ・三戸せんべい ・もち ・ジョミ（ガマズミ） ・ミニふじ ・三戸田子牛 ・きんかもち

市町村名	五戸町	田子町	
分野			
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・桜沼公園 ・日本一のカシワの木 ・槍沢のしだれ桜 	<ul style="list-style-type: none"> ・みろくの滝 ・大黒森の山つつじ ・四角岳 ・白萩平 	
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・旧圓子家住宅 ・石沢駒躰伝承館 ・江渡家住宅 ・五戸代官所 ・奥州街道 ・新山神社 ・中市城址 ・寶福寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・五戸町消防団 第一分団屯所 ・明治天皇行在所 ・館町神楽舞 ・五戸えんぶり ・田植え・田の草 取り唄と踊り ・館町鶏舞 ・中市神楽舞 	<ul style="list-style-type: none"> ・奇峰学秀の仏像 ・若宮八幡宮（亀千代最期の地） ・旧橋本家住宅 ・田子神楽 ・真清田神社 ・蛇王の松 ・田子の虫追い ・ナニヤドヤラ（盆踊り）
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり野公園（陸上競技場〈天然芝 サッカーコート〉、野球場、人工芝 サッカー場、テニスコート） ・五戸ドーム ・倉石スポーツセンター ・町立公民館体育センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・創遊村229スキーランド ・農業者トレーニングセンター ・町民グラウンド ・町民プール ・農山村広場 ・農村環境改善センター 	
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史みらいパーク（図書館、木村秀政ホール） ・ごのへ郷土館 	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料館 ・タプコピアンプラザ（図書館、ホール） 	
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・たんぼのゆっこ ・五戸まきば温泉 ・小渡平公園 ・倉石温泉 ・牧内自然公園 ・ひばり野ダリア園 ・正子のチューリップ園 	<ul style="list-style-type: none"> ・タプコプ創遊村 ・みろくの滝親水広場 ・大福山公園 	
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい市ごのへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーリックセンター ・JA八戸田子ストア ・関所の茶屋 ・産直たっこや ・Takko Farmer's Market 	
会所場	—	—	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸酒類(株)五戸工場 ・(株)菊駒酒造 ・青森伝統工芸品（五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織） ・倉石牛 ・与助の牛 ・馬肉料理 ・青森シャモロック ・五戸町応援キャラクター「ばおるくんとみらいちゃん」 ・五戸町PRキャラクター「おんこちゃん」 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンモールたっこ商店街 ・たっこにんにく ・田子牛 ・ガーリックステーキごはん ・たっこにんにくイメージキャラクター「たっこ王子」 	

分野	市町村名 南部町	階上町
		
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・名久井岳 ・法光寺の千本松 	<ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園 (階上岳、階上海岸) ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・南部利康霊屋 ・南部利直霊屋 ・史跡聖寿寺館跡 ・白華山 法光寺 承陽塔(三重の塔) ・南部地方えんぶり(福田上、下斗賀、 上斗賀、剣吉、高瀬、玉掛、片岸、大向) ・南部手踊り 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤保内駒踊り ・平内鶏舞 ・平内えんぶり ・田代えんぶり ・鳥屋部えんぶり ・道仏神楽 ・寺下観音 ・館神社 ・巨樹・巨木
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・名川B&G海洋センター ・町民体育館 ・福地体育センター ・ふるさと運動公園 ・ふくち運動公園 ・たいら運動公園 ・すぱーく名川 ・ふくちアイスアリーナ ・モーターランドSP ・八戸射撃場 	<ul style="list-style-type: none"> ・石鉢ふれあい交流館(トレーニングル ーム) ・町民プール ・八戸カントリークラブ ・中央体育館 ・町民体育館 ・あおぞらテニスコート ・クライミングジムノースロック
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・南部芸能伝承館 ・史跡聖寿寺館跡案内所 ・楽楽ホール 	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料収集館
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・名川チェリリン村 ・長谷ぼたん園 ・ふるさとの森公園 ・パーデハウスふくち ・名川ドライブフラワーセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと河川公園 ・階上岳つつじの森キャンプ場 ・ハートフルプラザはしかみ ・わっせ交流センター ・交流の森広場 ・アスナ公園 ・山館前公園
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくちジャックドセンター ・名川チェリーセンター ・そばの里けやぐ ・なんぶふるさと物産館 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅はしかみ ・フォレストピア階上 ・わっせ交流センター ・はしかみハマの駅あるでい〜ば
会所場	—	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サクランボ ・南部町営地方卸売市場 ・ポートピアなんぶ ・ゼネラル・レクラーク ・食用菊(阿房宮) ・南部達者米 ・南部太ねぎ ・南部町シンボルキャラクター「なべまる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・階上灯台、小舟渡園地 ・いちご煮 ・階上早生階上そば ・早生そば加工品 (焼酎、ジェラート、そば饅頭等) ・塩サイダー「どごさいだ〜ハマさいだ〜」 ・階上町シンボルキャラクター 「はしかみキッズ」

市町村名 分野	新郷村 	おいらせ町 
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> ・水芭蕉群生地 ・迷ヶ平自然休養林 ・日本一ダケカンバ（樹木） ・水と緑の森「平子沢」 ・戸来岳 ・十和利山 ・権現の滝 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿日本一の根岸の大いちょう ・間木堤白鳥飛来地 ・いちょう公園（自然散策道）
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ沢鶏舞 ・ナニャドヤラ（盆踊り） ・キリストの里公園（キリストの墓） ・大石神ピラミッド ・三嶽神社（戸来、西越） ・長泉寺（金ヶ沢） ・民俗伝承資料室（川代ものづくり学校） ・長慶天皇の墓 ・南部大黒舞 ・西越駒踊り ・田中獅子舞 	<ul style="list-style-type: none"> ・氣比神社 ・史跡阿光坊古墳群 ・聖観世音菩薩立像 ・百石えんぶり ・日ヶ久保虎舞 ・一里塚公園 ・本村鶏舞 ・本村獅子舞 ・百石まつり ・下田まつり
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農村交流センター美郷館 ・村営金ヶ沢スキー場 ・村営プール ・村営テニスコート ・間木ノ平グリーンパークグラウンド ゴルフ場 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちょう公園（野球場、グラウンド、 テニスコート、ローラースケート場） ・下田公園（野球場、多目的グラウンド） ・町民交流センター ・いちょう公園体育館 ・町民プール ・カワヨグリーン牧場パークゴルフ場 （日本パークゴルフ協会公認コース）
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・キリストの里伝承館 ・川代ものづくり学校（布ぞうり作り 体験、かご作り体験、そば打ち体験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大山将棋記念館 ・ネーチャーセンター白鳥の家 ・民具ふれあい館 ・おいらせ阿光坊古墳館 ・縄文の森イベント広場 ・みなくる館
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・野沢温泉「鷺の湯」 ・新郷温泉館「鷺の湯」 ・間木ノ平グリーンパーク ・間木ノ平グリーンファーム ・ウキウキランド 	<ul style="list-style-type: none"> ・しもだサーモンパーク ・下田公園キャンプ場 ・カワヨグリーン牧場 ・海浜公園 ・いちょう公園
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> ・新郷村地場産品直売センター （道の駅しんごう） ・キリストっふ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRセンター「味祭館」 ・アグリノ里おいらせ ・おはよう広場
会所場	<ul style="list-style-type: none"> ・川代ものづくり学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・向山駅ミュージアム
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)泉農場新郷醸造所（長いも焼酎） ・ミルク&ハム工房 ・有機資源センター新郷 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の自由の女神像 ・長寿日本一の根岸の大いちょう ・日本一おいらせ鮭まつり ・桃川(株)（酒蔵） ・イオンモール下田 ・明神山防災タワー（津波避難タワー）

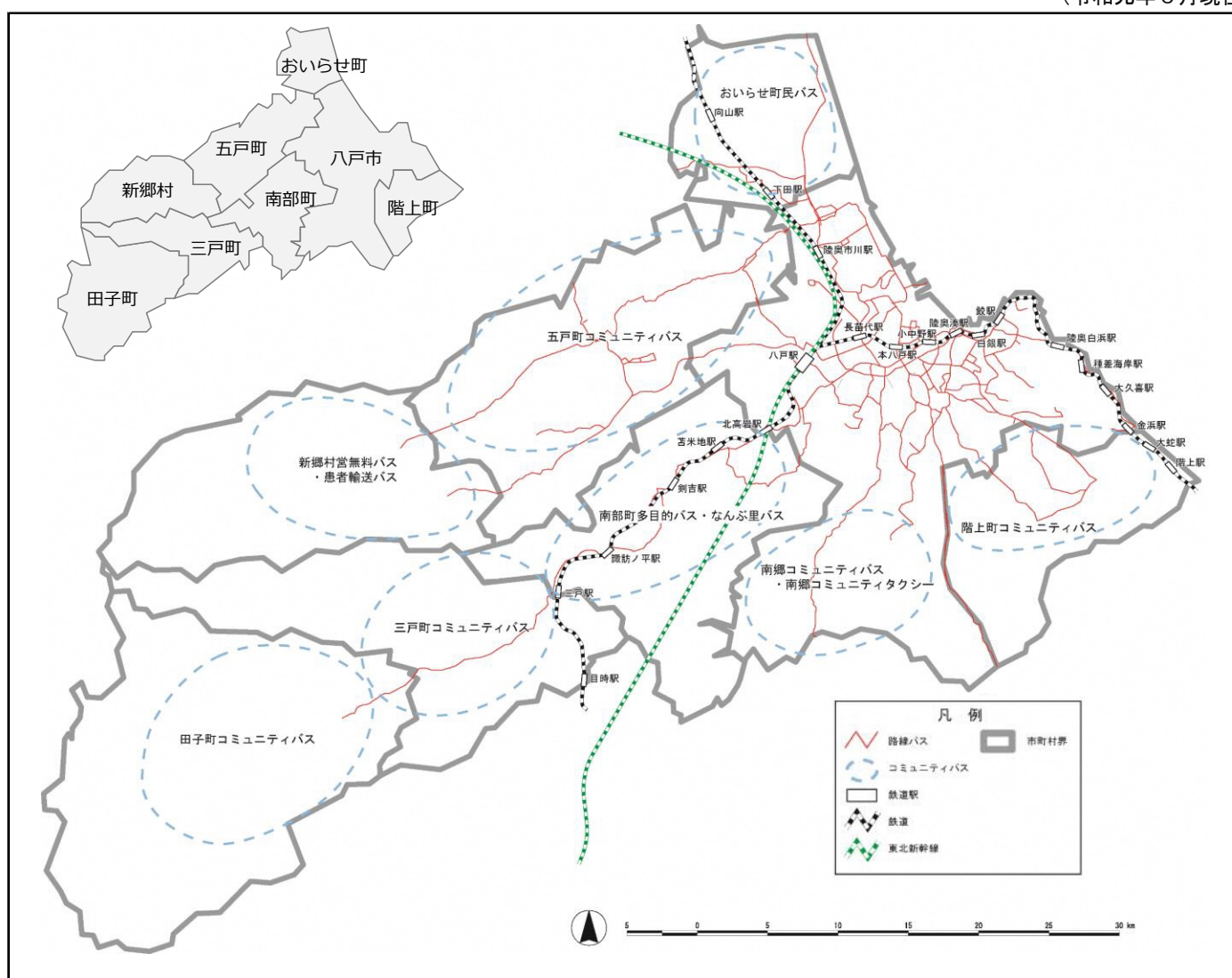
8 交通

圏域における交通状況については以下のとおり。

- ・圏域内を走る鉄道は、東北新幹線、J R八戸線、青い森鉄道線がある。
- ・圏域内を運行する路線バスは、八戸市営バス、南部バス、十和田観光電鉄バスがある。
- ・圏域のすべての市町村でコミュニティバスなどが、導入されている。
- ・圏域内に高速道路のインターチェンジは、八戸市（6か所）、階上町（2か所）、おいらせ町（2か所）に計10か所設置されている。
- ・八戸港－苫小牧港を1日4便往復で結ぶ旅客フェリーが運航している。
- ・八戸港－室蘭港を1日1便往復で結ぶ旅客フェリーが運航している。（令和2年4月～）

図表1-100 圏域内の公共交通網

（令和元年6月現在）



① 鉄道

図表1-101 圏域内の鉄道（東日本旅客鉄道株式会社）の1日平均乗車人員 単位：人

運行会社・駅名	1日平均乗車人員		合計	
	定期外	定期		
東日本旅客鉄道株式会社	八戸(新幹線)	2,912	488	3,400
	八戸(八戸線)	227	893	1,120
	本八戸	515	639	1,154
	陸奥湊	80	46	126
	鮫	129	153	282

出典：東日本旅客鉄道株式会社(令和元年度)

図表1-102 圏域内の鉄道（青い森鉄道株式会社）の1日平均乗降人員 単位：人

運行会社・駅名	1日平均乗降人員		合計	
	定期外	定期		
青い森鉄道株式会社	向山	18	49	67
	下田	141	264	405
	陸奥市川	102	274	376
	八戸	1,505	1,326	2,831
	北高岩	8	24	32
	苫米地	21	80	101
	剣吉	69	343	412
	諏訪ノ平	9	62	71
	三戸	114	343	457
	目時	12	21	33

注) 目時駅、八戸駅には I G R いわて 銀河鉄道株式会社及び東日本旅客鉄道株式会社の乗降人員は含まれない。

注) 東日本旅客鉄道株式会社については、乗車人員（乗車のみ）で把握されている。青い森鉄道株式会社については、乗降人員（乗車、降車）で把握されている。

出典：青い森鉄道株式会社(令和元年度)

② 路線バス

図表1-103 路線バスの輸送人員 単位：人

運行会社	輸送人員
八戸市交通部	3,869,443
岩手県北自動車株式会社南部支社	1,740,446
十和田観光電鉄株式会社	236,607
合計	5,846,496

注) 高齢者等特別乗車証、高速バス、コミュニティバスの利用者を除く、上限運賃対象路線に係る数値

出典：八戸市調べ(令和元年度)

③ インターチェンジ

図表1-104 圏域内インターチェンジ

所在地	名称
八戸市	八戸北IC、八戸IC、南郷IC、八戸是川IC、八戸南IC、八戸西スマートIC
階上町	種差海岸階上岳IC、階上IC
おいらせ町	三沢十和田下田IC、下田百石IC

出典：八戸市調べ(令和2年4月現在)

④ フェリー

図表1-105 フェリーの運航区間及び旅客数 単位：人

運航区間	旅客数
八戸～苫小牧	339,266

出典：川崎近海汽船株式会社(令和元年度)

第2章 八戸圏域定住自立圏・連携中枢都市圏の取組

1 定住自立圏に関する主な経過

<平成20年度>

- 10月28日 総務省から先行実施団体（全国18圏域（中心市20市））に選定
- 3月19日 八戸市が中心市宣言

<平成21年度>

- 9月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の締結について、各議会で議決
- 9月24日 八戸市長と関係7町村長とが、1対1で形成協定を締結
（八戸圏域定住自立圏形成協定調印式）
- 10月15日 第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 11月18日 第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 12月22日 第3回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月16日 第4回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月22日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
八戸圏域定住自立圏共生ビジョンを策定

<平成22年度>

- 8月20日 第5回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 9月17日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更
- 11月19日 第6回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 12月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 12月22日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 1月13日 第7回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月1日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

<平成23年度>

- 8月24日 第8回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 11月15日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 12月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 12月20日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 1月27日 第9回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月17日 第10回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 3月15日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

<平成25年度>

- 12月25日 平成25年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 1月20日 平成25年度第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月24日 平成25年度第3回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月24日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催

- 3月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 3月20日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 3月20日 第2次八戸圏域定住自立圏共生ビジョンを策定

<平成26年度>

- 6月24日 平成26年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 11月11日 平成26年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 12月 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、議会で議決
- 12月16日 八戸市長と関係町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 1月7日 平成26年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 1月14日 パブリックコメントの実施
- 2月23日 平成26年度第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 3月24日 第2次八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

<平成27年度>

- 6月1日 平成27年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 1月18日 平成27年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 3月23日 平成27年度第3回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催

<平成28年度>

- 6月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 6月20日 八戸市長と関係町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 7月14日 平成28年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 10月17日 平成28年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 12月1日 平成28年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 1月16日 平成28年度第3回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 3月22日 八戸市長と関係町村長とが、形成協定を廃止する協定を締結（連携中枢都市圏に移行）

2 連携中枢都市圏に関する主な経過

<平成28年度>

- 5月23日 平成28年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
- 7月14日 平成28年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
- 10月13日 平成28年度第3回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
- 10月17日 平成28年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 12月1日 平成28年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 1月1日 八戸市中核市移行
- 1月4日 連携中枢都市宣言
- 1月16日 平成28年度第3回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議（連携中枢都市圏関係）を開催
- 1月19日 平成28年度第4回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
- 3月 構成市町村において、連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について、各議会で議決
- 3月9日 平成28年度第5回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催

3月22日 八戸圏域連携中枢都市圏連携協約調印式（連携協約調印式）
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン策定・公表

<平成29年度>

8月31日 平成29年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
9月22日 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン変更（《具体的取組編》のみ）
9月29日 平成29年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
10月11日 平成29年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
2月23日 平成29年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
2月26日 平成29年度第3回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
3月23日 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン変更

<平成30年度>

9月28日 平成30年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
10月12日 平成30年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
2月20日 平成30年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
2月22日 平成30年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
3月22日 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン変更

<令和元年度>

9月30日 令和元年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
10月 7日 令和元年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
2月14日 令和元年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
2月26日 令和元年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
3月26日 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン変更

<令和2年度>

6月26日 令和2年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
10月 2日 令和2年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
10月12日 令和2年度第1回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
2月16日 令和2年度第3回八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議を開催
2月24日 令和2年度第2回八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催
3月23日 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン変更

3 連携事業の取組状況(令和3年1月31日現在)

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

a 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

1) 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域の産学金官民の有識者で構成する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、有識者からの意見を踏まえ、各種連携事業を推進する。

【取組実績】

年 度	開催回数
平成28年度	5回
平成29年度	3回
平成30年度	2回
令和元年度	2回
令和2年度	1回

2) 地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業 (全市町村)

【事業概要】

事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する計画が青森県・国から地域経済牽引事業と承認・確認された場合、当該計画に基づいて行われる設備投資に係る固定資産税等について課税免除措置を講じ、圏域における経済の好循環の創出を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度	・地域経済牽引事業計画の承認 (1件)
平成30年度	・地域経済牽引事業計画の承認 (1件) ・課税の特例措置を受けるための確認 (1件)
令和元年度	・地域経済牽引事業計画の承認 (2件)
令和2年度	—

b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

3) テレマーケティング関連産業立地促進費補助金 (全市町村)

【事業概要】

八戸市で実施しているテレマーケティング関連産業立地促進費補助金及び雇用奨励金の交付要件及び雇用奨励金の対象者について、圏域住民に拡充し、立地企業の事業定着・事業拡大を図るとともに、圏域全体の雇用創出を図る。

【取組実績】

年 度	従業員数
平成28年度	1,230人
平成29年度	1,288人
平成30年度	1,269人
令和元年度	1,316人
令和2年度	1,426人

4) 企業立地促進条例に基づく各種奨励金（全市町村）

【事業概要】

八戸市で実施している企業立地促進条例に基づく各種奨励金の雇用要件を、圏域住民も対象とし、高度技術産業等の立地促進・圏域内住民の雇用創出や、立地企業の人材確保及び事業拡大を図る。

【取組実績】

年 度	立地奨励金交付件数
平成30年度	3件
令和元年度	8件
令和2年度	2件

※上記実績は雇用人数以外の要件（用地取得面積）をクリアしたことによる交付である。

5) イノベティブ産業集積促進事業（全市町村）

【事業概要】

地元企業の新規参入や関連企業の圏域への立地促進、成長ものづくり分野への参入にあたって必要な認証取得に関する勉強会の開催等、企業の受注拡大や新規立地の促進を図るための総合的な支援を行う。

【取組実績】

年 度	成長産業参入企業数
平成29年度	9件（うち圏域町村1件）
平成30年度	3件（うち圏域町村1件）
令和元年度	3件（うち圏域町村1件）
令和2年度	0件

6) 産学官共同研究開発支援事業（全市町村）

【事業概要】

産学官共同研究に関する情報を圏域内事業者提供するとともに、企業と大学等が連携して行う共同研究開発に対し経費の一部を助成し、地域産業の高度化を図る。

【取組実績】

圏域内の企業が大学等及び公設研究機関と連携して行う共同研究開発に対し補助金を交付。

年 度	交付決定件数
平成29年度	2件
平成30年度	3件（うち圏域町村1件）
令和元年度	2件
令和2年度	2件

7) 革新的ものづくり企業連携促進事業（全市町村）

【事業概要】

国等の競争的資金の採択企業による取り組みを周知する「企業交流サロン」を開催する等、圏域内事業者の革新的取り組みや競争的資金に挑戦する意識醸成を図る。

【取組実績】

革新的ものづくり企業連携交流サロンの開催。

年 度	内 容
平成29年度	日 程：11月29日 場 所：八戸商工会館会議室 内 容：国による補助事業の説明、補助金採択事業者による事例発表・パネルディスカッション 参加者：41人（うち圏域町村3人）
平成30年度	日 程：8月8日 場 所：八戸工業高等専門学校 創立50周年ホール 内 容：産学官金連携の事例発表・パネルディスカッション、支援機関による支援施策の紹介 参加者：66人（うち圏域町村1人）
令和元年度	日 程：2月19日 場 所：YSアリーナ八戸 大会議室 内 容：補助金採択事業者による事例発表・パネルディスカッション 参加者：24人（うち圏域町村2人）
令和2年度	日 程：1月29日 場 所：YSアリーナ八戸 多目的室 内 容：産学官金連携等の事例発表・パネルディスカッション、支援機関による支援施策の紹介 参加者：19人

8) 地域企業支援体制強化事業（全市町村）

【事業概要】

コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問して、販路開拓・新商品開発・生産性の向上その他の経営課題について、助言・情報提供を行う。また、「八戸圏域産学官連携会議」を開催し、新商品開発に係る支援機能の強化を図る。

【取組実績】

年 度	コーディネーターの企業訪問件数
令和2年度	80件（うち圏域町村11件）

9) はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業（全市町村）

【事業概要】

創業支援拠点である「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」において、圏域の商工会と連携した相談対応や情報発信等を行い、創業者の増加や円滑な事業承継により、雇用の場の維持・創出を図る。

【取組実績】

創業・事業承継の相談者数、相談件数、創業者及び事業承継成立数

年 度	内 容
平成29年度	・新規相談者数 180人（うち圏域町村19人） ・相談件数 664件（うち圏域町村61件） ・起業件数 37件（うち圏域町村 4件） ・事業承継成立 2件
平成30年度	・新規相談者数 147人（うち圏域町村21人） ・相談件数 676件（うち圏域町村89件） ・起業件数 36件（うち圏域町村 3件） ・事業承継成立 7件（うち圏域町村 2件）
令和元年度	・新規相談者数 136人（うち圏域町村16人） ・相談件数 559件（うち圏域町村95件） ・起業件数 47件（うち圏域町村 5件） ・事業承継成立 2件

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数 145人（うち圏域町村25人） ・相談件数 581件（うち圏域町村112件） ・起業件数 27件（うち圏域町村6件） ・事業承継成立 5件（うち圏域町村2件）
-------	--

c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

10) 地場産品の販路拡大事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内の事業者を対象に、首都圏や県内外での商談会に出展し、販路拡大を図る。

【取組実績】

年度	内容	商談成立件数
平成29年度	首都圏大規模商談会「スーパーマーケットトレードショー2018」への出展 ・日時 2月14～16日 ・会場 幕張メッセ（千葉市） ・来場者数 約88,000人 ・出展者数 10社（うち圏域町村7社）	24件
平成30年度	首都圏大規模商談会「スーパーマーケットトレードショー2019」への出展 ・日時 2月13～15日 ・会場 幕張メッセ（千葉市） ・来場者数 約88,500人 ・出展者数 26社（うち圏域市町村9社）	54件
令和元年度	「はちのへローカルマーケット」の開催 日程：令和元年6月開始 場所：ユートリー1階特設ブース 内容：セレクトフェア（毎月1回、週末2日間程度） はちのへエリア自慢の逸品コーナー（随時） 物産振興推進事業の実施 日程：通年 内容：首都圏や県内外における百貨店等での物産展の開催、商談会・見本市への参加 「青森の正直商談会」 日時：令和元年7月4日（木）10:00～15:00 場所：青森産業会館（青森市） 出展社数：116社 入場者数：164社 473人 ※一般入場無し	21件
令和2年度	「はちのへローカルマーケット」の開催 日程：通年 場所：ユートリー1階特設ブース 内容：セレクトフェア※（毎月1回程度） はちのへ圏域自慢の逸品コーナー（随時） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインショップ上で開催 物産振興推進事業の実施 日程：通年 内容：首都圏や県内外における百貨店等での物産展の開催、商談会・見本市への参加	0件

	(物産展) ・ 8月 福田屋インターパーク店 (栃木県) ・ 9月 福田屋宇都宮店 (栃木県) ・ 11月 J R 仙台駅 (宮城県) ・ 12月 J R 仙台駅 (宮城県) 福田屋インターパーク店 (栃木県) ・ 1月 丸広百貨店川越店 (埼玉県) やまき三春屋 (八戸市) ※新型コロナウイルス感染症の影響により「青森の正 直商談会」は中止	
--	---	--

11) 八戸都市圏交流プラザ事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸都市圏交流プラザ「8base」を東京に設置し、飲食提供や物産販売、交流事業などを展開し、圏域の魅力を発信する。

【取組実績】

年 度	「8base」への来店者数
令和2年度 9月11日オープン	165,300人

12) マチニワ・マルシェ (全市町村)

【事業概要】

八戸まちなか広場 マチニワにおいて、圏域市町村の物産、食材を提供する「マルシェ(市)」を開催し、今後の商品開発や販売促進に繋げる。

【取組実績】

年 度	内 容
平成30年度	名 称：38 FUUD FOOD MARCHE 開催日：11月3日～4日 場 所：八戸まちなか広場 「マチニワ」 出店者：16店舗 (うち圏域町村11店) 来場者：約2,400人
令和元年度	名 称：38 FUUD FOOD MARCHE 開催日：9月7日～8日 場 所：八戸まちなか広場 「マチニワ」 出店者：17店舗 (うち圏域町村13店) 来場者：約1,500人
令和2年度	名 称：38 FUUD FOOD MARCHE 開催日：9月12日～13日 場 所：八戸まちなか広場 「マチニワ」 出店者：15店舗 (うち圏域町村11店) 来場者：約1,500人

13) ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ (全市町村)

【事業概要】

圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域一体となった総合的なフェスティバルを開催する。

【取組実績】

ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタの開催

年 度	内 容
平成30年度	日 程：8月25日～26日 場 所：ユートリー及び八戸駅前広場 内 容：グルメブース、特産品・物産品、ステージイベント、市町村PRブース、ゆるきゃら記念撮影、スタンプラリー 委託先：(株)アール・エー・ビーサービス 八戸支店
令和元年度	日 程：8月24日～25日 場 所：ユートリー及び八戸駅前広場 内 容：グルメブース、特産品・物産品、ステージイベント、市町村PRブース、ゆるきゃら記念撮影、スタンプラリー 委託先：(株)アール・エー・ビーサービス 八戸支店
令和2年度	日 程：12月19日～20日 場 所：ユートリー 内 容：グルメブース、特産品・物産品、ステージイベント、市町村PRブース、スタンプラリー 委託先：(株)アール・エー・ビーサービス 八戸支店

14) 海外販路拡大事業（全市町村）

【事業概要】

海外で開催される物産展等にブース出展するとともに、バイヤーの招聘等を行い、圏域の企業の海外進出を支援し、様々な国に向けた販路の拡大を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度	【先進国向け事業（アメリカ）】 ○シアトルプロモーション2017（5月31日） ・在シアトル日本国総領事館公邸でのプロモーション 参加3社（うち圏域町村2社）
平成30年度	【先進国向け事業（アメリカ）】 ○米国食品安全強化法等対応販路拡大支援事業 ・海外販路拡大セミナー（4月18日） 参加24人（うち圏域町村2人） ・FSMA対応セミナー（5月8日） 参加12社・17人（うち圏域町村2社・3人） ・PCQI養成ワークショップ（5月23日～25日） 参加15社・17人（うち圏域町村2社・3人） ・バイヤー招聘商談会（6月25日～26日） 参加12社（うち圏域町村2社）、招聘バイヤー4社 ・個別相談会（8月20日）参加3社（うち圏域町村1社） ・現地営業活動及び小売店でのデモ販売（実施予定：2月／ニューヨーク） 【新興国向け事業（ベトナム・その他ASEAN）】 ○ASEAN向け通年マッチング支援事業 ・バイヤー招聘商談会（6月4日～6日）参加24社（うち圏域町村4社）、招聘バイヤー6社（ベトナム4社・国内2社） ・現地営業代行（6月～翌年2月） ・現地百貨店でのデモ販売及びプロモーション 11月23日～25日 ベトナムホーチミン市内 3社商材（うち圏域町村1社） ・現地営業活動及びプロモーション 1月17日～20日ベトナムホーチミン市内 【その他】 ○八戸圏域農水畜産品海外販路拡大可能性調査（6～12月） ○海外への販売促進のための協力・支援（通年） ○海外販路拡大支援事業補助金（通年）交付済又は交付決定済11社

令和元年度	<p>【新興国向け事業（ベトナム・その他ASEAN）】</p> <p>○ASEAN向け通年マッチング支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイヤー招聘商談会（9月17日～19日）参加24社（うち圏域町村4社）、招聘バイヤー7社（ベトナム5社・国内2社） ・現地営業代行（6月～翌年2月） ・現地レストランでのプロモーション 12月5日～8日 ベトナムホーチミン市内 商材6社、渡航企業2社 ・現地百貨店でのプロモーション 1月27日～2月6日ベトナムホーチミン市内 商材5社、渡航企業4社 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外への販売促進のための協力・支援（通年） ○海外販路拡大支援事業補助金（通年）交付決定10社
令和2年度	<p>【新興国向け事業（ベトナム・その他ASEAN）】</p> <p>○ASEAN向け通年マッチング支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談スキルアップ講座（10月5日～6日）参加10社（うち圏域町村1社） ・オンライン商談会（10月26日～28日）参加13社（うち圏域町村3社）、参加バイヤー11社（ベトナム5社・シンガポール4社、国内2社） ・現地営業代行（9月～翌年2月） ・現地小売店での試飲試食販売兼プロモーション（※現地渡航なし） ベトナムホーチミン市内 参加2社（うち圏域町村1社） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外への販売促進のための協力・支援（通年） ○海外販路拡大支援事業補助金（通年）交付決定1社

15) 知的財産権対策支援事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内の中小企業者が自社の優れた技術や高付加価値の製品等を活かし、市場での競争力を維持できるよう、知的財産権に関する普及や啓発、課題に対する相談、国内特許等取得に対する補助支援を実施し、知的財産の活用促進を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ○知的財産権に関する相談、指導を実施 相談件数：165件（うち連携町村14件） ○知的財産権に関するセミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 7/22(月)（八戸市） テーマ：「相談会のナマの声から考える、知的財産の進め方」 参加者：11名 ・第2回 8/23(金)（おいらせ町） テーマ：「はじめての知的財産」 参加者：20名 ・第3回 1/27(月)（八戸市） テーマ：「自前で商標出願」～基礎知識・作戦・注意点～ 参加者：9名
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○知的財産権に関する相談、指導を実施 相談件数：108件（うち連携町村12件） ○知的財産権に関するセミナーを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 11/30(月)（八戸市） テーマ：「相談会のナマの声から考える、知的財産の進め方」 参加者：11名 ・第2回 12/14(月)（八戸市） テーマ：「自前で商標出願」～基礎知識・作戦・注意点～ 参加者：7名 ・第3回 1/25(月)（八戸市） テーマ：「はじめての特許出願」～まず、何を？次にどうする？～ 参加者：6名

16) 求人・求職情報等無料ウェブサイト運営事業（全市町村）

【事業概要】

圏域住民、事業所向けの求人・求職者情報等無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」において、効果的・効率的なマッチングを図るとともに、求人事業所が求める人材の確保や若年者等の県外流出の抑制を図る。

【取組実績】

八戸都市圏ジョブ市場（平成29年9月から運用開始）

年 度	新規求人登録件数	新規求職登録件数
平成29年度 (9月～)	188件（うち圏域町村 8件）	88件（うち圏域町村 8件）
平成30年度	176件（うち圏域町村10件）	129件（うち圏域町村 6件）
令和元年度	187件（うち圏域町村12件）	102件（うち圏域町村 2件）
令和2年度	87件（うち圏域町村8件）	71件（うち圏域町村 1件）

17) 地域事業所人材獲得等支援事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内事業所に対し、情報発信力の強化、採用力の向上、インターンシップの受入体制の構築を支援するセミナーの開催や人材確保に係る個別相談等を行い、圏域内事業所の人材不足の解消、U I J ターン就職の促進等を図る。

【取組実績】

年 度	内 容	人 材 を 獲 得 した事業所数
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○工業高校生の就職事情についての講話、採用力向上セミナー、情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月29日 ・参加事業所数：24社（うち圏域町村2社） ○情報発信力向上セミナー、インターンシップ受入セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：12月12日 ・参加事業所数：23社 ○セミナー参加事業所を対象とした個別相談 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：12月21日、22日 ・実施事業所数：6社 ○首都圏等で開催される就職・転職フェア等に圏域内事業所が出展するための経費の一部を助成 <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定事業所数：11社（うち圏域町村2社） 	4社
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ○子どものUターン就職を望むご両親のためのセミナー <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：10月14日 ・参加者数：38名（うち圏域町村6名） ○首都圏等で開催される就職・転職フェア等に圏域内事業所が出展するための経費の一部を助成 <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定事業所数：11社（うち圏域町村1社） 	3社

令和元年度	○首都圏等で開催される就職・転職フェア等に圏域内事業所が出展するための経費の一部を助成 ・交付決定事業所数：8社	2社
令和2年度	○採用力向上オンラインセミナー ・開催日：令和3年2月4日、令和3年2月10日	—

18) 企業誘致セミナー開催事業（全市町村）

【事業概要】

八戸市が実施している首都圏や中部圏でのトップセールスにおいて、圏域の立地環境やインセンティブ等について総合的にPRを行い、圏域への新規企業立地を図る。

【取組実績】

年 度	内 容	参加者
平成29年度	・第11回 八戸セミナー2017 in名古屋 日程：7月25日 会場：名古屋マリオットアソシアホテル	80人
	・第22回 八戸セミナー2017 日程：7月26日 会場：東京ドームホテル	347人
平成30年度	・第23回 八戸セミナー2018 日程：7月25日 会場：東京ドームホテル	359人
	・第12回 八戸セミナー2018 in名古屋 日程：7月26日 会場：名古屋マリオットアソシアホテル	89人
令和元年度	・第24回 八戸セミナー2019 日程：7月24日 会場：東京ドームホテル	400人
	・第13回 八戸セミナー2019 in名古屋 日程：7月25日 会場：名古屋マリオットアソシアホテル	87人
令和2年度	・9月のセミナー開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・代替イベントとして「八戸産業立地オンラインフェア」を実施（R2.10.1～R2.12.28） ・特設サイトに連携中枢都市圏を紹介するページを掲載	—

19) 農業情報提供事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内の農業者を対象とした農業講座を開催する等、生産技術情報の提供を行い、農業者の経営安定を図る。

【取組実績】

（八戸市農業講座の実施）

年 度	内 容
平成22年度	・開催月日 1月25日～27日 ・開講講座 6講座 ・受講者数 351人

平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月24日～26日 ・開催講座 6講座 ・受講者数 423人
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月21日～22日、24日 ・開催講座 6講座 ・受講者数 460人
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月21日～23日 ・開催講座 6講座 ・受講者数 278名
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月19日～21日、23日 ・開催講座 8講座 ・受講者数 504名
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月18日、19日、21日、22日 ・開催講座 8講座 ・受講者数 391名
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月25日、26日、30日、31日 ・開催講座 8講座 ・受講者数 390名
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 1月16日、18日、22日、23日 ・開催講座 8講座 ・受講者数 403名
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 7月11日、12月13日、14日、3月1日 ・開催講座 8講座 ・受講者数 345名
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催月日 6月18日、2月3日、2月7日 ・開催講座 7講座 ・受講者数 358名
令和2年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(農業相談件数) (8市町村合計)

単位：件

年度	件数
平成23年度	142
平成24年度	178
平成25年度	264
平成26年度	172
平成27年度	121
平成28年度	133
平成29年度	204
平成30年度	205
令和元年度	142
令和2年度	—

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(農業経営振興センターの体制の拡充)

年度	内容
平成23年度～	・農業交流研修センターの機能を拡充し、機構改革により、農業経営振興センターに改組した。

20) 新規就農者向け支援施策の情報発信体制の一元化（全市町村）

【事業概要】

圏域における新規就農者向け情報発信媒体を一元化することにより、新規就農希望者の利便性の向上を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成29年度～	・八戸市HPに圏域8市町村の新規就農者向け支援施策の概要、担当部署、情報が発信されているページへのリンクを掲載

21) 農作業マッチング制度構築事業（全市町村）

【事業概要】

定年退職者等の農作業サポーターと、支援を希望する農業者のマッチングを促進することにより、農業労働力の確保を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市シルバー人材センターにマッチングに関する対応を依頼 <ul style="list-style-type: none"> ○農作業マッチング件数：31件（うち圏域町村14件） ○派遣人数：57人（うち圏域町村24人） ・八戸のうぎょうだよりにおいて、農作業マッチング制度について周知を実施（5月）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市シルバー人材センターにマッチングに関する対応を依頼 <ul style="list-style-type: none"> ○農作業マッチング件数：20件（うち圏域町村10件） ○派遣人数：49人（うち圏域町村18人）
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市シルバー人材センターにマッチングに関する対応を依頼 <ul style="list-style-type: none"> ○農作業マッチング件数：15件（うち圏域町村7件） ○派遣人数：39人（うち圏域町村15人） ・八戸のうぎょうだよりにおいて、農作業マッチング制度について周知を実施（7月）

22) 南郷そば振興センター共同利用事業（八戸市、階上町）

【事業概要】

南郷そば振興センターの施設を、圏域のそば生産者に供し、そば生産の振興を図る。

【取組実績】

（センター施設の拡充）

年度	内容
平成22年度	2月 地質調査委託契約 3月 階上町と「公の施設の使用に関する協定書」締結
平成23年度	6月 第二作業棟建設工事着手 6月～8月 乾燥設備及び選別設備の拡充 9月 第二作業棟完成 階上産そばの受入れ開始

(荷受・仕上量)

単位：トン

年 度	区 分	荷受量	仕上量
平成23年度	八戸市	52.5	38.6
	階上町	26.0	20.5
	合計	78.5	59.1
平成24年度	八戸市	108.1	92.6
	階上町	49.8	38.9
	合計	157.9	131.5
平成25年度	八戸市	65.8	48.7
	階上町	31.9	23.6
	合計	97.7	72.3
平成26年度	八戸市	108.5	83.4
	階上町	57.5	44.2
	合計	166.0	127.6
平成27年度	八戸市	48.5	31.4
	階上町	29.1	20.2
	合計	77.6	51.6
平成28年度	八戸市	42.1	31.9
	階上町	23.6	17.1
	合計	65.7	49.0
平成29年度	八戸市	47.2	37.3
	階上町	27.1	21.1
	合計	74.3	58.4
平成30年度	八戸市	77.5	64.4
	階上町	49.6	42.0
	合計	127.1	106.4
令和元年度	八戸市	97.2	83.6
	階上町	72.6	64.7
	合計	169.8	148.3



八戸市南郷そば振興センター第二作業棟落成式の様子（平成23年9月30日）

23) 畜産業及び畜産関連産業振興事業（全市町村）

【事業概要】

八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、八戸地域畜産フードフェスタや親子畜産探検バスツアー等を実施し、圏域の畜産振興を図る。

【取組実績】

（八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの策定）

策定日 平成27年8月20日

計画期間 平成27年度から令和6年度

策定目的 「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議」の協議を踏まえ、八戸圏域連携中枢都市圏の畜産及び畜産関連産業の振興を図る。

(主な取組施策)

事業名	開催概要	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
八戸地域畜産振興推進会議の開催	八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの進捗状況・意見交換				1回	1回	1回
八戸地域畜産フードフェスタ	地場産農産物、加工品の販売等	来場者数約2,000人	来場者数約2,400人	来場者数約4,500人(2日間)	来場者数約4,600人(2日間)	来場者数約9,000人(2日間)	開催中止
親子ちくさん探検バスツアー	畜産施設の見学等	参加者13組(29人)	参加者15組(36人)	参加者9組(21人)	参加者14組(34人)	参加者15組(38人)	開催中止
畜産振興消費者セミナー	講演会	参加者約80名					

24) 漆産業振興事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市との情報共有による漆の生産体制の整備や、ウルシの苗木の購入費用を助成し、漆の安定した供給システムの構築や、伝統文化の保存・技術の継承、圏域内の森林の多目的な利用及び農山村地域の振興を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成30年度	・八戸圏域ウルシ原木調査 ・ウルシ造林補助 300本 (平成30年度は八戸市のみ)
令和元年度	・ウルシ造林補助 1,428本 (植栽地：三戸町、五戸町)
令和2年度	・ウルシ造林補助 1,945本 (植栽地：八戸市)

25) 漁業就業支援事業 (八戸市、三戸町、南部町、階上町、おいらせ町)

【事業概要】

漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得の方法について情報収集し、パンフレットの作成やホームページ等にて情報発信を行い、就業希望者の技能習得・資格取得の促進や、現場で求められる人材の確保を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成30年度	リーフレット作成準備
令和元年度	リーフレット作成及びホームページ公開
令和2年度	リーフレットを各自治体担当窓口を設置するとともに、あおもり漁業就業支援フェアにて配布

d 戦略的な観光施策の展開

26) 八戸広域観光戦略推進事業（全市町村）

【事業概要】

八戸広域観光戦略に基づき、各種事業を実施する。

【取組実績】

年 度	内 容
平成22年度～	<ul style="list-style-type: none"> 八戸圏域情報ステーション設置18か所 八戸市：はっち、道の駅なんごう、はちのへ総合観光プラザ、八食センター 三戸町：道の駅さんのへ、三戸町役場 五戸町：夢の森ハイランド、五戸町図書館 田子町：ガーリックセンター、産直たっこや 南部町：バーデハウスふくち、チェリウス 階上町：フォレストピア階上、道の駅はしかみ 新郷村：新郷温泉館、道の駅しんごう おいらせ町：イオンモール下田、アグリおいらせ
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 観光PRの実施 札幌市 大通り公園 仙台市 宮城球場「クリネックススタジアム宮城」 外国人旅行者向け圏域観光パンフレット作成（英語・韓国語・中国語・日本語）
平成24年度～	<ul style="list-style-type: none"> ステーション及びパンフレットによる観光PRの実施
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> はちのへエリア広域観光戦略策定
平成29年度～	<ul style="list-style-type: none"> はちのへエリアマーケティング調査の実施
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> VISITはちのへ設立準備委員会設置 DMO候補法人登録完了（12月21日） 広域観光ガイドマップ製作（50,000部） 多言語版広域観光ガイドマップ製作（40,000部）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> （一財）VISITはちのへ設立（平成31年4月） はちのへエリアマーケティング調査の継続実施 広域観光ガイドマップ増刷（60,000部）（予定） ホームページ、SNS、パンフレット等を活用し、国内外からの誘客を促進するためのプロモーションを実施
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光ガイドマップ増刷（25,000部）（予定） ホームページ、SNS、パンフレット等を活用し、国内外からの誘客を促進するためのプロモーションを実施

圏域観光パンフレット



27) グリーン・ツーリズム推進事業（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町）

【事業概要】

受入農家の維持・確保や育成を図るとともに、首都圏へのグリーン・ツーリズム情報の発信を行い、交流人口の増加を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成23年度～	<ul style="list-style-type: none"> 八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内）

(2) 高次の都市機能の集積・強化

a 高度な医療サービスの提供

28) ドクターカー運行事業の充実・強化 (全市町村)

【事業概要】

ドクターカーの運行に係る高度医療機器の整備や更新を行うことにより、ドクターカーを活用した圏域の救急医療の向上を図る。

【取組実績】

年 度	高度医療機器等の導入実績	成果指標 (心肺停止傷病者の 1ヶ月後の生存率)
平成29年度	・導入予定だったVscan (超音波画像診断装置)が、他事業で使用していたものを転用可能となった為購入せず	4.2%
平成30年度	・自動心臓マッサージシステムを導入	4.1%
令和元年度	・ビデオ咽喉鏡及び開胸器を導入	5.2%
令和2年度	・手術用LEDヘッドライトを導入	6.2%

※成果指標については年実績

29) (仮称) 八戸市総合保健センター整備事業 (全市町村)

【事業概要】

(仮称) 八戸市総合保健センターを整備し、圏域住民の利用に供することで、医療・健康対策の充実を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成27年度 市単独	・(仮称) 八戸市総合保健センター基本構想策定 (平成27年7月) ・基本設計業務委託 (委託期間: 01月15日～平成28年7月22日)
平成28年度	・実施設計業務委託 (委託期間: 09月14日～平成29年6月30日) ・地質調査業務委託 (委託期間: 09月17日～平成29年1月31日)
平成29年度	・建築工事 (工事期間: 12月19日～令和2年 4月30日) ・強電設備工事 (工事期間: 12月19日～令和2年 4月30日) ・弱電設備工事 (工事期間: 12月19日～令和2年 4月30日) ・空気調和設備工事 (工事期間: 12月19日～令和2年 4月30日) ・給排水設備工事 (工事期間: 12月19日～令和2年 4月30日) ・工事監理等業務委託 (委託期間: 01月24日～令和2年 4月30日)
平成30年度	・変更設計業務委託 (委託期間: 2月 1日～平成31年3月28日)
令和元年度	・外構工事 (工事期間: 6月27日～令和2年 6月20日) ・外構工事監理業務委託 (委託期間: 7月31日～令和2年 6月20日)
令和2年度	・6月1日 供用開始 ・休日夜間急病診療所等案内誘導標識設置工事 (工事期間: 9月24日～令和3年2月5日)

30) 高度医療従事者育成事業 (全市町村)

【事業概要】

三次救急及び母子周産期医療等、高度医療に従事する八戸市立市民病院の医師・看護師が医療技術の向上や必要な資格取得のため、各種研修・講習会に参加し、圏域の高度医療提供体制の維持・向上を図る。

【取組実績】

年 度	講習会数 (種類)	参加者数 (人)
平成29年度	8	96
平成30年度	4	41
令和元年度	3	26
令和2年度	2	21
合計	17	184

b 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

31) 八戸圏域公共交通計画推進事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸圏域公共交通計画に基づき、各種事業を展開し、圏域住民の日常生活に欠かすことのできない地域公共交通を確保することにより、圏域住民の生活の質の維持・向上を図る。

【取組実績】

計画策定関係

年 度	内 容
平成21年度	・八戸圏域公共交通計画策定会議設置 (11月5日)
平成22年度	・八戸圏域公共交通計画策定 (11月30日) 課題解決のためのリーディング施策 (平成22～25年度) (1) 広域路線バス上限運賃化実証実験 (2) 上限運賃化実証実験に伴う財政支援の実施 (3) 乗継対策情報提供事業
平成25年度	・第2次八戸圏域公共交通計画策定 (3月25日) 課題解決のためのリーディングプロジェクト (平成26～30年度) (1) 広域路線バス上限運賃政策の継続実施とモニタリング (2) 鉄道・バス乗継環境の改善事業 (3) 広域移動を支援する環境整備 (4) 圏域の一体的な公共交通マネジメントの展開
平成30年度	・八戸圏域地域公共交通網形成計画策定 (12月18日) 事業・施策の方向性 (令和元～5年度) (1) 幹線ネットワークの利便性・持続性の向上 (2) 市町村内での移動利便性の確保・維持 (3) 公共交通が円滑に接続する拠点の形成 (4) 公共交通の利用しやすさ・わかりやすさ向上 ・八戸圏域地域公共交通再編実施計画認定 (3月20日)
令和元年度	・八戸圏域地域公共交通再編実施計画 (2次再編) 変更認定 (3月12日)
令和2年度	・八戸圏域地域公共交通再編実施計画 (3次再編) 策定中

その他

年 度	内 容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸圏域公共交通計画推進会議設置（12月21日） ・運賃体系の再構築スキーム等に関する企画・設計の実施
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降実態調査の実施 ・上限を500円とする広域路線バス上限運賃化実証実験開始 （実施期間：平成23年10月～25年9月） ・実証実験周知広報事業（チラシ・バス車体広告等）の実施 ・乗継対策情報提供事業（乗継サイン整備等）の実施
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降実態調査の実施 ・公共交通を利用した圏域内の交流促進ポスター・ミニガイド作成
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降実態調査の実施 ・広域路線バス上限運賃政策の本格実施（10月～） ・消費税8%導入に係る対応策の検討 ・路線バスパックの企画商品化（五戸町）と利用促進
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降実態調査の実施 ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の検討 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・路線バスパックの企画商品化（階上町）と利用促進
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の検討 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・路線バスパックの企画商品化（三戸町）と利用促進
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の検討 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・路線バスパックの利用促進と商品化調査検討
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の検討 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・路線バスパックの企画商品化（南部町・おいらせ町）と利用促進
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の検討 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・路線バスパックの企画商品見直し（南部町・三戸町）と利用促進 ・八戸圏域地域公共交通活性化協議会設置（11月27日）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上限運賃負担金による支援措置の実施 ・新運賃制度の実施 ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討 ・八戸圏域地域連携ICカード導入の検討

(運送収入・輸送人員)

年度	運送収入(千円)	輸送人員(人)
平成21年度	1,427,105	6,835,110
平成22年度	1,328,323	6,182,215
平成23年度	1,254,895	6,437,982
平成24年度	1,250,580	6,767,347
平成25年度	1,226,076	7,201,462
平成26年度	1,167,906	6,946,518
平成27年度	1,160,396	6,571,573
平成28年度	1,135,605	6,345,717
平成29年度	1,127,112	6,418,200
平成30年度	1,096,866	6,367,181
令和元年度	1,072,713	5,846,496

路線バス上限運賃化実証実験を周知するチラシ



※八戸市営バス、岩手県北自動車(株)南部支社、十和田観光電鉄(株)の合計

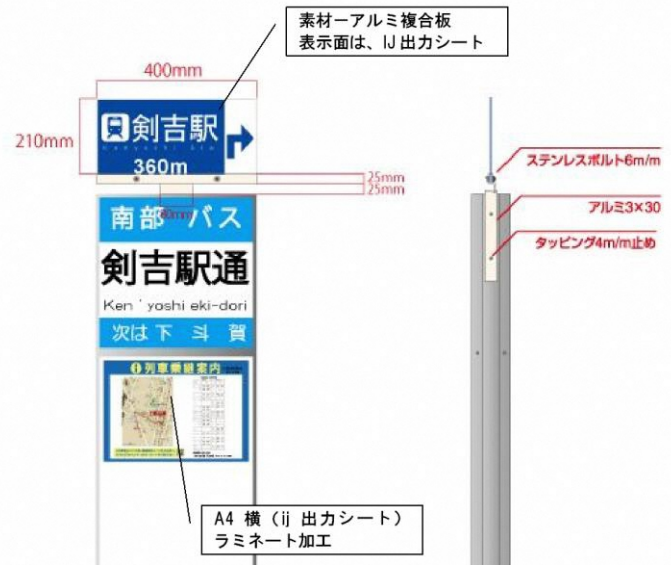
※特別福祉乗車証、高速バス、コミュニティバスの利用者を除いた数値

※平成26～27年度にかけ、一部事業者の輸送人員集計方法に変更があり、前年度との単純比較はできない。

※路線バスパックは、令和元年度より「75)公共交通による交流促進事業」において実施

H23 乗継案内サイン (鉄道駅設置)

H23 乗継案内サイン (バス停設置)



32) 美術館運営事業 (全市町村)

【事業概要】

文化施設が集積している八戸市の中心街に新美術館を整備し、圏域町村と連携しながら、各種事業を展開することにより、圏域における新しい文化や価値の創造を図る。

【取組実績】

年度	事業内容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 八戸市新美術館整備基本構想策定 設計者選定プロポーザル実施、基本設計着手 八戸市新美術館運営検討委員会設置、管理運営基本計画策定着手
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計完了、実施設計着手 地質調査実施、旧美術館建物解体

平成30年度	・実施設計完了、管理運営基本計画策定 ・旧八戸地区交通安全協会庁舎解体
令和元年度	・八戸市新美術館建設工事着手
令和2年度	・八戸市新美術館竣工

33) 八戸ポータルミュージアム事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸ポータルミュージアム「はっち」を核として各種事業を展開し、圏域の文化芸術振興やものづくりを通じた圏域の活性化、賑わい創出を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・DASHI J I Nプロジェクトの実施 ・ものづくりスタジオ支援事業の実施 ・横丁活性化事業の実施 ・はっち市の実施 ・ライブラリー事業の実施 ・シーズンイベント（ゴールデンウィーク、七夕、クリスマス、正月）の実施 ・まちぐ（る）み事業の実施 ・お祭り連携事業の実施 ・フィールドミュージアムアクセス事業の実施 ・情報発信事業の実施 ・市民活動支援事業の実施 ・アーティストレジデンス事業の実施 ・貸館事業の実施

(入館者数) 単位：人

年 度	入館者数
平成29年度	935,019
平成30年度	874,010
令和元年度	815,554
令和2年度	451,706

34) ブックセンター事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、企画事業等を実施する。

【取組実績】

年 度	内 容
平成28年度～	八戸ブックセンターで実施する企画事業について、圏域内の関係機関へ情報提供を実施。
平成30年度	三戸町と連携し、同町出身の作家・馬場のぼるの特集棚を設置(八戸ブックセンター主催で関連トークイベントも実施)。
令和元年度	三戸町在住作家・高森美由紀さんの新刊刊行を記念し、トークイベント等の企画を実施。



高森美由紀さんのトークイベント

(来館者数)

年 度	来館者数
平成28年度 12月4日オープン	85,040人
平成29年度	114,599人
平成30年度	125,983人
令和元年度	109,560人
令和2年度	57,235人
合 計	492,417人

35) 屋内スケート場運営事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸市が屋内スケート場を整備し、圏域住民の利用に供することで、スケートを軸としたスポーツ振興、各種イベントの開催による圏域の活性化を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度	・本体工事（建築・強電設備・弱電設備・空気調和設備・給排水製氷設備） ・工事監理等業務委託 ・管理運営調査検討業務
平成30年度	・本体工事（建築・強電設備・弱電設備・空気調和設備・給排水製氷設備） ・外構工事 ・工事監理等業務委託
令和元年度	・本体工事（建築・強電設備・弱電設備・空気調和設備・給排水製氷設備） ・外構工事 ・工事監理等業務委託 ・竣工記念式典、竣工記念音楽フェス「WORLD HAPPINESS 2019 with HACHINOHE」 ・9月29日 供用開始、オープニングイベント ・貸館事業の実施 ・国際大会の誘致 ・自主事業の実施（イベント誘致等）
令和2年度 ～	・貸館事業の実施 ・国際大会の誘致 ・自主事業の実施（イベント誘致等）

(利用者数)

年 度	利用者数
令和元年度 9月29日オープン	138,970人
令和2年度	104,713人

36) 多賀多目的運動場運営事業 (全市町村)

【事業概要】

サッカーJ3のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を圏域住民の利用に供することで、圏域内外の交流人口の拡大による圏域経済の活性化等を図る。

【取組実績】

年 度	内 容	指標（観客数）
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァンラーレ八戸FCのホームゲームイベントに、マスコットキャラクター「いかずきんズ」が参加 ・八戸スポーツ振興協議会を通じ観客向けの景品を提供 	32,153人
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸スポーツ振興協議会を通じ、10月14日にマッチデースポンサー料を支出。チームと協力してホームゲームイベントを企画して観客動員を図った。 	32,374人
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸スポーツ振興協議会事業として、ヴァンラーレ八戸FCのホームゲーム時に来場者プレゼントを配布 ・指定管理者の自主事業として、来場者の防災意識を高めってもらうため、ホームゲーム終了後、4階津波避難スペースの見学会を開催 	27,757人
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸スポーツ振興協議会事業として、ヴァンラーレ八戸FCのホームゲーム時に来場者プレゼントを配布 	11,316人

c 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

-)eコマース人材育成事業（全市町村） ※令和元年度で終了

【事業概要】

八戸学院地域連携研究センターを活用し、圏域の事業者を対象とした、ECサイトの運営にあたり必要となるスキルや知識を得るための講座を開設し、地場産品等の販路拡大や起業の促進を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ入門講座を開催 開 催 日：9月2日・23日、10月7日・21日、11月11日・18日 全6回 講座参加者：21人（うち圏域町村 3人）
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ入門講座を開催 開 催 日：12月8日・15日・22日、1月12日・19日 全5回 講座参加者：12人（うち圏域町村 2人） ・特別セミナー『IT人材育成で地域の課題を解決』を開催 開 催 日 時：11月27日18：30～20：30 場 所：はっち 2階シアター2 参 加 者 数：21人（うち連携町村2人）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ入門講座を開催 開 催 日：11月9日・16日・23日、12月7日 全4回 講座参加者：6人（うち圏域町村 1人） ・特別セミナー『IT人材育成で地域の課題を解決』を開催 開 催 日 時：10月21日18：30～20：30 場 所：はっち 2階シアター2 参 加 者 数：13人

37) 学生まちづくり助成金制度（全市町村）

【事業概要】

学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付する。

【取組実績】

① 学生まちづくり助成金

年 度	交付件数（件）	助成金交付額合計（円）
平成29年度	7（1）	1,035,710
平成30年度	7（4）	915,529
令和元年度	5（4）	756,615
令和2年度	3（3）	580,000（見込み）

※（ ）は圏域実施件数

② まちづくりインターン助成金

年 度	交付件数（件）	助成金交付額合計（円）
平成29年度	1	10,000
平成30年度	2	17,500
令和元年度	4	34,000
令和2年度	—	—

38) 学官連携地域シンクタンク（全市町村）

【事業概要】

八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の3校と八戸市が連携し、地域の政策課題等について、調査研究するための地域シンクタンクを設置し、圏域の職員に参加の機会を提供することにより、職員の資質と能力の向上を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成21年度	・第1弾プロジェクトチーム テーマ「産業関連分析による地域経済活性化へのアプローチ」
平成22年度	・第2弾プロジェクトチーム テーマ「低炭素地域社会の構築による持続可能な地域づくり」 （南部町1名参加） ・第3弾プロジェクトチーム テーマ「学生まち活-八戸アートと地域活性化の研究-」
平成24年度	・第4弾プロジェクトチーム テーマ「大震災を踏まえた防災・減災に関する調査研究」 （おいらせ町1名参加）
平成25年度	・第5弾プロジェクトチーム テーマ「都市のイメージづくりと情報発信力の強化についての研究」 （おいらせ町1名参加）
平成26年度	・第6弾プロジェクトチーム テーマ「八戸市のリノベーション戦略に係る調査研究」 （南部町1名参加）

平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 第7弾プロジェクトチーム テーマ「八戸創生ービッグデータを活用した地域振興策の研究」 (階上町1名、おいらせ町1名参加)
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 第8弾プロジェクトチーム テーマ「ヘルスケア産業創出可能性に係る研究ー観光振興を視野に入れて」 (五戸町1名参加)
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 第9弾プロジェクトチーム テーマ「地域資源を活かした魅力ある観光創造に関する研究」 (南部町1名参加)
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 第10弾プロジェクトチーム テーマ「地方創生における高等教育機関の役割に関する調査研究」 (南部町1名参加)
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 第11弾プロジェクトチーム テーマ「若者の地域定着とU・I・Jターン可能なまちづくりに関する研究ースポーツと多文化の視点からー」 (階上町1名参加)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 第12弾プロジェクトチーム テーマ「地域資源のブランディングに関する研究」 (南部町1名参加)

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

A 生活機能の強化に係る政策分野

○ 医療体制の充実

39) 医師派遣事業 (八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、おいらせ町)

【事業概要】

八戸市立市民病院から三戸中央病院、五戸総合病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院に、医師の派遣を行う。

【取組実績】

区分	三戸町	五戸町	田子町	南部町	おいらせ町
派遣先	国民健康保険 三戸中央病院	国民健康保険 五戸総合病院	国民健康保険 田子診療所	国民健康保険 南部町医療 センター	国民健康保険 おいらせ病院
協定締結 時期	平成21年10月1日	平成22年10月1日	平成23年5月1日	平成29年9月29日	平成29年9月29日
概要 (最新の 派遣内容)	整形外科医を毎週水曜・金曜日に、内科医を月2回(土曜又は日曜日)の宿日直に、脳神経外科医を第2金曜日に派遣	内科医を毎週木曜日・第4火曜日に、精神科医を第1火曜日に派遣	内科医を毎週金曜日に派遣	外科医を毎週日曜・金曜日に派遣	外科医を第2土曜日とその翌日の日曜日に、脳神経外科医を第1木曜日、第4木曜・金曜日に、眼科医を第1・第3火曜日に派遣
平成 21年度	計25回 ※10月1日～				
22年度	計48回	常時派遣 ※10月1日～			
23年度	計50回	常時派遣	計13回 ※12月1日～		
24年度	計50回	計141.5回	(休止中)		
25年度	計51回	計149回	(休止中)		
26年度	計50回	計147回	(休止中)		
27年度	計49回	計145回	(休止中)		
28年度	計50回	計149回	(休止中)		
29年度	計95回	計70回	(休止中)	計50回 ※10月1日～	計10回 ※10月1日～
30年度	計112回	計78回	(休止中)	計103回	計33回
元年度	計87回	計98回	(休止中)	計99回	計36回
2年度	計46回	計72回	(休止中)	計76回	計40回

40) ドクターカー運行事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域の中核病院である八戸市立市民病院のドクターカーを圏域内にて運行し、救命救急医療の充実を図る。

【取組実績】

単位：件

年 度	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他	合計
平成21年度	3月29日 ドクターカー運行開始式									
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
平成22年度	468	7	11	3	11	41	1	22	29	593
平成23年度	806	18	34	4	38	54	5	42	26	1,027
平成24年度	843	8	28	4	38	55	3	53	53	1,085
平成25年度	930	16	31	10	52	86	12	36	41	1,214
平成26年度	1,101	18	43	13	56	81	6	72	62	1,452
平成27年度	1,092	10	35	13	44	81	4	64	96	1,439
平成28年度	1,123	23	55	24	60	70	5	74	94	1,528
平成29年度	971	12	47	19	51	66	5	59	62	1,292
平成30年度	1,175	39	52	9	61	73	5	68	76	1,558
令和元年度	1,321	33	41	9	61	79	8	76	88	1,716
令和2年度	895	19	39	7	33	60	6	37	73	1,169
合計	10,731	203	416	115	505	746	60	603	700	14,079



(手前) 圏域が運行するドクターカー
(奥) 青森県が運航するドクターヘリ

41) 救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業

(八戸市、三戸町、五戸町、南部町、おいらせ町)

【事業概要】

八戸市立市民病院にて開催される救急医療、母子周産期医療に関する講習会等について、圏域町村の救急告示病院や産科標榜病院の医師・看護師に対し、参加の機会を提供する。

【取組実績】

年 度	内 容
平成29年度～	圏域町村の救急告示病院や産科標榜病院に講習会等の開催情報を提供

42) 周産期医療体制周知事業 (全市町村)

【事業概要】

周産期における医療体制等の各種情報をホームページ等により提供する。

【取組実績】

平成22年度より、八戸市のホームページ上に「赤ちゃんがやってくる」として、特集ページを作成し、情報提供を実施。(圏域町村では、八戸市ホームページへのリンクを作成)

年 度	ホームページアクセス数
平成28年度	4,310件
平成29年度	5,583件
平成30年度	5,804件
令和元年度	6,543件
令和2年度	2,232件

43) 不妊専門相談センター事業 (全市町村)

【事業概要】

不妊や不育症に悩む圏域の夫婦等に対して、不妊専門相談センターにおいて専門医が相談に応じる。

【取組実績】

年度当初、圏域町村に事業案内ちらしを送付し各窓口を設置し周知体制を整備

年 度	相談者組数 (人数)
平成28年度	1組 (1人)
平成29年度	7組 (13人) うち圏域町村1組
平成30年度	7組 (12人)
令和元年度	1組 (1人)
令和2年度	5組 (7人)

44) AED普及促進事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域住民を対象として、AED講習会を開催する。

8市町村それぞれでAEDを配備し、イベントの際には、必要に応じて相互貸し出しを行う等、圏域の救命率向上を図る。

【取組実績】

一次救命・AED講習会 (平成29年9月以降)

年 度	夏休み		冬休み	
	開催日	参加者数	開催日	参加者数
平成29年度	—	—	12月26日	44人
平成30年度	7月27日	27人	1月7日	34人
令和元年度	7月25日	43人	12月26日	35人
令和2年度	—	—	—	—

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○ 子育て支援の充実

45) 一時預かり保育事業（全市町村）

【事業概要】

八戸市の認定こども園・保育所・幼稚園において、圏域内の家庭での保育が困難となった児童を一時的に預かり、圏域の保護者の負担を軽減し、子どもを安心して生み育てる環境の形成を図る。

【取組実績】（8市町村合計）

単位：人

区 分	一時預かり保育事業	休日保育事業
概 要	保育所等で必要に応じた一時的な保育サービスを提供する。	保育所等で日曜日・祝日などの休日に保育サービスを提供する。
平成21年度	12,409	3,356
平成22年度	13,005	3,731
平成23年度	12,550	3,869
平成24年度	12,077	4,411
平成25年度	13,552	4,221
平成26年度	11,797	3,907
平成27年度	9,055	3,143
平成28年度	11,732	3,238
平成29年度	9,794	3,994
平成30年度	9,849	4,300
令和元年度	7,799	4,225

46) ファミリーサポートセンター事業（全市町村）

【事業概要】

育児援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）のマッチング機能を担うファミリーサポートセンター事業を実施する。

【取組実績】

（研修等）

年 度	内 容
平成22年度	12月1日 圏域で援助活動実施 ・各種研修会、講習会の実施（ステップアップ研修会・提供会員養成研修会・会員交流会） ・7町村への提供会員登録説明会実施
平成23年度	・各種研修会、講習会の実施（ステップアップ研修会・提供会員養成研修会・会員交流会、八戸市ファミサポ・児童館職員合同研修会、八戸市子育てサロン&ファミサポ合同研修会） ・6町へ提供会員登録説明会実施
平成24年度	・各種研修会、講習会の実施（ステップアップ研修会、提供会員養成研修会、会員交流会） ・三戸町、五戸町、おいらせ町への移動登録相談会実施
平成25年度～	・各種研修会、講習会の実施（ステップアップ研修会、提供会員養成研修会、会員交流会）

(登録件数)

単位：人

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	その他	合計
平成22年度 計	577	0	1	1	3	4	0	6	0	592
依頼会員	324	0	0	0	0	2	0	3	0	329
提供会員	229	0	1	1	3	2	0	3	0	239
両方会員	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
平成23年度 計	572	5	1	1	6	4	0	8	0	597
依頼会員	332	0	0	0	2	2	0	5	0	341
提供会員	214	5	1	1	4	2	0	3	0	230
両方会員	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26
平成24年度 計	586	8	2	1	4	7	0	11	0	619
依頼会員	340	3	1	0	2	5	0	7	0	358
提供会員	215	5	1	1	2	2	0	4	0	230
両方会員	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31
平成25年度 計	610	7	7	0	5	10	0	10	0	649
依頼会員	369	3	4	0	3	6	0	6	0	391
提供会員	219	4	2	0	2	4	0	4	0	235
両方会員	22	0	1	0	0	0	0	0	0	23
平成26年度 計	637	9	7	1	7	8	0	14	0	683
依頼会員	388	3	4	0	5	4	0	10	0	414
提供会員	229	6	2	1	2	4	0	4	0	248
両方会員	20	0	1	0	0	0	0	0	0	21
平成27年度 計	660	10	8	1	7	8	0	20	0	714
依頼会員	395	4	4	0	5	3	0	14	0	425
提供会員	246	6	3	1	2	5	0	6	0	269
両方会員	19	0	1	0	0	0	0	0	0	20
平成28年度 計	668	11	10	2	6	8	0	26	1	732
依頼会員	403	5	5	1	4	4	0	15	1	438
提供会員	252	6	5	1	2	4	0	10	0	280
両方会員	13	0	0	0	0	0	0	1	0	14
平成29年度 計	634	10	10	2	6	10	0	27	1	700
依頼会員	380	5	4	1	4	5	0	16	1	416
提供会員	245	5	6	1	2	5	0	10	0	274
両方会員	9	0	0	0	0	0	0	1	0	10
平成30年度 計	611	11	9	1	6	10	0	27	1	676
依頼会員	372	5	4	0	4	5	0	17	1	408
提供会員	232	6	5	1	2	5	0	9	0	260
両方会員	7	0	0	0	0	0	0	1	0	8
令和元年度 計	609	10	9	1	5	12	0	25	1	672
依頼会員	375	6	4	0	3	5	0	15	1	409
提供会員	228	4	5	1	2	7	0	9	0	256
両方会員	6	0	0	0	0	0	0	1	0	7
令和2年度 計	630	10	11	1	5	12	0	33	1	703
依頼会員	389	6	4	0	3	5	0	19	1	427
提供会員	233	4	7	1	2	7	0	12	0	266
両方会員	8	0	0	0	0	0	0	2	0	10

(相互援助活用件数)

単位：件

年 度	活動形式	件 数
平成22年度	合計	761
	八戸市間	761
	八戸市・町村間	0
	町村間	0
平成23年度	合計	869
	八戸市間	859
	八戸市・町村間 階上町(依頼) & 八戸市(提供)	8 (8)
	町村間 階上町(依頼) & おいらせ町(提供)	2 (2)
平成24年度	合計	916
	八戸市間	878
	八戸市・町村間 五戸町(依頼) & 八戸市(提供)	36 (23)
	階上町(依頼) & 八戸市(提供)	(13)
	町村間 三戸町(依頼) & 三戸町(提供)	2 (1)
おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	(1)	
平成25年度	合計	876
	八戸市間	856
	八戸市・町村間 おいらせ町(依頼) & 八戸市(提供)	18 (12)
	階上町(依頼) & 八戸市(提供)	(8)
	町村間	0
平成26年度	合計	746
	八戸市間	667
	八戸市・町村間 階上町(依頼) & 八戸市(提供)	24 6
	おいらせ町(依頼) & 八戸市(提供)	16
	南部町(依頼) & 八戸市(提供)	1
	八戸市(依頼) & 五戸町(提供)	1
	町村間 五戸町(依頼) & 五戸町(提供)	55 11
	おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	26
南部町(依頼) & 南部町(提供)	18	
平成27年度	合計	909
	八戸市間	855
	八戸市・町村間 三戸町(依頼) & 八戸市(提供)	4 (1)
	南部町(依頼) & 八戸市(提供)	(1)
	階上町(依頼) & 八戸市(提供)	(2)
町村間 おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	50 (46)	
階上町(依頼) & 階上町(提供)	(4)	
平成28年度	合計	1,321
	八戸市間	1,165
	八戸市・町村間 三戸町(依頼) & 八戸市(提供)	132 (121)
	南部町(依頼) & 八戸市(提供)	(7)
	階上町(依頼) & 八戸市(提供)	(4)
	町村間 五戸町(依頼) & 五戸町(提供)	24 (3)
	おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	(9)
	階上町(依頼) & 階上町(提供)	(6)
三戸町(依頼) & 三戸町(提供)	(6)	

平成29年度	合計	863
	八戸市間	838
	八戸市・町村間	16
	三戸町(依頼) & 八戸市(提供)	(3)
	階上町A(依頼) & 八戸市(提供)	(4)
	おいらせ町A(依頼) & 八戸市(提供)	(9)
	町村間	9
階上町A(依頼) & 階上町(提供)	(4)	
階上町B(依頼) & 階上町(提供)	(2)	
おいらせ町B(依頼) & おいらせ町(提供)	(3)	
平成30年度	合計	657
	八戸市間	633
	八戸市・町村間	15
	おいらせ町(依頼) & 八戸市(提供)	(15)
	町村間	9
階上(依頼) & 階上町(提供)	(7)	
おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	(2)	
令和元年度	合計	720
	八戸市間	701
	八戸市・町村間	2
	おいらせ町(依頼) & 八戸市(提供)	(2)
	町村間	17
階上町(依頼) & 階上町(提供)	(5)	
おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	(12)	
令和2年度	合計	709
	八戸市間	699
	八戸市・町村間	0
	町村間	10
	階上町(依頼) & 階上町(提供)	(2)
	五戸町(依頼) & 五戸町(提供)	(6)
おいらせ町(依頼) & おいらせ町(提供)	(2)	

47) 子育てつどいの広場事業 (全市町村)

【事業概要】

八戸ポータルミュージアム内に設置した子育て集いの広場「こどもはっち」を運営し、子育て世代の交流の場として圏域住民の利用に供する。

【取組実績】

年度	内容
平成22年度～	2月11日 八戸ポータルミュージアム4階に「こどもはっち」開設 【講習会等の実施】 <ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を目的としたイベントの実施 子育てに関する相談、援助の実施 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施 豊かな遊び空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座の実施 地域の子育て力を高める取組の実施

(延べ入場者数)

単位：人

年度	延べ入場者数
平成22年度	9,658
平成23年度	45,458
平成24年度	46,320
平成25年度	46,464
平成26年度	49,753
平成27年度	52,408

平成28年度	54,889
平成29年度	58,927
平成30年度	62,092
令和元年度	55,333
令和2年度	17,683
合計	498,985

48) 子育てサロン支援事業（全市町村）

【事業概要】

小学校入学前の子どもと親の交流を目的に八戸市内の地区公民館等を拠点として、絵本の読み聞かせや季節の行事等の子育てサロン事業を実施する。

【取組実績】（8市町村合計）

年 度	利用児童延数(人)	回数(回)
平成22年度	5,689	285
平成23年度	5,988	264
平成24年度	5,380	258
平成25年度	6,609	220
平成26年度	5,908	220
平成27年度	6,059	219
平成28年度	5,740	234
平成29年度	5,926	224
平成30年度	5,809	219
令和元年度	4,389	190
合計	57,497	2,333

49) 地域子育て支援拠点事業（全市町村）

【事業概要】

八戸市内の認定こども園・保育所等において、圏域住民を対象とする子育て関連情報の提供や、講習会開催等により、圏域の親子の交流促進を図る。

【取組実績】（8市町村合計） 単位：人

区 分	利用者数
平成21年度	22,259
平成22年度	35,281
平成23年度	40,748
平成24年度	40,540
平成25年度	42,682
平成26年度	34,855
平成27年度	33,768
平成28年度	34,640
平成29年度	35,137
平成30年度	28,178
令和元年度	25,002

○ 高齢者福祉の充実

50) 高齢者福祉合同研修会等の開催（全市町村）

【事業概要】

認知症や虐待などの各種困難事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなど、合同研修会を開催し、圏域全体で支援の質の向上を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成23年度	<p>【高齢者虐待対応シンポジウム】（7月28日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数233名 （八戸市139名、三戸町15名、五戸町17名、田子町2名、南部町17名、階上町15名、新郷村5名、おいらせ町13名、その他10名） <p>【認知症フォーラム】（8月20日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数370名 （八戸市227名、三戸町17名、五戸町14名、田子町11名、南部町24名、階上町43名、新郷村2名、おいらせ町21名、その他11名） <p>【高齢者虐待対応ワークショップ】（11月12日 八戸市・11月13日 南部町）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数98名 （八戸市49名、三戸町9名、五戸町9名、田子町2名、南部町22名、階上町1名、新郷村3名、おいらせ町3名）
平成24年度	<p>【ケアプラン点検支援マニュアル実践研修】（8月1日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数139名 （八戸市87名、三戸町11名、五戸町8名、田子町4名、南部町9名、階上町6名、新郷村2名、おいらせ町12名）
平成25年度	<p>【ケアプラン点検支援マニュアル実践研修】（1月23日・24日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数201名 （八戸市125名、三戸町12名、五戸町10名、田子町3名、南部町11名、階上町13名、新郷村3名、おいらせ町24名）
平成26年度	<p>【地域における認知症ケア研修～認知症ケアパスと認知症ケアの普及啓発について～】（1月22日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数143名 （八戸市71名、三戸町14名、五戸町12名、田子町3名、南部町17名、階上町8名、新郷村6名、おいらせ町12名）
平成27年度	<p>【地域における認知症ケア研修～認知症初期集中支援チームの活用について～】（10月29日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数154名 （八戸市74名、三戸町15名、五戸町9名、田子町8名、南部町20名、階上町10名、新郷村2名、おいらせ町16名）
平成28年度	<p>【地域における認知症ケア研修～地域の特性を踏まえた認知症地域支援推進員活動について～】（10月27日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数129名 （八戸市46名、三戸町11名、五戸町8名、田子町5名、南部町21名、階上町16名、新郷村10名、おいらせ町12名）
平成29年度	<p>【地域における認知症ケア研修～若年性認知症について～】（10月31日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数116名 （八戸市69名、三戸町8名、五戸町8名、田子町3名、南部町7名、階上町9名、新郷村3名、おいらせ町8名、その他1名）
平成30年度	<p>【地域における認知症ケア研修～つながる、つなげる 切れ目のない在宅医療・介護連携～】（11月26日 八戸市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数196名 （八戸市90名、三戸町17名、五戸町8名、田子町10名、南部町31名、階上町19名、新郷村5名、おいらせ町16名）

令和元年度	【認知症ケア向上研修 認知症の人の視点を重視し、自分らしく暮らせる地域を目指して ～認知症の人とともに築く総活躍のまち“ごぼう”～】 (12月18日 八戸市) ・参加人数147名 (八戸市75名、三戸町7名、五戸町8名、田子町12名、南部町11名、階上町17名、新郷村6名、おいらせ町11名)
令和2年度	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

51) あんしんカード事業 (全市町村)

【事業概要】

認知症等により、徘徊して自宅に戻れなくなる可能性のある方の情報を登録するとともに、あんしんカード等を配付し、登録者が保護された場合には、ご家族等に連絡する。

【取組実績】 (8市町村合計)

年 度	あんしんカード登録者数(人)
平成22年度	31
平成23年度	87
平成24年度	155
平成25年度	206
平成26年度	302
平成27年度	320
平成28年度	348
平成29年度	381
平成30年度	418
令和元年度	443
令和2年度	478

52) 救急医療情報キット配付事業 (全市町村)

【事業概要】

災害時要援護者などの急病、事故、災害などの救急時に駆けつけた救急隊員等が迅速に対応できるよう、関係市町村の災害時要援護者等に対し、かかりつけ医療機関、持病等の情報を保管する救急医療情報キットを配付する。

【取組実績】 (8市町村合計)

年 度	普及率 (%)
平成29年度	93.4
平成30年度	83.8
令和元年度	96.2
令和2年度	98.2

53) 成年後見制度利用促進事業 (全市町村)

【事業概要】

成年後見制度の利用促進を図るため、市民後見人の養成、推進、研修及び啓発を行い、圏域全体の福祉向上を図る。

【取組実績】 (8市町村合計)

年 度	内 容
平成29年度	【圏域住民向け公開講座】(12月16日 八戸市) ・参加人数87人
平成30年度	【圏域住民向け公開講座】(3月16日 八戸市) ・参加人数157人
令和元年度	【圏域住民向け公開講座】(2月29日 八戸市) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 【八戸圏域市民後見人養成研修】(9月～10月) ・修了者数17人
令和2年度	【圏域住民向け公開講座】(2月27日開催予定 八戸市・三戸町) 【八戸圏域市民後見人フォローアップ研修】(1回 八戸市) ・参加者数19人 (このほか新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回延期)

54) 医療・介護連携マップ管理運営事業 (全市町村)

【事業概要】

医療機関・介護事業所の所在地・連絡先・サービス内容等の情報をマップ化したものをホームページ上に掲載し、医療・介護の専門職が、より円滑に連携することを支援することで、地域の高齢者等に対する効率的かつ効果的なサービス提供を図る。

【取組実績】

年 度	医療・介護連携マップアクセス数(件)
令和元年度	11,789
令和2年度	11,432

○ 障がい者福祉の充実

55) 障がい者福祉合同研修会等の開催 (全市町村)

【事業概要】

発達障がいや虐待などの事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなどして、圏域における関係者向けの合同研修会等を開催する。

【取組実績】

年 度	内 容
平成24年度	【研修会】(11月28日 八戸市) ・参加人数32人 (八戸市12人、三戸町2人、五戸町4人、田子町5人、南部町3人、新郷村2人、おいらせ町4人) 【講演会】(12月16日 八戸市) ・参加人数152人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)
平成25年度	【研修会】(1月23日 八戸市) ・参加人数22人 (八戸市7人、三戸町2人、五戸町3人、田子町2人、南部町3人、階上町1人、新郷村2人、おいらせ町2人) 【講演会】(3月22日 八戸市) ・参加人数191人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)

平成26年度	<p>【研修会】(2月4日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数23人 (八戸市7人、三戸町3人、五戸町3人、田子町2人、南部町1人、階上町2人、新郷村3人、おいらせ町2人) <p>【講演会】(3月21日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数213人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)
平成27年度	<p>【研修会】(10月15日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数20人 (八戸市12人、三戸町2人、五戸町2人、田子町1人、南部町1人、新郷村2人) <p>【講演会】(12月13日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数159人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)
平成28年度	<p>【研修会】(10月12日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数108人 (八戸市73人、三戸町5人、五戸町7人、田子町2人、南部町12人、階上町4人、新郷村2人、おいらせ町3人) <p>【講演会】(12月11日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数109人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)
平成29年度	<p>【研修会】(11月9日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数76人 (八戸市62人、三戸町2人、五戸町4人、田子町1人、南部町1人、階上町3人、新郷村1人、おいらせ町2人) <p>【講演会】(12月9日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数122人(一般向け講演会のため、町村内訳は不明)
平成30年度	<p>【研修会】(10月15日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数52人 (八戸市38人、三戸町2人、五戸町2人、田子町2人、南部町3人、階上町3人、新郷村1人、おいらせ町1人) <p>【講演会】(1月20日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数 284人
令和元年度	<p>【研修会】(11月13日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数25人 (八戸市11人、三戸町1人、五戸町3人、田子町0人、南部町5人、階上町2人、新郷村1人、おいらせ町2人) <p>【講演会】(1月18日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数 108人
令和2年度	<p>【研修会】(10月15日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数14人 (八戸市5人、三戸町1人、五戸町2人、田子町1人、南部町2人、階上町1人、新郷村1人、おいらせ町1人) <p>【講演会】(1月23日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加人数 100人

56) 障害支援区分判定審査事務の共同実施 (全市町村)

【事業概要】

市町村が行う障害支援区分判定事務について、圏域内の事務を八戸市の審査会において実施し、事務の効率化を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数 30回 審査件数 601件 (八戸市423件、三戸町26件、五戸町42件、田子町8件、南部町43件、階上町25件、新郷村3件、おいらせ町31件)
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数 30回 審査件数 538件 (八戸市390件、三戸町21件、五戸町29件、田子町5件、南部町49件、階上町17件、新郷村6件、おいらせ町21件)

平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 32回 ・審査件数 688件 (八戸市468件、三戸町33件、五戸町40件、田子町6件、南部町42件、階上町31件、新郷村7件、おいらせ町61件)
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 38回 ・審査件数 686件 (八戸市501件、三戸町27件、五戸町35件、田子町21件、南部町39件、階上町26件、新郷村5件、おいらせ町32件)
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 37回 ・審査件数 620件 (八戸市431件、三戸町23件、五戸町47件、田子町7件、南部町47件、階上町25件、新郷村7件、おいらせ町33件)
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 38回 ・審査件数 725件 (八戸市492件、三戸町31件、五戸町40件、田子町11件、南部町50件、階上町37件、新郷村5件、おいらせ町59件)
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 38回 ・審査件数 776件 (八戸市556件、三戸町36件、五戸町51件、田子町24件、南部町40件、階上町35件、新郷村6件、おいらせ町28件)
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 37回 ・審査件数 700件 (八戸市439件、三戸町27件、五戸町48件、田子町17件、南部町43件、階上町27件、新郷村7件、おいらせ町38件)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 30回 ・審査件数 596件 (八戸市433件、三戸町17件、五戸町37件、田子町14件、南部町37件、階上町12件、新郷村6件、おいらせ町40件)

○ 中小企業従事者の福祉向上

57) 勤労者福祉サービスセンター事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域の中小企業の従業員向けの福利厚生事業の実施や、勤労者福祉サービスセンターへの加入を促進し、圏域中小企業の負担を軽減するとともに、福利厚生を充実し、早期離職者の減少を図る。

【取組実績】

平成23年度に、サービスセンター規約変更
(勤労者福祉サービスセンター 会員数)

年度	会員数	備考 (会員数のうち、圏域町村分)
平成23年度	361社 1,552人	南部町1社1人、階上町3社4人
平成24年度	365社 1,554人	南部町1社1人、階上町4社13人、おいらせ町1社11人
平成25年度	344社 1,509人	南部町1社1人、階上町3社10人、おいらせ町3社12人
平成26年度	342社 1,430人	南部町1社1人、階上町3社9人、おいらせ町3社11人
平成27年度	337社 1,434人	南部町2社2人、階上町3社8人、おいらせ町2社10人
平成28年度	337社 1,492人	南部町1社1人、階上町3社7人、おいらせ町2社10人
平成29年度	339社 1,570人	南部町2社6人、階上町2社6人、おいらせ町2社10人
平成30年度	333社 1,600人	南部町3社8人、階上町3社7人、おいらせ町2社10人
令和元年度	330社 1,610人	南部町4社9人、階上町3社7人、おいらせ町2社10人 三戸町1社3人
令和2年度	317社 1,568人	南部町3社8人、階上町2社6人、おいらせ町2社10人 三戸町1社3人

○ 消費者支援の充実

58) 消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化（全市町村）

【事業概要】

消費生活に係る相談事業を行うとともに、関連講座を開催し、圏域全体の消費者被害の未然防止や早期解決を図る。

【取組実績】

年度	消費生活相談件数	消費者講座受講者数	
		一般住民向け	若年者向け
平成29年度	1,799件	238人(うち圏域町村18人)	6校 560人
平成30年度	2,026件	208人(うち圏域町村 9人)	7校・1事業所 753人
令和元年度	1,936件	243人(うち圏域町村68人)	5校 459人
令和2年度	1,262件	45人(うち圏域町村21人)	2校 57人

○ 社会教育の充実

59) 生涯学習情報提供事業（全市町村）

【事業概要】

関係市町村で実施している各種講座などについて、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民に周知することにより、圏域住民の学習機会の選択肢を増やす。

【取組実績】

- ・八戸市民大学講座の開催情報を提供
- ・関係町村から講座情報等のチラシを配布し、相互情報提供体制を整備

(八戸市民大学講座 受講者等) 単位：人

年度	受講者数	修了者(※)数
平成21年度	7,618	212(うち圏域町村2)
平成22年度	8,766	191(うち圏域町村3)
平成23年度	5,874	169(うち圏域町村2)
平成24年度	9,498	195(うち圏域町村4)
平成25年度	8,449	178(うち圏域町村6)
平成26年度	7,511	153(うち圏域町村3)
平成27年度	6,526	132(うち圏域町村4)
平成28年度	7,592	135(うち圏域町村3)
平成29年度	5,368	98(うち圏域町村3)
平成30年度	6,699	106(うち圏域町村2)
令和元年度	7,983	123(うち圏域町村4)
令和2年度	—	—

※修了者：全講義のうち、2/3以上の出席した者

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

60) 図書館相互利用事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域内の住民が、圏域内の図書館・図書室において貸し出しを受けることを可能とすることにより、利用者の利便性向上と、本に触れ合う機会の創出、増加を図る。

【取組実績】

- ・平成29年11月24日に図書館等相互利用に関する協定書を8市町村で締結
- ・平成29年12月1日より相互利用を開始

(圏域人口100人当り貸出冊数)

年 度	貸出冊数 (冊)
平成27年度	277
平成28年度	282
平成29年度	296
平成30年度	293
令和元年度	294

○ 学校教育の充実

61) 広域的体験学習支援事業 (全市町村)

【事業概要】

圏域市町村の小学校による、文化・スポーツ等の公共施設を活用した児童対象の体験学習の実施を支援する。

【取組実績】 ※実施校数 (うち関係町村)、参加児童数 (うち関係町村) 等

年 度	実施校数		参加児童数
平成27年度	61校 (うち圏域町村22校)	全76校中80%	4,802人 (うち圏域町村 953人)
平成28年度	64校 (うち圏域町村23校)	全74校中86%	5,557人 (うち圏域町村1,429人)
平成29年度	64校 (うち圏域町村24校)	全74校中86%	5,031人 (うち圏域町村1,130人)
平成30年度	63校 (うち圏域町村22校)	全74校中85%	5,612人 (うち圏域町村1,314人)
令和元年度	62校 (うち圏域町村21校)	全74校中84%	4,923人 (うち圏域町村1,092人)
令和2年度	51校 (うち圏域町村13校)	全73校中70%	4,690人 (うち圏域町村 606人)

・活用施設

八戸市博物館、八戸リサイクルプラザ、是川縄文館、八戸水産科学館マリエント、八戸市児童科学館、テクノルアイスパーク八戸、八戸市中央卸売市場、八戸市長根屋内スケート場、ふくちアイスアリーナ、山の楽校、南郷屋内温水プール、名川B&G海洋センター、間木ノ平グリーンパーク、南郷歴史民俗資料館、田名部記念アリーナ

○ 高等学校の地域活動促進

62) 高校生地域づくり実践プロジェクト (全市町村)

【事業概要】

高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付するとともに、地域と高等学校・生徒の交流促進を図る。

【取組実績】

①八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金

年度	交付件数（件）	助成金交付額合計（円）
平成29年度	5（1）	800,313
平成30年度	5（1）	762,873
令和元年度	4（1）	519,008
令和2年度	6（1）	955,760（見込み）

※（ ）は圏域実施件数

②高校生×地域連携交流会

年度	開催日	参加者数	内容
平成29年度	11月19日	43名 （八戸市、三戸町、 田子町、南部町、 おいらせ町）	第1部 話題提供 「わたしたちが住むマチの魅力」 第2部 ワールドカフェ 「将来、高校生・大学生がこのマチ に戻りたくなるために」
平成30年度	11月4日	36名 （八戸市、五戸町、 南部町、階上町）	第1部 話題提供 「わたしたちが住むマチの魅力」 第2部 ワールドカフェ 「地域に飛び出せ高校生!!～若者が 活躍する八戸圏域を目指して～」
令和元年度	11月4日	56名 （八戸市、三戸町、 南部町、階上町、 その他）	第1部 話題提供 「わたしたちが住むマチの魅力」 第2部 ワールドカフェ 「地域の魅力を再発見!～希望と誇 りの持てる八戸圏域を目指して～」
令和2年度	—	—	—

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○ スポーツ活動の機会の充実

63)氷都八戸パワーアッププロジェクト（全市町村）

【事業概要】

圏域において、スケート教室への指導者派遣やスピードスケート教室の開催等により、スケート振興を図る。

【取組実績】

年 度	スケート教室実施回数等
平成27年度	氷都八戸パワーアッププロジェクト事業開始 ・開催日 12月5日～1月11日 ・教室回数 9回 ・参加者数 197人
平成28年度	・開催日 12月3日～1月7日 ・教室回数 9回 ・参加者数 208人
平成29年度	スケート教室の参加対象を市内小学生から連携中枢都市圏内小学生へ拡大 ・開催日 12月2日～1月13日 ・教室回数 9回 ・参加者数 253人
平成30年度	・開催日 12月1日～12月29日 ・教室回数 9回 ・参加者数 263人

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月16日～12月14日 ・教室回数 9回 ・参加者 210人
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月14日～11月29日 ・教室回数 4回 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施予定であった全9回のうち5回を中止。 ・参加者 143人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、募集人員を縮小。

64) 体育施設情報共有化事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内の体育施設情報をまとめたホームページを作成し、体育施設の相互利用促進を図る。

【取組実績】

平成30年7月に市ホームページへ「八戸圏域連携中枢都市圏におけるスポーツ施設情報」ページを開設した。

年度	閲覧件数（件）
平成30年度	4,386
令和元年度	2,550
令和2年度	900

65) スポーツ大使派遣事業（全市町村）

【事業概要】

八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使（団体に限る）を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演会やスポーツ教室を開催することで、児童・生徒等の郷土への愛着及び誇りの醸成を図る。

【取組実績】

年度	派遣件数（件）
令和元年度	5
令和2年度	3

- ・派遣する八戸市スポーツ大使（団体）
ヴァンラーレ八戸FC、東北フリーブレイズ、青森ワッツ

○ 不法投棄の防止

66) 不法投棄防止事業（全市町村）

【事業概要】

関係市町村が共同で不法投棄防止のための各種対策を講じ、不法投棄の抑止・減少を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成23年度	・啓発用備品購入（看板、のぼり旗、車両用マグネットシート）
平成24年度～	・毎年5月30日から6月5日の「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」に合わせて統一パトロールを実施
令和2年度	・環境省による「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」と「海ごみゼロウィーク」等との統合に合わせて、統一パトロールの期間を「海ごみゼロウィーク」の5月30日から6月8日に変更し実施

○ 安全・安心なまちづくりの推進

67) 安全・安心情報発信事業（全市町村）

【事業概要】

圏域住民のニーズに合わせ、安全・安心に係る各種情報や災害情報等をメール「愛称：ほっとスルメール」にて発信するもので、災害や犯罪等に対し、初期段階で対応することができるようにする。

【取組実績】

年 度	内 容	
平成22年度～	12月17日	定住自立圏安全・安心情報システム稼働開始
平成23年度	1月	消防本部移転に伴うシステム改修
	3月 8日	〃 システム切替
平成24年度	10月	気象情報XML化対応・エリアメール等連動に係るシステム改修
	3月25日	〃 システム切替
平成25年度	7月	Jアラート連動（国民保護、指定河川洪水予報等に関する情報） アプリ開発に係るシステム改修
	2月12日	〃 システム切替
平成28年度	5月	システム機器更新及びJアラート連動（気象情報）、アプリ表示 変更に係るシステム改修
	8月22日	〃 システム切替
平成30年度	10月	情報配信速度向上に係るシステム改修
	3月25日	〃 システム切替
令和元年度	6月	アプリ機能追加（防災関係リンク先表示）に係るシステム改修
	9月25日	〃 システム切替
令和2年度	9月	セキュリティ対策（UTM機器更新）に係るシステム改修
	12月16日	〃 システム切替
	12月	火災の鎮火報・誤報の自動配信化に係るシステム改修

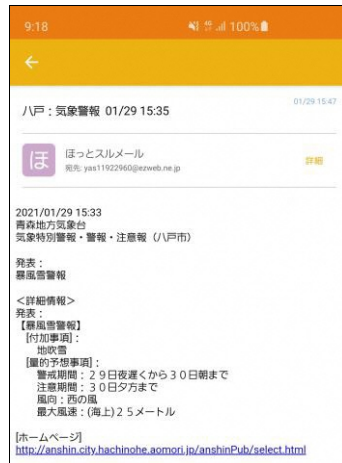
（登録者数）

単位：人

年 度	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
平成22年度	24,175	111	375	179	188	330	138	425	25,921
平成23年度	30,337	223	1,189	228	449	537	274	697	33,934
平成24年度	31,463	304	1,246	248	594	705	293	744	35,597
平成25年度	33,128	409	1,252	303	754	1,632	295	849	38,622
平成26年度	37,875	631	1,322	330	833	1,785	308	2,475	45,559
平成27年度	38,925	526	1,381	344	863	1,720	314	2,878	46,951
平成28年度	37,961	698	1,704	348	912	1,797	330	3,168	46,918
平成29年度	38,245	1,052	1,826	367	943	1,853	350	3,514	48,150
平成30年度	39,266	1,379	1,916	384	977	1,903	379	3,755	49,959
令和元年度	36,979	2,460	2,091	71	959	1,780	447	3,860	48,947



アプリ_アイコン



メール_受信画面



アプリ_トップ画面



アプリ_通知画面

68) 福祉避難所の設置及び圏域での相互利用（全市町村）

【事業概要】

災害時において、特別な配慮が必要な方を受入対象としている福祉避難所について、民間施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。

【取組実績】

年度	内容
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市が圏域事業者と「福祉避難所の確保に関する協定」を締結 ・57事業者78施設 (八戸市46事業者、五戸町3事業者、南部町3事業者、階上町2事業者、おいらせ町3事業者)
平成25年度・平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域各市町村が、それぞれの域内の事業者と、相互利用を可能とする「福祉避難所の確保に関する協定」を締結 ・97事業者163施設 (八戸市47事業者、三戸町5事業者、五戸町8事業者、田子町2事業者、南部町14事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・97事業者165施設 (八戸市47事業者、三戸町5事業者、五戸町8事業者、田子町2事業者、南部町14事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・98事業者167施設 (八戸市47事業者、三戸町5事業者、五戸町9事業者、田子町2事業者、南部町14事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・98事業者167施設 (八戸市47事業者、三戸町5事業者、五戸町9事業者、田子町2事業者、南部町14事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・99事業者168施設 (八戸市48事業者、三戸町5事業者、五戸町10事業者、田子町2事業者、南部町13事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・101事業者169施設 (八戸市50事業者、三戸町5事業者、五戸町10事業者、田子町2事業者、南部町13事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・102事業者182施設 (八戸市50事業者、三戸町5事業者、五戸町9事業者、田子町2事業者、南部町15事業者、階上町13事業者、新郷村1事業者、おいらせ町7事業者)

※福祉避難所は指定避難所とは違い、災害発生後に必要性が認められた場合に、協定を締結した民間福祉施設などで開設

69) 危険空き家対策のための合同研修会の開催 (全市町村)

【事業概要】

各市町村における危険空き家等対策の現状・課題の整理や意見交換、専門家や先進自治体職員を招いての研修会開催により、危険空き家等に関する課題解決を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 第1回「危険空き家対策のための合同研修会」(6月26日) 各市町村における危険空き家等対策の現状について 管理不全な危険空き家対応について 第2回「危険空き家対策のための合同研修会」(11月29日) 各自治体の「特定空家の判定基準」について 「特定空家の判定基準」の作成について
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 第1回「危険空き家対策のための合同研修会」(7月26日) 各市町村における危険空き家対応事例について 空家等対策計画における特定空家等に対する措置等について 第2回「危険空き家対策のための合同研修会」(11月5日) 先進自治体の空き家対策について(弘前市建設部建築指導課 空き家対策係)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 第1回「危険空き家対策のための合同研修会」(8月26日) 各市町村における管理不全空き家の適正管理、空き家の再生事業(利活用、空き家バンク)、対策計画の策定及び運用等、空家法及び空き家条例の運用について 第2回「危険空き家対策のための合同研修会」(11月19日) 全国規模の既往研究からみた青森県における空き家対策の一分析～大学における研究と空き家の関わり～ 講師：八戸工業大学 工学部 土木建築工学科 助教 西尾 洸毅 氏

70) 国土強靱化地域計画推進事業 (全市町村)

【事業概要】

国土強靱化地域計画を平成30年度に関係市町村合同で策定し、同計画に基づいた施策を圏域全体として推進することにより、強靱な地域の形成を図る。

【取組実績】

年 度	内 容
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 「八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画」策定(平成31年3月公表)
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当課長会議(10月30日) 計画に記載した「今後検討していく連携項目」の具体化に向けた協議
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 市町村担当課長会議(10月28日) 連携項目の実施について協議 【連携項目の実施状況】 ①住民向け防災研修会の開催(1月24日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ②外国人のための防災教室の開催(10月18日) ③住民等への情報伝達手段の研究(11月20日) ④防災関係職員合同研修会の開催(11月20日) ⑤防災関連マニュアルの共有(11月20日)

B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

○ 地域内外の住民との交流・移住促進

71) 移住・交流推進事業（全市町村）

【事業概要】

移住・交流パンフレットの作成や移住・ポータルサイトの開設、首都圏での相談会・イベント等出展のほか、八戸市東京事務所内の「観光・UJIターン窓口」などとの連携により、移住・交流の促進を図る。

【取組実績】

年度	内容
平成23年度～	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内） ・UJIターン窓口設置（八戸市東京事務所内）
平成27年度	・移住促進パンフレット「半都半邑の楽しさ」作成 ・「JOIN移住・交流&地域起こしフェア」への共同出展
平成28年度	・「JOIN移住・交流&地域起こしフェア」への共同出展 ・八戸圏域移住セミナーの開催 ・イベントグッズ（のぼり、法被等）の作成
平成29年度	・移住促進パンフレット「半都半邑の楽しさ」改訂 ・ポータルサイトの開設、運営 ・「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」への共同出展 ・八戸圏域移住セミナーの開催 ・お盆の帰省時期における八戸駅でのふるさとPR ・八戸都市圏 移住コーディネーター配置（八戸市広報統計課内）
平成30年度	・ポータルサイトの運営 ・八戸圏域移住セミナーの開催 ・お盆の帰省時期における八戸駅でのふるさとPR ・移住交流促進インターネット広告の掲載 ・「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」への共同出展 ・八戸都市圏移住者交流会開催
令和元年度	・ポータルサイトの運営 ・移住促進パンフレット「半都半邑の楽しさ」改訂 ・お盆の帰省時期における八戸駅でのふるさとPR ・「青森暮らしセミナー」への共同出展 ・八戸圏域移住セミナーの開催
令和2年度	・ポータルサイトの運営 ・移住促進パンフレット「半都半邑の楽しさ」改訂 ・八戸圏域移住セミナーの開催（オンライン）

72) 縁結び支援事業（全市町村）

【事業概要】

圏域の地域特性に合わせた支援事業の実施や、圏域内の結婚支援に関する情報の共有を行うほか、文化体験型の婚活イベント開催により、結婚に向けた機会の増加や、定住意識の高揚等を図る。

【取組実績】

平成29年6月29日に「八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業協議会」を設置し、各種イベントを実施している。

年度	取組内容
平成29年度	第5回ナニヤドヤラ廻道婚活バスツアー「ナニヤ婚」 開催日：10月28日 参加者：35人（うち圏域町村等参加者7人）
	『“縁活” 友人関係・恋愛・婚活・・・ まずはコミュニケーション力アップから！』 開催日：3月17日 参加者：イベント中のべ74人
平成30年度	第6回ナニヤドヤラ廻道婚活バスツアー「ナニヤ婚」 開催日：10月27日 参加者：38人（うち圏域町村等参加者6人）
	八戸圏域冬婚パーティー「恋するSweets Buffet2019」 開催日：2月16日 参加者：圏域市町村の独身男女 各30人（うち圏域市町村参加者19人）
令和元年度	第7回ナニヤドヤラ廻道婚活バスツアー「ナニヤ婚」 開催日：10月26日 参加者：14人（うち圏域市町村等参加者5名）
	八戸圏域冬婚パーティー「恋するSweets Buffet2020」 開催日：2月8日 参加者：59人（うち圏域市町村等参加者17名）
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

73) 八戸圏域活性化支援事業（全市町村）

【事業概要】

八戸圏域における営利を目的としない団体等が行う圏域の活性化に資する事業に対して、経費の一部を助成することにより（八戸圏域活性化事業助成金）、圏域内外の住民との交流促進や、圏域の活性化を担う人材の育成を図る。

【取組実績】

（助成金交付件数）

単位：件

年度	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	広域事業	合計
平成30年度	1	0	1	0	0	1	1	2	0	6
令和元年度	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
令和2年度	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

※1市町村あたりの上限は、3団体/年

74) 住民活動保険制度（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町）

【事業概要】

行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を導入し、圏域住民が安心して活動することができる環境の構築を図る。

【取組実績】

年度	事故報告件数	保険金支払い件数
平成30年度	13件(うち圏域町村3件)	13件(うち圏域町村3件)
令和元年度	8件(うち圏域町村2件)	8件(うち圏域町村2件)
令和2年度	13件(うち圏域町村3件)	9件(うち圏域町村2件)

※()は圏域の件数
 ※三戸町は令和元年度から対象

75) 公共交通による交流促進事業 (全市町村)

【事業概要】

バスに乗車すると施設入場券等がお得になるバスパック・クーポン券を、交通事業者、沿線施設等と連携して企画・商品化し、路線バスを活用した余暇の過ごし方(=お出かけ)の提案を通じ、通勤・通学等の日常利用以外のバス利用の促進を図る。

【取組実績】

年度	内容
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスパック利用促進(五戸町) ・路線バスパックリニューアル(階上町) 日帰り路線バスパック利用者数：10企画 1,498人 (うち圏域町村 5企画 201人)
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り路線バスパック利用者数：10企画 289人 (うち圏域町村 5企画 83人)

※路線バスパックは、平成25年度から平成30年度までは「31) 八戸圏域公共交通計画推進事業」において実施

11ぴきのねこさがしバスパック
 【三戸町】

ごのへ馬肉料理バスパック
 【五戸町】

南部町バーデパークバスパック
【南部町】

路線バスで「バーデパーク」に行くと、うれしい特典があります！

南部町バーデパークバスパック

バス降車時に「クーポンをください」と運転手へお申し付けください！

遊べる2つの遊び場

バスパック内容（遊べる2コース）

まるごと満喫コース 1,120円

バーデパーク入場料のあまじい、お楽しみが満載！ご利用いただけます。

バスパック特典 乗車券・クーポンを1枚にまとめてお持ち帰り！

レンタルセット 無料貸出！！ スクランブル 1名追加！！

おまけのデザートもついて、お楽しみが満載！！

バスパック特典 乗車券・クーポンを1枚にまとめてお持ち帰り！

レンタルセット 無料貸出！！ スクランブル 1名追加！！

おまけのデザートもついて、お楽しみが満載！！

ご利用の流れ（クーポン式）

1. クーポンを受け取る
お楽しみが満載！バス降車時に、運転手からクーポンをお受け取りください。※クーポンは、降車後乗車前まで有効です。
2. バーデパークで特典を受け取ります
バーデパークの受付窓口にてクーポンを提示すると、左記のコースの特典が受け取れます。
3. お楽しみバスで乗れる「バス券」を渡す
お楽しみバス、アンケートにご記入いただいた「クーポン」を渡すことで、帰りの乗車バスに使える「バス券」を受け取ります。

●お問い合わせ：八戸市観光バス利用課・地域活性化協議会 TEL.0178-43-9124（事務局：八戸市観光バス利用課）

おむくむくバスパック
八戸市観光バス利用課

はしかみ蕎麦と岳満喫バスパック
【階上町】

はしかみ蕎麦と岳満喫バスパック

バス降車時に「クーポンをください」と運転手へお申し付けください！

遊べる2つの遊び場

バスパック内容

はしかみ蕎麦と岳満喫コース 1,300円

はしかみ蕎麦と岳満喫コース 1,300円

ご利用の流れ（クーポン式）

1. クーポンを受け取る
お楽しみが満載！バス降車時に、運転手からクーポンをお受け取りください。※クーポンは、降車後乗車前まで有効です。
2. フォレストヒルで特典を受け取ります
フォレストヒルで乗車券を提示すると、左記の特典を受け取れます。
3. お楽しみバスで乗れる「バス券」を渡す
お楽しみバス、アンケートにご記入いただいた「クーポン」を渡すことで、帰りの乗車バスに使える「バス券」を受け取ります。

●お問い合わせ：八戸市観光バス利用課・地域活性化協議会 TEL.0178-43-9124（事務局：八戸市観光バス利用課）

おむくむくバスパック
八戸市観光バス利用課

おいらせ町美味しい酒とそばバスパック
【おいらせ町】

八戸発！路線バスでおいらせ町に行くと、うれしい特典があります！！ 平日限定

おいらせ町 美味しい酒とそばバスパック!!

バス降車時に運転手からクーポンを受け取り、おいらせ交流館でクーポンを提示すると「美味しい酒とそば」をお得にお楽しみいただけます。

バスパック内容（特典）

桃川で酒蔵見学（無料）

桃川の酒蔵を見学でき、酒造りを学ぶことができます。バスで行くので試飲も安心です！

酒蔵見学 - 無料（無料）

おいらせ交流館でランチ

桃川の仕込水を使った十割そばと手づくりケーキセットとおまけのデザートが楽しめるランチをお楽しみください！

（特別）酒席980円税別 - 700円 ●おむくむくバスパック

ご利用の流れ（クーポン式）

1. クーポンを受け取る
バス降車時に「クーポン」を提示すると、運転手からクーポンをお受け取りください。※クーポンは、おいらせバス専用のみ有効です。
2. おいらせ交流館で特典を受け取れます
交流館でクーポンを提示すると、左記の特典が受け取れます。

●お問い合わせ：八戸市観光バス利用課・地域活性化協議会 TEL.0178-43-9124（事務局：八戸市観光バス利用課）

おむくむくバスパック
八戸市観光バス利用課

C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

○ 圏域内市町村職員の育成

76) 職員合同研修の開催 (全市町村)

【事業概要】

八戸市が実施している職員研修プログラムの連携町村職員の参加機会の提供や、合同研修会を開催し、職員の資質と能力の向上や関係市町村職員の交流を図る。

【取組実績】

単位：人

区 分	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
平成21年度 計	0	2	5	4	6	0	3	20
行財政研修会	0	2	5	4	6	0	3	20
平成22年度 計	1	6	8	5	7	2	6	35
新採用職員後期研修	0	0	0	0	0	0	4	4
主事級第1部研修	0	2	0	0	6	0	0	8
主事級第2部研修	0	0	3	0	0	1	0	4
行財政研修会	0	3	4	4	0	0	1	12
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
平成23年度 計	3	9	3	10	17	3	9	54
新採用職員後期研修	2	1	1	0	2	0	3	9
主事級第1部研修	0	3	0	2	3	0	0	8
主事級第2部研修	0	4	0	1	5	1	0	11
行財政研修会	0	0	1	6	6	1	5	19
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
平成24年度 計	2	12	10	12	13	10	9	68
新採用職員後期研修	0	4	2	3	4	6	0	19
主事級第1部研修	0	3	3	3	3	1	0	13
主事級第2部研修	0	0	0	4	0	2	4	10
行財政研修会	1	4	4	1	5	0	4	19
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
平成25年度 計	4	10	10	22	17	10	2	75
新採用職員後期研修	0	4	2	5	4	0	0	15
主事級第1部研修	3	0	3	2	6	6	0	20
主事級第2部研修	0	0	0	7	2	0	0	9
行財政研修会	0	5	4	7	4	3	1	24
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
平成26年度 計	19	18	11	20	18	10	2	98
新採用職員後期研修	8	7	3	10	4	4	0	36
主事級第1部研修	6	5	4	5	5	4	0	29
主事級第2部研修	0	0	0	1	3	0	0	4
行財政研修会	4	5	3	3	5	1	0	21
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	2	8

平成27年度 計	15	16	6	17	17	8	9	88
新採用職員後期研修	7	4	3	5	6	2	3	30
主事級第1部研修	5	6	3	9	4	4	0	31
主事級第2部研修	2	1	0	0	3	0	2	8
行財政研修会	1	4	0	1	4	1	4	15
市町村職員交流スクール	0	1	0	2	0	1	0	4
平成28年度 計	17	23	18	19	11	6	12	106
新採用職員後期研修	7	15	5	3	2	5	7	44
主事級第1部研修	7	3	3	5	5	1	3	27
主事級第2部研修	1	2	2	6	2	0	2	15
行財政研修会	2	2	8	3	2	0	0	17
市町村職員交流スクール	0	1	0	2	0	0	0	3
平成29年度 計	15	26	11	13	20	12	10	107
新採用職員後期研修	5	7	0	7	10	4	3	36
主事級第1部研修	6	14	4	2	2	5	6	39
主事級第2部研修	3	5	3	2	5	3	0	21
行財政研修会	1	0	0	1	3	0	1	6
主査級職員研修	0	0	4	1	0	0	0	5
平成30年度 計	12	19	16	21	19	11	9	107
新採用職員後期研修	3	6	5	8	4	4	6	36
主事級第1部研修	4	6	2	5	7	2	3	29
主事級第2部研修	2	5	4	7	4	4	0	26
行財政研修会	3	0	0	1	3	1	0	8
主査級職員研修	0	2	5	0	1	0	0	8
令和元年度 計	19	11	15	11	13	7	13	89
新採用職員後期研修	7	3	2	6	2	1	6	27
主事級第1部研修	4	3	6	3	4	4	5	29
主事級第2部研修	4	4	3	2	3	0	2	18
行財政研修会	1	0	4	0	2	2	0	9
主査級職員研修	3	1	0	0	2	0	0	6
令和元年度 計	9	4	8	6	5	2	12	46
新採用職員後期研修	2	0	4	2	3	0	7	18
主事級第1部研修	7	4	4	4	2	2	5	28
主事級第2部研修	-	-	-	-	-	-	-	-
行財政研修会	-	-	-	-	-	-	-	-
主査級職員研修	-	-	-	-	-	-	-	-

※主事級第1部研修…2年目職員対象 主事級第2部研修…5年以上経過した職員対象

※市町村職員交流スクール

- ・平成26年度…各市町村担当者との意見交換会として実施
- ・平成27年度…主査級職員研修と兼ねて実施
- ・平成28年度…主査級職員研修と兼ねて実施

※主査級職員研修

平成29年度から市町村職員交流スクールを廃止し主査級職員研修として実施

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、主事級第2部研修及び主査級職員研修は八戸市職員のみで実施。

○ 女性の活躍促進

77) 女性チャレンジ講座開催事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内の女性を対象としたビジネススキル養成講座や行政講座等を開催し、参加者同士のネットワークの構築や参加者の自己啓発・自己研鑽を図る。

【取組実績】

○原則として2年間の登録制で各年7回の講座を実施。

受講者内訳（通年講座分）

申込年度	受講者数	うち連携町村	受講者数累計 （平成23年度～）
平成29年度 （7期生※）	27人	5人（三戸町：1、五戸町：1、南部町：1、階上町：1、おいらせ町：1）	174人
平成30年度 （8期生）	26人	5人（五戸町：2、田子町：1、南部町：2）	200人
令和元年度 （9期生）	51人	12人（三戸町：4、五戸町：1、田子町：3、南部町：1、階上町：2、おいらせ町：1）	230人
令和2年度	—	—	230人

※八戸市事業としては、平成22年度から実施

※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により通年講座を休止したため、受講者の募集なし

○講座を周知・体験してもらうため、年に1回公開講座を実施。

受講者内訳（公開講座分）

申込年度	受講者数	うち連携町村
平成29年度	37人	1人（おいらせ町：1）
平成30年度	42人	5人（三戸町：1、南部町：4）
令和元年度	54人	9人（南部町：9）
令和2年度	38人	4人（三戸町：2、南部町：1、おいらせ町：1） ※2回分の計（定員を例年の半数にし、2回実施）

○ NPO等の活動促進

78) 八戸圏域住民活動促進事業（全市町村）

【事業概要】

圏域内のNPO等が市民活動関連情報を共有できる仕組みを整備するとともに、八戸市市民活動サポートセンター「わいぐ」が実施する各種事業により、圏域のNPOや住民の活動を支援する。

【取組実績】

年度	内容
平成22年度～	八戸市市民活動サポートセンターから町村担当課へ情報発信開始 ほかに、市民活動サポートセンター情報誌（市民活動サポートセンターリーフレット、市民活動ハンドブック、情報誌「WAIGU」）を送付

年 度	情報提供 (件)	相談 (件)	事業参加 (団体・人)	出前わいぐ※ (回)
平成22年度	62	3	7	
平成23年度	57	0	1	
平成24年度	39	0	0	
平成25年度	32	0	3	
平成26年度	20	0	5	
平成27年度	44	0	0	
平成28年度	42	0	0	
平成29年度	55	3	0	
平成30年度	31	5	0	3
令和元年度	38	1	0	6
令和2年度	38	0	0	0

※圏域町村でのイベントへ出展し「わいぐ」を紹介、団体運営相談等に対応するもの。平成29年度から実施。

4 その他

(1) 普及啓発事業

1) 定住自立圏（連携中枢都市圏）の形成に関する講演会

【事業内容】

市町村間の相互理解を深め、定住自立圏（連携中枢都市圏）構想の普及啓発を図るため、圏域内市町村において、国、大学や先進自治体などから講師を招き、定住自立圏に関する講演会を開催する。

【実績】

年 度	回次	開催日	開催地	参加人数
平成21年度	第 1回	9月 9日	八戸市	約120名
	第 2回	11月26日	南部町	約110名
	第 3回	2月19日	八戸市	約130名
平成22年度	第 4回	5月20日	五戸町	約130名
	第 5回	7月16日	階上町	約140名
	第 6回	2月14日	おいらせ町	約170名
平成23年度	第 7回	8月24日	三戸町	約160名
	第 8回	2月15日	八戸市	約140名
平成24年度	第 9回	5月18日	田子町	約140名
	第10回	10月 1日	新郷村	約170名
平成25年度	第11回	5月20日	八戸市	約130名
	第12回	8月26日	南部町	約160名
	第13回	10月11日	五戸町	約140名
平成26年度	第14回	7月17日	階上町	約180名
	第15回	10月10日	三戸町	約120名
	第16回	12月18日	おいらせ町	約150名
平成27年度	第17回	10月16日	田子町	約130名
平成28年度	第18回	10月21日	新郷村	約170名
平成29年度	第19回	5月23日	八戸市	約150名
	第20回	10月30日	南部町	約160名
	第21回	2月 9日	五戸町	約150名
平成30年度	第22回	7月10日	階上町	約170名
	第23回	9月25日	三戸町	約150名
	第24回	12月27日	おいらせ町	約160名

令和元年度	第25回	7月 9日	田子町	約150名
	第26回	10月15日	新郷村	約160名
	第27回	1月17日	八戸市	約160名

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2) 定住自立圏構想推進シンポジウムin八戸（総務省）

【事業内容】

定住自立圏に対する議論を深め、各圏域の取組に展開していくことを目的に、地方公共団体における定住自立圏の取組事例の紹介やパネルディスカッションを開催する。

【実績】

年 度	内 容
平成24年度	<p>(平成25年2月18日 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 216人 ・テーマ 「人材の育成と交流による地域力の創造」 ・概要 <ul style="list-style-type: none"> (1) 事例報告 <ul style="list-style-type: none"> ・「八戸圏域定住自立圏の取組」 報告者 小林眞 八戸市長 ・「定住自立圏推進調査事業報告」 報告者 山本耕一郎 アーティスト 熊倉純子 東京藝術大学教授 大澤苑美 八戸市まちづくり文化推進室芸術環境創造専門員 (2) パネルディスカッション「地域づくりを担う人材の育成と交流」 コーディネーター 小西砂千夫 関西学院大学教授 パネラー 牧慎太郎 総務省地域自立応援課長 加藤種男 アサヒグループ芸術文化財団顧問 小林眞 八戸市長 (3) 特別講演 椎川忍 地域力創造アドバイザー・元総務省自治財政局長

(2) 調査事業等

1) 定住自立圏形成に向けた創造的人材の定住・交流促進事例調査（総務省）

【事業内容】

創造的人材の定住・交流が図られている特徴的な事例を調査し、創造的人材が行ってみたい・住んでみたいと思う要素について分析を行うことによって、今後、定住自立圏域で同旨の取組を促進していく上での課題や求められる施策等について整理を行った。

【実績】

年 度	内 容
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造的人材の定住・交流によって地域力の向上が図られている代表的な10市の事例の一つとして、八戸市において現地調査が実施され、報告書で事例紹介された。 ◎地方圏における創造的な取組の事例紹介（八戸市） <ul style="list-style-type: none"> ・ 南郷サマージャズフェスティバル ・ 八戸ポータルミュージアム「はっち」オープニング事業（「八戸レビュー」、「八戸のうわさ」、「酔っ払いに愛を」等） ・ 南郷アートプロジェクト ・ 報告書では、今後定住自立圏構想の推進にあたり、地域における創富力の高度化に向け、文化芸術分野も含めた幅広い創造的人材の定住・交流を促進する観点から積極的な施策展開が求められると結論され、その際念頭に置くべき要素として、次の必要性が提言された。 ◎創造的人材を惹きつける地域の要素 <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな自然を体感でき、地域独自の文化資源はあるか ・ 幅広い人的ネットワークを持ったキーパーソンはいるか ・ 良いモノの価値を理解し、活動的な地域住民の層は厚いか ・ 地域コミュニティは閉鎖的でなく寛容で多様性に富むか ・ 街ににぎわいがあり、心地よく滞在できる環境はあるか ・ 行政、企業、大学等は創造的な活動の支援に積極的か ・ 交通・通信の利便性、安心安全な環境、郷土愛 等

【参考】その他選定団体（9団体）

団体名	代表的な事例
富良野市	富良野演劇工場、富良野塾
仙北市	たざわ湖芸術村
十日町市等	越後妻有 大地の芸術祭の里
金沢市	イート金沢
洲本市	淡路島アートフェスティバル
鳥取市	鳥の劇場
高松市等	瀬戸内国際芸術祭
別府市	現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」
霧島市	霧島国際音楽祭

注) その他、40団体について、文献調査を実施

2) 「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業（総務省）

【事業内容】

地域に根ざした雇用創出効果のある産業振興の取組であって、先進的・独創的な取組を行おうとする地方公共団体を募集し、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築する。

【実績】

年 度	内 容
平成23年度	<p>・選定12団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p>[目的]</p> <p>・青森県南部における観光誘客の促進と地域経済の活性化を目指し、南部の歴史・文化全体のブランド化・旅行商品化の可能性を調査・検討する。</p> <p>[事業実施内容]</p> <p>①当圏域の伝統芸能を披露する「南部芸能の祭典」と食文化を紹介する「北のコナモンフェスティバル」について、集客面での相乗効果を図るため、同時開催し、南部文化の魅力を広く紹介する。</p> <p>②当圏域を周遊する国内向け・外国人向けのモニターツアーをそれぞれ実施し、旅行商品化の可能性を検証する。</p> <p>[事業総括]</p> <p>・市街地中心部での食と芸能に関するイベントの同時開催は、その相乗効果により高い集客力を発揮。</p> <p>・モニターツアーの結果等からも、南部芸能及び食文化の地域ブランド化及び旅行商品化に向けた可能性が高いことを確認。</p> <p>・南部の風土・文化を多様に組合せ、中心街等で集中的にイベントを開催する方向で今後も継続して展開。</p> <p>・旅行商品の造成にあたっては、地元ガイド・スタッフ等のおもてなしスキルの強化、人材育成等のソフト面についても同時に強化していくことが課題。</p>

【参考】その他選定団体（11団体）

団体名	事業概要
小樽市	食資源と自然・歴史を活用した観光等交流人口拡大を通じた圏域の活性化
室蘭市	希少食材の付加価値化によるブランド確立等や地域内循環経済のモデルの確立
弘前市	桃をテーマとした地域ブランド化と農商工連携・6次産業化等の促進
湯沢市	自然乾燥米の生産量増加と普及促進による地域農業活性化
飯田市	市田柿のブランド化、南信州茶等の再興等を通じた南信州ブランドの確立
美濃加茂市	イノシンを活用した特産品開発等を通じた誘客促進と圏域の活性化
山口市	産学官連携による乾物の商品開発等を通じたブランド確立・雇用創出
今治市	ご当地ファッションの情報発信等を通じた繊維・アパレル産業の活性化
天草市	農水産業・観光産業における販路拡大等による天草ブランドの確立
都城市	新商品開発や販路開拓等の情報提供等を通じた、農林水産業の振興
薩摩川内市	体験型交流プログラムを活用した誘客推進および域内経済の活性化

3) 「定住自立圏」推進調査事業（総務省）

【事業内容】

定住自立圏構想に関する懇談会において重点取組分野とされた産業振興・文化芸術・地域医療の3分野について、地方公共団体からの提案を受け、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築する。

【事業名】アーティスト定住実験プロジェクト「引っ越してきたアーティスト！」

【実績】

年 度	内 容
平成24年度	<p>・選定15団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p>[目的]</p> <p>・八戸市南郷区を舞台に、創造的人材（アーティスト）と地域住民等による実験的アートプロジェクトの実施を通じ、アーティストの地方定住により、地域にどのような効果を生み出しているか等について検証する。</p> <p>[事業実施内容]</p> <p>①アーティスト（山本耕一郎氏）の移住に当たり、住まいとなる空き家の改修を地域住民等と協働で実施し、交流関係を構築。同氏宅を地域住民等と共有する創造活動の拠点と位置づける。</p> <p>②山本氏と2小学校児童とのワークショップを通じ、地域住民の記念日を集めたカレンダーを作成。参加両校に交流関係を構築し、地域への愛着を醸成。</p> <p>③総務省主催「定住自立圏構想推進シンポジウムin八戸」での事例報告。</p> <p>④山本氏宅において、一年間の活動記録を一般公開。来場者と家族的な雰囲気の中で交流を深めた。</p> <p>[事業総括]</p> <p>・当地域は、伝統芸能等の文化レベルが高く、創造的人材の活動環境が整っているが、幸福度の高いまちとしていくためには、地域の魅力に誇りを持つ等、住民の意識改革が必要。</p> <p>・アート面については、従来型の美術館のあり方にとどまらず、より積極的な仕掛けを期待する。近隣市町村と連携し、ともに成熟していく発想が、県全体の元気と未来を築くきっかけになる。</p>

【参考】その他選定団体（14団体）

団体名	事業名
旭川市	上川中部圏ドクターカー運行体制調査事業
鶴岡市	映像資源を活用した地域連携・活性化事業 ～ユネスコ創造都市形成と連結した取組み～
秩父市	観光客の満足度を高めるための情報提供システム及び観光ルートの開発
飯田市	アーティスト滞在による新しい人形芸術創造事業
いなべ市	元気づくりシステム促進事業
長浜市	音楽でつながる地域クレッシェンド事業
西脇市	北はりま定住自立圏「地域医療を支える」基盤整備調査事業
山口市	ヤマグチ・イズ・ビューティフル ～食でまちをアートする～
下関市	くじらのまち日本一事業
高松市	街角に音楽を推進事業（ブラジル音楽フェスティバル）
高知市	高知中央広域定住自立圏まんが文化による地域振興推進調査事業
天草市	地域完結型保健・医療・福祉の連携システム構築事業
延岡市	メディカル産業と健康長寿の花開く宮崎県北定住自立圏
都城市	農林水産業生産現場のリモートセンシングシステムの構築

4) 若手企業人地域交流プログラム (総務省)

【事業内容】

大都市圏の企業に勤務する若手企業人が、一定期間(1~3年間)地方の自治体に派遣され、地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に携わることにより、地方の元気づくりを推進するとともに、地方と大都市圏の交流の架け橋となる人材を育成する。

◎制度概要

派遣対象者：三大都市圏に本社機能が所在し、全国的に事業を展開している民間企業の入社概ね3~5年の社員

受入市町村：定住自立圏に取り組む市町村(近隣市町村を含む)等

※原則として異業種2名1組で派遣

※三大都市圏内の民間企業・官公庁から人材の派遣を受けている市町村は、1名のみ受入であっても対象とする

派遣期間：1~3年程度

財政支援措置：若手企業人を受け入れる自治体の財政負担に対して、地方財政措置(1名あたり特別交付税350万円)を講じる

【実績】

年度	内容
平成24年度 ~ 平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全国6団体の一つとして八戸市が選定され(平成24年度時点)、次のとおり若手企業人の派遣を受け入れた。 派遣元企業：日本電気株式会社 株式会社リクルートライフスタイル 配属先：まちづくり文化スポーツ観光部 まちづくり文化推進室および観光課 派遣期間：2年間

【参考】その他選定団体

24年度派遣先(6団体)

受入市町村	派遣元企業
秩父市	西武鉄道、近畿日本ツーリスト
飯田市	日立製作所、ローソン
いなべ市	近畿日本ツーリスト、官公庁
延岡市	リクルート、野村證券
鹿屋市	ぐるなび、あいおいニッセイ同和損保

25年度派遣先(6団体)

受入市町村	派遣元企業
旭川市	あいおいニッセイ同和損保、富士通
石巻市	よしもとクリエイティブエージェンシー、富士通
彦根市	JTB、日本電気
豊岡市	日立製作所、楽天トラベル
洲本市	近畿日本ツーリスト、官公庁
高松市	リクルート、官公庁

5) 機能連携広域経営推進調査事業（総務省）

【事業内容】

市町村域を越えた圏域において、地元企業、大学、金融機関、NPOなど産学金官民の幅広い関係者が連携し、産業振興や雇用確保に資する拠点等を構築することにより、人・モノ・金等の流れを生み出し圏域の活性化を図るとともに、他の地域が取り組むにあたって参考となり得る先進的かつ汎用性のある事例を構築する。

【事業名】 八戸ワイン産業創出プロジェクト

【実績】

年 度	内 容
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・選定4団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内需要の減少により、地域の農業経営を支えてきた葉たばこの生産縮減に対応していくため、気候及び土壌適応性の高いワイン用ぶどうの栽培とそれを活用したワインの醸造を圏域内で新規展開させ、圏域ブランドとして6次産業化を図ることにより、地域経済の活性化と雇用創出を目指す。 <p>【事業実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ぶどう栽培に関する調査研究 圏域内の農業経営体（根岸観光農園等11経営体）と連携して、10種、1,250本のワイン用ぶどうを植栽し、栽培調査を実施。 ②ワイン醸造・産業創出に関する取組 圏域農業経営体を対象としたワイン醸造講習会等を年3回実施し、今後の醸造に向けた課題の抽出・解決策を検討。 ③ワイン文化の定着に関する取組 2013年世界最優秀ソムリエ等の出演によるワイン交流イベント「八戸ワイン産業創出フォーラム」を開催。 <p>【事業総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に八戸市南郷新規作物研究会議において南郷地区における新規作物の一つとしてワイン用ぶどうを選定し、「八戸ワイン産業創出プロジェクト」を開始。 ・南郷地区に適したワイン用ぶどうの品種を選定するための栽培調査を平成26年度から開始し、27年度までに、18品種、計2,200本の苗木を植え付け。また、26年度に引き続き、ワイン文化の定着に資するセミナーを開催するとともに、ワインの魅力の発信を目的とするセミナーを開催。 ・ワイン産業は、ぶどうの生産からワインの醸造、そして、運搬及び販売等と裾野が広く、さらには、地域の努力によって多くの付加価値の創出が期待できることから、地域経済の活性化や雇用の創出に資するものであり、引き続きプロジェクトを推進。

【参考】 その他選定団体

団体名	事業名
帯広市	十勝地域機械製品開発ツール整備普及事業
いなべ市	グリーンツーリズムの推進に向けた地域の拠点づくり
唐津市	唐津コスメティック天然原料開発プロジェクト

6) 新たな広域連携促進事業（総務省）

【事業内容】

人口減少・少子高齢社会においても、基礎自治体が人々の暮らしを支える対人サービスを持続可能な形で提供していくため、「連携中枢都市圏」の形成等の地方公共団体間の新たな広域連携の促進を図る。

【実績】

年 度	内 容
平成27年度	<p>・選定12団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p>[目的]</p> <p>・平成29年1月に予定している当市の中核市移行後、定住自立圏から連携中枢都市圏への平成28年度中の速やかな移行を目指して、新たな連携施策の検討と八戸圏域の経済動態も含めた基礎調査を実施するとともに、行政、議会、関係団体、住民を対象とした事業報告・講演会を開催することにより、連携中枢都市圏に対する認識を圏域全体で深める。</p> <p>[事業実施内容]</p> <p>①分野別施策検討会の開催 広域観光、農業振興、移住・交流、結婚支援の4つの分野において、圏域8市町村の有識者、関係課職員を交えた検討会を開催した。</p> <p>②連携中枢都市圏講演会の開催 圏域8市町村の首長、議員、職員、関係団体、住民を対象として、連携中枢都市圏をテーマにした講演会を開催した。</p> <p>③八戸圏域経済現況調査の実施 圏域の現況を把握することを目的に、統計データを整理するとともに、圏域の経済成長に向けた課題等を分析した。 調査報告については、圏域7町村に送付するなど、情報の共有を図った。</p> <p>[事業総括]</p> <p>・分野別施策検討会において、八戸圏域で、連携中枢都市圏を形成した場合に展開が想定される連携施策として、5施策が提案された。</p> <p>・広域観光の分野別施策検討会においては、早期の広域観光計画策定と、日本版DMOの活用について提案がなされ、同年度に公募のあった国の地方創生加速化交付金において圏域8市町村の連携事業として「八戸圏域DMOプロジェクト調査・検討事業」を提案・採択された。</p> <p>・平成28年3月23日に開催された平成27年度第3回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議において、八戸市の中核市移行を見据え、平成28年度より、連携中枢都市圏形成に向けた手続きを進めることについて合意した。</p>

【参考】選定団体（「連携中枢都市圏形成を目指す圏域における取組」を抜粋）

八戸市、山形市、郡山市、新潟市、金沢市、岐阜市、静岡市、岡山市、松山市、久留米市、長崎市、大分市

(3) 八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟

【概要】

目的 八戸圏域連携中枢都市圏の形成に向けて、連携中枢都市圏構想に対する理解を深めるとともに、意見交換等を通じ、圏域の振興・発展に資するために設立する。

構成 八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の市町村議会議員の有志で構成する。(圏域市町村議会議員全124名)

会 長 坂 本 美 洋 氏 (八戸市議会議員)

副 会 長 立 花 敬 之 氏 (八戸市議会議員)

五 戸 定 博 氏 (八戸市議会議員)

福 山 恵 一 郎 氏 (三戸郡町村議会議長会会長) (新郷村議会議長)

西 舘 秀 雄 氏 (おいらせ町議会議長)

理 事 森 園 秀 一 氏 (八戸市議会議長)

竹 原 義 人 氏 (三戸町議会議長)

三 浦 専 治 郎 氏 (五戸町議会議長)

澤 口 勝 氏 (田子町議会議長)

夏 堀 文 孝 氏 (南部町議会議長)

林 貢 氏 (階上町議会議長)

参 与 松 橋 知 氏 (八戸地域広域市町村圏事務組合議長)

工 藤 悠 平 氏 (八戸圏域水道企業団議長)

※議員数・役員は令和3年1月31日現在

- 事業 (1) 連携中枢都市圏構想に関する情報の収集及び分析
 (2) 連携中枢都市圏構想に関する勉強会及び研修会の開催
 (3) その他、八戸圏域連携中枢都市圏の形成に資する事業

設立 平成21年9月9日

※平成28年10月21日開催の総会で「八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟」から、「八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟」へ名称変更

【実績】

年 度	内 容
平成21年度	9月 9日 設立総会開催 (八戸市) 議題：規約の制定について、役員を選任について
	同日 第1回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (八戸市)
	11月26日 第2回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (南部町)
	2月19日 第3回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (八戸市)
平成22年度	5月20日 総会開催 (五戸町) 議題：本県へのドクターヘリ2機目の配備に係る決議について
	同日 第4回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (五戸町)
	6月 4日 青森県要望 (青森県議会有志議員団と連名) 内容：ドクターヘリの県立中央病院と八戸市立市民病院との共同運航及び本県への2機目の導入促進
	7月16日 第5回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (階上町)
	2月14日 第6回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (おいらせ町)

年 度	内 容
平成23年度	8月24日 総会開催（三戸町） 議題：役員の変更について
	同日 第7回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（三戸町）
	2月15日 第8回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（八戸市）
平成24年度	5月18日 第9回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（田子町）
	10月01日 第10回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（新郷村）
	2月18日 総会開催（八戸市） 議題：衆議院議員選挙の区割り再編について（五戸町・平内町の青森2区編入案について）
	同日 定住自立圏構想推進シンポジウムin八戸 参加（八戸市）
	2月22日 総務省要望 内容：衆院選区割り見直しにおける青森2区への五戸町編入反対について
平成25年度	5月20日 視察会開催（八戸市） 内容：八戸市第三魚市場（ハサップ対応型荷捌き施設A棟）視察、地球深部探査船「ちきゅう」調査事業に係る調査
	同日 第11回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（八戸市）
	8月20日 視察会開催（南部町） 内容：白華山法光寺 視察、南部町医療健康センター建設事業に係る調査
	同日 第12回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（南部町）
	10月11日 視察会開催（五戸町） 内容：ひばり野公園サッカー場、J A八戸ながいも洗浄選別施設 視察
	同日 第13回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（五戸町）
平成26年度	6月28日 中核市講演会（八戸市）
	7月17日 視察会開催（階上町） 内容：わっせ交流センター、町営放牧場視察
	同日 第14回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（階上町）
	10月10日 視察会開催（三戸町） 内容：小中一貫三戸学園視察
	同日 総会開催（三戸町） 議題：規約の一部改正について
	同日 第15回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（三戸町）
	12月18日 視察会開催（おいらせ町） 内容：大山将棋記念館、みなくる館視察
	同日 第16回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（おいらせ町）
	1月22日 総務省要望 内容：新たな広域連携モデル構築事業の要件緩和について

年 度	内 容	
平成26年度	2月16日	連携中枢都市圏講演会（八戸市）
平成27年度	8月22日	総会開催（八戸市） 議題：(1)これまでの活動経過について (2)役員(案)について (3)平成27年度事業計画(案)について
	同日	中核市市民シンポジウム（八戸市）
	10月16日	視察会開催（田子町） 内容：田子町にんにく専用CA冷蔵庫視察 県境産業廃棄物不法投棄現場視察
	同日	第17回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（田子町）
	11月21日	総務省要望 内容：連携中枢都市圏に対する財政措置の拡充について
	12月12日	連携中枢都市圏講演会（八戸市）
平成28年度	9月03日	中核市移行記念シンポジウム（八戸市）
	10月21日	視察会開催（新郷村） 内容：間木ノ平グリーンファーム「ミルク&ハム工房」視察 新郷温泉館木質ボイラー施設視察
	同日	総会開催（新郷村） 議題：当該議員連盟の名称変更及び規約の一部改正について
	同日	第18回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（新郷村）
平成29年度	5月23日	視察会開催（八戸市） 内容：八戸市立学校西地区給食センター視察
	同日	第19回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（八戸市）
	10月30日	視察会開催（南部町） 内容：聖寿寺館跡・南部利康霊屋視察（雨天のため座学に変更）
	同日	第20回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（南部町）
	2月 9日	視察会開催（五戸町） 内容：町営ブドロク牧場
	同日	第21回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（五戸町）
平成30年度	7月10日	視察会開催（階上町） 内容：はしかみハマの駅あるでい～ば 視察
	同日	第22回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（階上町）
	9月25日	視察会開催（三戸町） 内容：さんのへパークゴルフ場、道の駅さんのへ、 SAN・SUN産直ひろば 視察
	同日	第23回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（三戸町）
	12月27日	視察会開催（おいらせ町） 内容：おいらせ町立学校給食センター、 おいらせ阿光坊古墳館 視察
同日	第24回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（おいらせ町）	
令和元年度	7月 9日	視察会開催（田子町） 内容：世紀越えトンネル(仮称)建設要望地、みろくの滝 視察
	同日	第25回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（田子町）

年 度	内 容
令和元年度	10月15日 視察会開催（新郷村） 内容：新郷村風力発電所建設地 視察
	同日 第26回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（新郷村）
	1月17日 視察会開催（八戸市） 内容：八戸市長根屋内スケート場 視察
	同日 第27回連携中枢都市圏の形成に関する講演会、交流会（八戸市）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動なし。

第3章 圏域の中長期的将来像

1 圏域の課題

- ・我が国の人口は、過去に類を見ない勢いで急激に減少し、平成24年1月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の将来人口」（出生中位・死亡中位推計）によれば、令和8（2026）年には1億2000万人を下回り、令和30（2048）年には1億人を下回ると推計されている。また、高齢化率も26%（平成26年）から、令和6（2024）年には30%を超え、令和42（2060）年には約40%へと大幅に上昇すると見込まれている。
- ・八戸圏域においても状況は同様であり、国勢調査によると平成17年以降人口が減少に転じ、平成17年から平成22年までの5ヵ年間で約13,000人の減、平成22年から平成27年まででは、約12,000人の減となっており、減少の速度は幾分緩やかになったとはいえ、今後も急激な人口減少の進展が見込まれている。
- ・平成22年から平成27年までの5ヵ年間の減少数、約12,000人の内訳をみると、自然動態による減少が約6割、社会動態による減少が約4割となっている。
- ・また、平成17年以降、圏域人口は減少に転じているが、その一方で世帯数が増加しており、核家族化や高齢化の進展の影響によるものと考えられる高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯が平成27年では全世帯（約12.7万世帯）の約2割を占め、今後も進展が想定される。
- ・圏域の活力、各種サービス、多様な地域資源を維持していくためにも、それぞれの課題の解決に向けた施策の展開が必要となっている。

（1）産業の集積・活性化、雇用の創出に関する課題

- ・圏域の経済成長等を図るため、連携中枢都市圏ビジョンの策定や、その進捗管理を行う産学官民一体となった推進体制が必要となっている。
- ・圏域の強みである製造業においては、近年、製造品出荷額等が横ばい傾向で推移しており、次代を睨んだ新規産業の創出と地域産業の高度化・活性化が必要となっている。
- ・八戸圏域は、豊かな農林畜水産資源を有し、それらの加工業も盛んである。また、高等教育機関が充実し、港・道路・鉄道などの産業インフラが整備されるとともに、高度な技術を有する企業が数多く立地している。これらの地域資源を活用した地域経済の裾野拡大のため、国内外への販路拡大や企業誘致の推進、各種制度の周知やマッチングに向けた情報提供事業が必要となっている。
- ・観光入込客数は、圏域全体において増加傾向にあり、観光関連産業は地域経済の一翼を担っている。観光客をさらに惹きつける圏域としていくため、圏域の観光資源を包括的に提案できる仕組みづくりとその推進が必要となっている。

《対応する連携施策》

- ・産学官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備
- ・産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- ・地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- ・戦略的な観光施策の展開

(2) 高次の都市機能の充実・強化に関する課題

- ・圏域内の重篤患者に対する三次救急医療やハイリスクの妊娠・出産に対する母子周産期医療など、高度な医療サービスの提供が求められている。
- ・文化芸術による創造的な活動やスポーツにおける中心拠点の整備、高齢者や学生など自家用車を利用できない住民の足となる広域的公共交通網のさらなる利便性の向上などが求められている。
- ・八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校などの高等教育機関が設置されており、地域課題の解決に向け、高等教育機関と連携した地域の人材育成が求められている。

《対応する連携施策》

- ・高度な医療サービスの提供
- ・高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- ・高等教育機関等と連携した地域の人材育成

(3) 暮らしの安心・魅力に関する課題

- ・医師派遣による地域医療の確保、ドクターカーの運行による救命率の向上のほか、八戸市立市民病院の周産期医療体制の整備も進んできているが、引き続き圏域として安心して医療サービスを受けられる体制の維持と整備が必要となっている。
- ・子育て世代への支援のほか、高齢者、障がい者に関する合同研修会などの実施により、福祉サービスを提供する行政職員、事業に携わる関係者の資質の向上が図られているが、引き続き福祉サービスの向上が求められている。
- ・消費者トラブルの未然防止を図るため、消費者教育・啓発事業に関する圏域の協力体制を強化するとともに、圏域の消費生活相談を行っている八戸市消費生活センターを継続的に運営していく必要がある。
- ・働く環境の充実のため、勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生事業を実施しており、継続的に取り組んでいくことが求められている。
- ・東日本大震災の経験を踏まえて、災害時に、避難所において特別な配慮を必要とする人のため、福祉避難所の圏域内での相互利用体制を整備しており、今後も継続的な取組が必要となっている。
- ・八戸市民大学講座などの各種講座に関して情報共有する体制を整備しているが、生涯学習の機会の充実を図るため、継続して取り組んでいくことが必要となっている。
- ・圏域内の学校教育の充実を図るため、圏域の小学校による、圏域内の文化・スポーツなどの公共施設を活用した児童対象の体験学習を継続的に支援する取組が必要となっている。
- ・生徒の育成や、地域課題の解決に取り組むことによる地域への愛着の醸成・地元定着の促進を図るため、高等学校による地域活動の促進が必要となっている。
- ・地域密着型のプロスポーツチームの活躍により、地域のスポーツに対する関心がさらに高まっており、住民がスポーツを気軽に楽しめる環境が求められている。
- ・環境分野では、圏域市町村が共同して不法投棄防止に向けた合同パトロールを実施しており、一定の効果をあげているが、継続的に取り組むことが必要となっている。

- ・安全・安心情報システムを整備し、気象情報や災害情報などの各種情報を提供しているが、災害や犯罪に対して、初期段階での対応を可能とするため、継続的な取組が必要である。

《対応する連携施策》

- ・医療体制の充実
- ・子育て支援の充実
- ・高齢者福祉の充実
- ・障がい者福祉の充実
- ・中小企業従事者の福祉向上
- ・消費者支援の充実
- ・社会教育の充実
- ・学校教育の充実
- ・高等学校の地域活動促進
- ・スポーツ活動の機会の充実
- ・不法投棄の防止
- ・安全・安心なまちづくりの推進

(4) 圏域内外の住民との交流促進と結婚支援に関する課題

- ・圏域への新しい人の流れをつくるため、東京圏等からの移住や人材還流を促進するとともに、平成12年から22年にかけて上昇傾向にある未婚率に歯止めをかけるため、結婚を希望する者への支援が必要となっている。

《対応する連携施策》

- ・地域内外の住民との交流・移住促進

(5) 地域づくりを支える多様な担い手の育成に関する課題

- ・町村は職員数が限られ、研修機会の確保が課題となっているため、八戸市で実施する職員研修の機会を提供しているが、参加者も増加してきており、継続して取り組むことが必要となっている。
- ・ライフスタイルの変化・多様化するニーズなど、ビジネス、社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、多様な価値観・発想・経験を持った人材、特に女性の活用が求められている。
- ・住民主体のまちづくりを進める上では、住民やNPO等の住民活動を行う団体の役割が重要であることから、八戸市市民活動サポートセンターを活用して圏域の住民活動に対して支援を行っており、継続して実施することが必要となっている。

《対応する連携施策》

- ・圏域内市町村職員の育成
- ・女性の活躍促進
- ・NPO等の活動促進

2 目指す将来像

- ・八戸圏域は、平成 21 年 9 月に、定住自立圏形成協定を締結し、地方圏における「定住の受け皿」として、「人・産業が元気で活力・魅力を創造・発信する北東北の中核都市圏」を目指し、ドクターカーの運行や路線バスの上限運賃化の取組、広域的体験学習支援事業など、24 施策 31 事業を展開してきた。
- ・人口減少・少子高齢社会の本格的な進展が見込まれる中、今後も、八戸圏域が、一定の人口を有し、活力ある社会経済が維持された拠点として、更なる発展を遂げていくためには、多種多様な産業集積や都市の広域的な拠点性といった強みや、これまで定住自立圏として培ってきた各種生活関連機能サービスの向上に向けた取組を一層強化・充実させていくとともに、地域に存する有形・無形の地域資源を最大限に活かしながら、まちづくりを進めていくことが重要である。
- ・八戸圏域には、
 - 「農林畜産業、水産業、工業、商業等の多様な産業の集積」、
 - 「陸・海・空の交通インフラ」、
 - 「高度医療の提供や構築された公共交通網、文化・スポーツ施設等の都市機能」、
 - 「充実した高等教育機関等による多様な人材育成機能」、
 - 「豊かな自然と地域に根ざした伝統文化」など、ここにしかないオリジナリティ溢れる地域の《個性》を有しており、圏域として更なる成長・発展の可能性に満ちている。
- ・この地域に暮らす住民が、将来へ夢や希望を持ち、潤いのある生活を安心して営むことができる地域社会を実現していくためには、これら様々な地域資源に光をあて、その潜在力を引き出し、地域に新しい価値を創り出していくことが必要である。
- ・地域の個性・特性を活かしたまちづくりの取組の総和が、圏域の魅力と自立性を高め、圏域全体の一体的発展へ導くものとする。
- ・このことから、八戸圏域の目指す将来像を次のとおりとし、この将来像の実現に向け、圏域の連携を推進する。

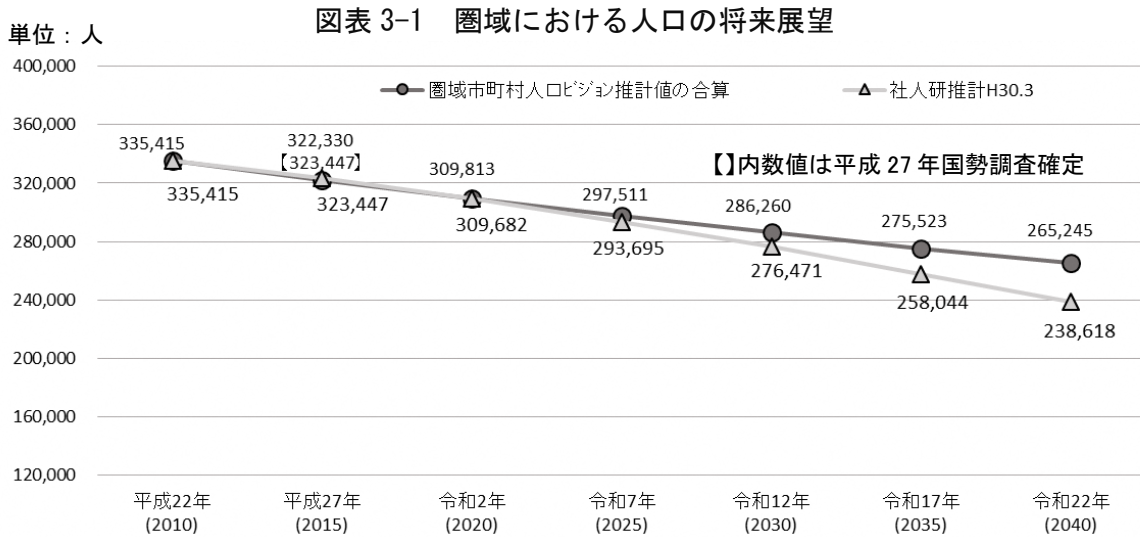
八戸圏域の目指す将来像

地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域

3 人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、現状のまま人口減少が続く場合、圏域の人口は、平成 22 (2010) 年の 335,415 人から令和 22 (2040) 年には約 23 万 9 千人に減少すると推計される。

8 市町村においては、平成 27 年度に、それぞれの人口ビジョンにおいて、人口減少克服に関する仮定を設けた将来人口の推計を行っており、この仮定を実現した場合、圏域の人口は、令和 22 (2040) 年において約 26 万 5 千人になると推計される。



出典：八戸圏域各市町村人口ビジョン、国勢調査（総務省統計局）、日本の地域別将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）より作成

図表 3-2 圏域における人口の将来展望

単位：人

年	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	令和 2 年 (2020)	令和 7 年 (2025)	令和 12 年 (2030)	令和 17 年 (2035)	令和 22 年 (2040)
八戸市	237,615	229,177 【231,257】	221,796	214,062	206,863	199,870	193,128
三戸町	11,299	10,396 【10,135】	9,630	8,873	8,194	7,589	7,053
五戸町	18,712	17,385 【17,433】	16,345	15,348	14,455	13,595	12,745
田子町	6,175	5,606 【5,554】	5,160	4,723	4,329	3,992	3,700
南部町	19,853	18,345 【18,312】	16,859	15,566	14,469	13,531	12,720
階上町	14,699	13,971 【14,025】	13,506	12,935	12,388	11,878	11,379
新郷村	2,851	2,588 【2,509】	2,377	2,149	1,940	1,751	1,578
おいらせ町	24,211	24,206 【24,222】	24,140	23,855	23,622	23,317	22,942
圏域	335,415	321,674 【323,447】	309,813	297,511	286,260	275,523	265,245

注) 平成 27 年の【】内数値は国勢調査確定値

出典：八戸圏域各市町村人口ビジョン、国勢調査（総務省統計局）

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン
《圏域の概況・中長期的将来像編》

平成 29 年 3 月 22 日策定

令和 3 年 3 月 23 日変更

■発行：八戸市

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号

TEL. 0178-43-2111 FAX. 0178-47-1485

ホームページアドレス <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

■編集：八戸市 総合政策部 政策推進課